2017年度前期「教員による授業アンケート」

~調査結果報告~

平成 29 年 12 月

奈良佐保短期大学 自己点検評価室

目 次

基礎教養科目

教員 アンケート	科目名称	教員名	授業形態	掲載ページ
No.				. ,
1	英語I	竹野内 倫子	演習	1
2	基礎ゼミナールⅠ	森永 夕美	演習	2
3	基礎ゼミナール I	池内 ますみ	演習	3
4	基礎ゼミナール I	戸田 信聡	演習	4
5	基礎ゼミナール I	坊 安恵	演習	5
6	基礎ゼミナール I	梓川 一	演習	6
7	基礎ゼミナール I	北村 麻樹	演習	7
8	基礎ゼミナール I	中田 奈月	演習	8
9	基礎ゼミナール I	藤田 悦代	演習	9
10	基礎ゼミナール I	別所 崇	演習	10
11	基礎ゼミナール I	増井 啓子	演習	11
12	基礎ゼミナールⅠ	吉田 直子	演習	12
13	キャリアゼミナール	梓川 一	演習	13
14	キャリアゼミナール	戸田 信聡	演習	14
15	キャリアゼミナール	増井 啓子	演習	15
16	キャリアゼミナール	水野 尚美	演習	16
17	キャリアゼミナール	吉田 直子	演習	17
18	キャリアデザイン	碇 ともみ	講義	18
19	健康・スポーツ実習	渡部 悠香	実習	19
20	国語表現法	宮川 久美	講義	20
21	社会学	中田 奈月	講義	21
22	情報概論	中田 奈月	講義	22
23	情報処理演習I	中田 奈月	演習	23
24	情報処理演習I	中村 妙子	演習	24
25	心理学	解良 優基	講義	25
26	人権と差別	馬越 かよ子	講義	26
27	奈良とお茶	小畠 友紀	演習	27
28	奈良とお茶	中島 由紀子	演習	28
29	奈良の食と文化	坊 安恵	演習	29
30	フランス語 I	浅野 友子	演習	30

生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目

教員 アンケート No.	科目名称	教員名	授業形態	掲載へ゜ーシ゛
31	医療的ケアⅡ	水野 尚美	演習	31
32	介護過程I	森永 夕美	講義	32
33	介護過程Ⅲ	水野 尚美	演習	33
34	介護過程Ⅲ	森永 夕美	演習	34
35	介護概論 I	武田 千幸	講義	35
36	介護総合演習 I	東 孝至	演習	36
37	介護総合演習 I	森永 夕美	演習	37
38	介護総合演習Ⅲ	武田 千幸	演習	38
39	介護総合演習Ⅲ	水野 尚美	演習	39
40	介護予防	中野 正英	講義	40
41	家事支援の技法Ⅲ・調理	須谷 和子	演習	41
42	グリーンプランニング I	前川 良文	講義	42
43	社会調査法	中田 奈月	講義	43
44	社会福祉概論	森永 夕美	講義	44
45	障害の理解I	梓川 一	講義	45
46	生活支援技術 I	東 孝至	演習	46
47	生活支援技術 I	武田 千幸	演習	47
48	生活支援技術Ⅲ	武田 千幸	演習	48
49	生活支援技術Ⅲ	水野 尚美	演習	49
50	生活と未来	東 孝至	演習	50
51	生活と未来	池内 ますみ	演習	51
52	生活と未来	武田 千幸	演習	52
53	生活と未来	戸田 信聡	演習	53
54	生活と未来	野間 智子	演習	54
55	生活と未来	坊 安恵	演習	55
56	生活と未来	森永 夕美	演習	56
57	生活と未来	水野 尚美	演習	57
58	生活レクリエーション	森永 夕美	講義	58
59	相談援助の基盤と専門職	武田 卓也	講義	59
60	低所得者に対する支援と生活保護制度	尾﨑 剛志	講義	60
61	認知症の理解Ⅱ	東 孝至	講義	61

生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目

教員 アンケート No.	科目名称	教員名	授業形態	掲載ペーシ゛
62	栄養指導論 I	野間 智子	講義	62
63	栄養指導論実習Ⅱ	野間 智子	実習	63
64	カラーコーディネート論	中村 妙子	講義	64
65	基礎栄養学	三浦 さつき	講義	65
66	公衆栄養学	岩橋 明子	講義	66
67	食品衛生学	池内 ますみ	講義	67
68	食品衛生学実習	池内 ますみ	実習	68
69	食品衛生学実習	坊 安恵	実習	69
70	食品科学	池内 ますみ	講義	70
71	食品学実験	坊 安恵	実習	71
72	食事療法実習	野間 智子	実習	72
73	人体の構造と機能 I	毛受 真由美	講義	73
74	ゼミナール I (医療福祉)	野間 智子	演習	74
75	ゼミナール I (食ビジネス)	池内 ますみ	演習	75
76	ゼミナール I (食ビジネス)	坊 安恵	演習	76
77	調理学	池内 ますみ	講義	77
78	フードスペシャリスト論	坊 安恵	講義	78

生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目

教員 アンケート No.	科目名称	教員名	授業形態	掲載へ゜ーシ゛
79	イラスト・画像処理Ⅱ	加来 慎太郎	演習	79
80	オフィス実務演習 I	吉村 司	演習	80
81	オフィススタディ	高橋 紀子	講義	81
82	経理実務 I	谷村 真理	講義	82
83	ゼミナール I (ビジネスキャリア)	上田 利博	演習	83
84	ゼミナール I (ビジネスキャリア)	戸田 信聡	演習	84
85	卒業研究 I	戸田 信聡	演習	85
86	データ処理Ⅱ	中村 妙子	演習	86
87	文書作成 I	中村 妙子	演習	87
88	マーケティング	戸田 信聡	講義	88

地域こども学科 専門教育科目

教員 アンケート No.	科目名称	教員名	授業形態	掲載ペーシ゛
89	音楽I	大城 弓恵	演習	89
90	音楽I	大西 有紀	演習	90
91	音楽I	宮田 眞理	演習	91
92	音楽I	山下 玲子	演習	92
93	音楽I	吉田 直子	演習	93
94	音楽基礎演習 I (ソルフェージュ)	吉田 直子	演習	94
95	音楽基礎演習 I (理論)	中島 倍代	演習	95
96	音楽Ⅲ	玉井 奈摘	演習	96
97	音楽Ⅲ	本間 晶子	演習	97
98	学習·発達論	別所 崇	講義	98
99	カリキュラム論	藤田 悦代	講義	99
100	教育実習指導 b	北村 麻樹	演習	100
101	教育実習指導 b	増井 啓子	演習	101
102	教職入門	谷岡 義高	講義	102
103	国語	宮川 久美	講義	103
104	算数	重松 敬一	講義	104
105	実習基礎指導(教育実習)	梓川 一	演習	105
106	実習基礎指導(教育実習)	北村 麻樹	演習	106
107	実習基礎指導(教育実習)	増井 啓子	演習	107
108	実習基礎指導(教育実習·小)	藤田 悦代	演習	108
109	児童館の機能と運営	池田 英郎	講義	109
110	社会的養護内容	瀬戸野 喜雄	演習	110
111	社会福祉	梓川 一	講義	111
112	障害児保育	中島 順子	演習	112
113	小児保健 A	安永 龍子	講義	113
114	小児保健演習	安永 龍子	演習	114
115	生活	中田 奈月	講義	115
116	ゼミナール I (音楽)	北村 麻樹	演習	116
117	ゼミナール I (音楽)	増井 啓子	演習	117
118	ゼミナール I (音楽)	吉田 直子	演習	118
119	ゼミナール I (心と発達)	中田 奈月	演習	119
120	ゼミナール I (心と発達)	別所 崇	演習	120
121	ゼミナール I (こども教育)	藤田 悦代	演習	121
122	ゼミナール I (自然と遊び)	宮川 久美	演習	122
123	ゼミナール Ⅱ	増井 啓子	演習	123

教員 アンケート No.	科目名称	教員名	授業形態	掲載ページ
124	造形美術	吉川 れい	演習	124
125	総合演習(音楽)	北村 麻樹	演習	125
126	総合演習(音楽)	増井 啓子	演習	126
127	総合演習(音楽)	吉田 直子	演習	127
128	総合演習(心と発達)	中田 奈月	演習	128
129	総合演習(心と発達)	別所 崇	演習	129
130	総合演習(自然と遊び)	宮川 久美	演習	130
131	相談援助	別所 崇	演習	131
132	相談援助演習 I	梓川 一	演習	132
133	体育	東條 佳史	演習	133
134	保育·教職入門	増井 啓子	講義	134
135	保育(健康)	安永 龍子	演習	135
136	保育原理	北村 麻樹	講義	136
137	保育実習指導Ib	北村 麻樹	演習	137
138	保育実習指導Ib	中田 奈月	演習	138
139	保育表現演習 I	増井 啓子	演習	139
140	保育(表現・音楽)	奥田 尚子	演習	140
141	保育(表現•音楽)	吉田 直子	演習	141
142	幼児理解	藤田 悦代	演習	142

教員名 : 竹野内 倫子 職名 : 非常勤 所属 : 全学

科目名称 : 英語 I 科目群 : 基礎教養科目

		学	年		学科・コース							
□ <i>k</i> ⁄ →						生活未来科	•	116-64-187				
回答者 内訳	1回生 2回生 その他 無回答	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答				
	23	1	_	_	_	_	_	24	_	_		

					♦	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生(評価平		1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.17	7				\Diamond
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	以上	90分 程度 4.2%	60分 程度 4.2%	30分 程度 45.8%	ほとんど していない 41.7%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度		90分 程度 -	60分 程度 8.3%	30分 程度 33.3%	ほとんど していない 54.2%	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4		4.38		00.0%	01.2%	•
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	高かった高	やや あかった 37.5%	適切 であった 41.7%	やや 低かった 4.2%	非常に 低かった -	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.54	1				•
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	必要は なかった し	注意 ていた 62.5%	ある程度 注意 していた 20.8%	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.57	7				♦
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	3.96	3				
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	3.95	5				>

1 授業改善の工夫

予習に関しては、毎回の実施箇所がある程度決まっており、それをシラバスに記載していたためしっかりとしてくる学生がほとんどだったが、復習は小テスト前のみしていた学生が多かった。英語 I の授業は1ユニットを2回に分けて学ぶので次の授業への準備(宿題)が復習にもなるが、家庭での復習時間をもっと持てるよう、授業中に取り組んだ箇所の復習を促す課題等を出していきたい。また、後期は映像も取り入れて、生きた英語に触れさせていきたい。

2 アンケート結果に対する見解

学生の興味に合わせて授業の進め方を変えていったことで授業への関心を継続できた。また、学生に考えさせる状況を多く作ったり、ペアワークを多く取り入れて学生同士で質問したり説明をする機会が多くあったことも、授業内容への理解度を上げることに繋がったと考える。テキストの難易度もほとんどの学生の英語レベルと合い、スマートフォンを使って解答するなど、デジタル機器を使用する機会があったことも授業へのある程度高い満足度と関係していると考える。

教員	名	職	名 : 消	生教 技	受	<u>所</u>	禹 :	全学							
<u>科</u> 目	名称	: 基礎 [·]	ゼミナール	I			<u>科</u>	目群 :	基础	楚教着	美科目				
授業	ミコート	: 8001a	a	<u>授業</u>	形態 :	演習	<u>受</u>	講者数	:	144	<u>各</u>	<u>回答</u>	者数_	:	13名
			学	年				学科・コース							
	答者	1回生	2回生	その他	無回答			未来科	ごジネ	3	地域こ		その他	#	回答
P	勺訳	1617	2 <u>11</u> 1		<u>巡</u> 园.	生活福祉コース		炒木食 3 1ーフ 3	キャリンコーン	7	学科	ŀ	CVAIE	71/2	T) (B)
		13	_			- 13		_		_		_	<i>₩</i> . 🖽	_	
				価項目				教員の 自己評価	6	学生評価		1		の自己 の評価 3	
	① 兔		4		4.	23				\Diamond					
① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。受講② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。										120分 以上 -	90分 程度 7.7%	60分 程度 7.7%	30分 程度 15.4%	ほとんど していない 69.2%	無回答
態度	3 4	事後学習や課		<u></u> り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		ほとんど 課していな	SLA	120分 以上 7.7%	90分程度	60分 程度 7.7%	30分 程度 15.4%	ほとんど していない 69.2%	無回答
授	④ 耄	対書、プリント、		<u></u>		こ活用しましたか	,°	5		4.0		1.170	15.4%	09.2%	
業内容	5 3	の授業のレイ	- ベルは、学生	にとって適け				 適切 であった	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	非常に		適切であった	やや 低かった	非常に低かった	無回答
授	(6) ⁽²⁾	を生に分かり	 やすい説明る	<u></u> -心がけまし	たか。			5		7.7% 4.	23.1% 17	69.2%	-	-	_
業の進		受業の進行を	 ンたか。		注意してい	たが	注意する 必要は よかった	注意 していた	ある程度 注意 していた	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答			
世め方	(8) [±]	学生の理解度	: た 記 虐 しかえ	に好業を准	: : よこ たか			4	3	38.5% 4. :	23.1%	30.8%	-	-	7.7%
総	- 学	生に新しい知				らことができたと <u></u> り	思い	3			23 92				
合評価	- 2	tか。 の授業は学	 生の将来に彳	 殳立つと思v	 いますか。			4	\dagger		85	-			\Diamond
価															<u>' </u>
1 1	受業改	(善の工夫													
2 7	アンケ	 ート結果に	サナス見角	 Z											
	, v)	1 //4 // (-)	4000 C EV	<u>r </u>											

教員	名	: 池内	ますみ			職名 : 教	7授	<u>所</u>	禹 :	全学				
<u>科</u> 目	1名称	: 基礎	ゼミナール	I			科目群 : 基礎教養科目							
<u>授業</u>	ミコード	: 8001k	b	授業刑	珍態 :	演習	受講者数 :	40:	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	<u>:</u>	36名	
			学	左		<u> </u>	学科・コース							
	答者	1回生	字 2回生	年 その他	無回答		活未来科		地域こ	ども	その他	4111-	回答	
P	勺訳	, ,—		CVIE	WEI . D.	生活福祉コース	マース コース コース	テャリアコース	学科			777	E145	
		36	-	-	_	-	36	_		-		_	_	
			評	価項目			教員の 自己評価		生の i平均	→ 教員の自己評価 学生の評価平均 1 2 3 4				
	① 勉	2強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。		4	3.	.81				i 🔷	
受講態	② 事	前学習や課	題を1週当た	り平均でどれ	ほとんど 課していない	120分 以上 ハ	90分 程度 -	60分 程度 2.8%	30分 程度 -	ほとんど していない 97.2%	無回答			
度	③ 事	4後学習や課	題を1週当た	り平均でどれ	パらい課し	ましたか。	ほとんど 課していな	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 2.8%	30分 程度 8.3%	ほとんど していない 88.9%	無回答	
授	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材(l	ごデオなど)を、	授業の理解に	に活用しましたか。	4	3.	.61				\rightarrow	
業内容	⑤ <u></u>	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	刀でしたか。		適切 であった	非常に 高かった 2.8%	やや 高かった 22.2%	適切 であった 66.7%	やや 低かった 5.6%	非常に 低かった 2.8%	無回答	
授	⑥ 学	生に分かり	やすい説明を	こ心がけました	たか。		4	3.	.56				\rightarrow	
業の進め	⑦ 授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	たか。	ある程度注意してい	注意する 必要は なかった 8.3%	注意 していた 50.0%	ある程度 注意 していた 36.1%	あまり 注意して いなかった 2.8%	全く 注意して いなかった 2.8%	無回答	
方	⑧ 学	生の理解度	を配慮しなか	ら授業を進	めましたか。		4	3.	.66				\rightarrow	
総合		生に新しい知言 すか。	識や技術を与え	え、問題意識や	関心を高める	ことができたと思	4	3.	.33				\rightarrow	
評価	10 =	の授業は学	生の将来に往	ひ立つと思い	ますか。		4	3.	.42				\rightarrow	
1 技	受業改	善の工夫												
2	アンケー	一ト結果に	対する見角											
		,		•										
1														

教具	員名 : 戸田 信聡									講印	1	<u>所</u>	禹 :	全学	:	
<u>科</u> 目	名和	<u> </u>	:基礎	ゼミナール	I			<u>科</u>	科目群 : 基礎教養科目							
授業	ミコー	-ド	: 8001	.c	授業刑	『態 :	演習	<u>受</u>	講者数	:	6:	<u>名_</u>	<u>回答</u>	者数	:	6名
				学	年				学科・コース							
	答者 引訳	· -	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	未来科 物栄養 ハース		ネス リア -ス	地域こ。 学科		その他	無	回答
			6	-	_	_	_		-		6		-		-	
	評価項目									教員の 学生の 己評価 評価平均			1		の自己 の評価 3	
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。								5		3.	83				(
受講能	受講 ② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。態									どない	120分 以上 -	90分 程度 16.7%	60分 程度 16.7%	30分 程度 -	ほとんど していない 66.7%	 無回答 _
度	3	事	後学習や誤	果題を1週当た	-り平均でどれ	いぐらい課し	ましたか。		ほとん 課してV		120分 以上 -	90分 程度 16.7%	60分 程度 16.7%	30分 程度 -	ほとんど していない 66.7%	無回答
授	4	教	科書、プリント	、視聴覚教材(ビデオなど)を、	授業の理解に	こ活用しましたか), ⁰	5		3.	33				(
業内容	(5)	ے (の授業のレ	ベルは、学生	にとって適り	切でしたか。			適りであっ		非常に 高かった -	やや 高かった 33.3%	適切 であった 66.7%	やや 低かった -	非常に 低かった	無回答 -
授	6	学	生に分かり	やすい説明を	と心がけました	たか。			5		3.	50				<
業の進	7	授	業の進行を	∵妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	したか。		注意していた:		注意する 必要は なかった	注意 していた 50.0%	ある程度 注意 していた 50.0%	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答
め方	8	学	生の理解原	度を配慮しなれ	ぶら授業を進	めましたか。			5		3.	50				<
総合	9		生に新しい知 すか。	識や技術を与	え、問題意識や	・関心を高める	らことができたと	思い	4		3.	33				\
評価	10	ے(の授業は学	生の将来に	 安立つと思い	ますか。			5		3.	50				<
1 抄	受 <u>業</u>	改:	善の工夫													
2 7	アング	ケー	−ト結果に	対する見角	4											

教員	名	<u>:坊 岁</u>	で恵		職名 :	講印	fi	<u>所</u>	禹 :	全学	;			
<u>科</u> 目	名称	: 基礎	ゼミナール	I			科目群 : 基礎教養科目							
授業	ミコード	: 8001	3	授業刑	態 :	演習	受講者数	:	6:	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	6名
			学	لت:		1			学科・コ					
			子	午		А	活未来科		子科•-	ュース				
	答者 引訳	1回生	2回生	その他	無回答		食物栄養コース	ビジキャ	リア 学科			その他	無	回答
		6	_	_	_		_	コー	-ス 6		_		_	
		- J							<u> </u>		♦	数 昌	の白日	新/III
			三 亚	価項目				教員の 学生の 自己評価 評価平均			→ 教員の自己評価学生の評価平均			
	1								評価	i平均	1	2	3	4 5
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。		4		3.	.83				\Diamond
受講	② 事	前学習や課	ほとん 課してV		120分 以上 -	90分 程度 16.7%	60分 程度 16.7%	30分程度	ほとんど していない 66.7%	無回答				
態度) 7])	1.9	120分	90分	60分	30分	ほとんど していない	無回答
	③ 事	後学習や課	題を1週当た	り平均でどれ	1ぐらい課し	ましたか。	ほとん 課してV		以上	程度 16.7%	程度 16.7%	程度	していない 66.7%	-
授	④ 教	利聿 プルル	担職骨粉材(I	·デオわじ)た	授業の理解!	ニ活用しましたか。	4			.33	10.7%		00.770	\downarrow
業	4) \$3	付音、フランド、	1光4心是4X亿(日	- / A GC/2,	1文未り注併(一百万しよしたが。	4		非常に	.JJ	適切	44	非常に	Y
内容	⑤ <u>_</u>	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	りでしたか。		適りであっ		高かった					無回答
授	⑥ 学	生に分かりゃ	やすい説明を	心がけました	ニカ っ。		4		3.	.50	00.170			\
業の	0 1	: NII - NII / - N	//	- 1 1 2	2.3 2.3	2. 3	22.00	注意していた		注意 していた	ある程度注意	あまり 注意して いなかった	全く注意して	無回答
進め	⑦ 授	業の進行を	妨ける行為に	こ対して汪怠	をしていまし	<i>、</i> たか。	注意して			50.0%		いなかった -	いなかった -	-
方	_	生の理解度					4		3.	.50				\rightarrow
総合語		生に新しい知言 すか。	識や技術を与え	と、問題意識や	関心を高める	ことができたと思	3		3.	.33			♦	
評価	10 -	の授業は学	生の将来に往	设立つと思い	ますか。		4		3.	.50				\rightarrow
1 技	受業改	善の工夫												
	· · ·	1 44 B 1-		-										
$\frac{2}{1}$	アンケー	ート結果に	対する見解	ř <u> </u>										

教長	(名		: 梓川					<u>埔</u>	<u> </u>	性多	(技	<u> </u>	禺 :	至子		
科目	名移	<u></u>	: 基礎	ゼミナール	Ι			<u>科</u>	目群 :	: 基	礎教建	美科目				
授業	ミコー	ド	: 8001	de	<u>授業</u>	形態 :	演習	受	講者数	:	70/	<u>各</u>	<u>回答</u>	者数	:	61名
		T			 年					<u>,</u>	学科・=	ュース				
	答者 引訳		1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	未来科物栄養ース	ビジキャ	リア	地域こ。 学科	-	その他	無	回答
% オ	ムニノ	バスヨ	57 形式での-			4 です	_	-	-		_		58	#L F		÷ri Arr
•<><			1724 (17		価項目	<u> </u>			教員 自己部	の 呼価		生の 平均	1		の自己 の評価 3	
	1	勉强	〕しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	<i>、</i> たか。			5		4.	49				
受講態	2	事前	「学習や護	果題を1週当7	こり平均でどれ	れぐらい課し	ましたか。		60分程	星度	120分 以上 1.6%	90分 程度 4.9%	60分 程度 8.2%	30分 程度 11.5%	ほとんど していない 73.8%	<u></u> 無回答
度	3	事後	受習や調	果題を1週当7	こり平均でどえ	れぐらい課し	ましたか。		60分程	足度	120分 以上 1.6%	90分 程度 4.9%	60分 程度 8.2%	30分 程度 11.5%	ほとんど していない 73.8%	無回答
授	4	教科	書、プリント	、視聴覚教材(ビデオなど)を、	授業の理解に	二活用しましただ),°	5			13				
業内容	(5)	この	授業のレ	ベルは、学生	こにとって適り	切でしたか。			適りであっ		非常に 高かった 4.9%	やや 高かった 14.8%	適切 であった 78.7%	やや 低かった	非常に 低かった	無回答
授	6	学生	こに分かり	やすい説明	を心がけまし	たか。			5		4.	36				
業の進	7	授業	美の進行を	対げる行為	に対して注意	をしていまし	たか。		ある程 注 <i>意</i> して		注意する 必要は なかった 45.9%	注意 していた 36.1%	ある程度 注意 していた 14.8%	あまり 注意して いなかった 1.6%	全く 注意して いなかった 1.6%	<u></u> 無回答
め 方	8	学生	この理解度	を配慮しな	がら授業を進	めましたか。			5		4.	36				
総合		学生ます		識や技術を与	え、問題意識や	₽関心を高める	ことができたと	思い	4		4.	10				\Diamond
評価				生の将来に	役立つと思い	ますか。			5		4.	28				<u> </u>
	アンク	<i>r</i> —	ト結果に	対する見角	裈											
2 7	アンケ	<u> </u>	ト結果に	対する見角	译											

教員	名	<u>: 北村</u>	麻樹			<u>:</u>	職名 : 講	師	<u>所</u>	禹 :	全学		
<u>科</u> 目	名称	: 基礎	ゼミナール	I	科目群 :	基礎教	養科目						
<u>授業</u>	ミコード	: 8001	de	授業刑	態 :	演習	受講者数 :	70	<u>名_</u>	<u>回答</u>	者数	:	61名
			学	年		1		学科•	コーフ				
	答者可訳	1回生	2回生	その他	無回答	l .	支物木食 コース		地域に学科		その他	無	回答
		57	_		4	_	-	- /		58		-	3
			評	価項目			教員の 自己評価		生の 近平均	1		の自己 の評価 3	
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。		4	4	.49				\langle
受講態	② 事	前学習や課	題を1週当た	り平均でどれ	1ぐらい課し	ましたか。	ほとんど 課していな	120分 以上 1.6%	90分 程度 4.9%	60分 程度 8.2%	30分 程度 11.5%	ほとんど していない 73.8%	無回答
度	③ 事	4後学習や課	題を1週当た	り平均でどれ	1ぐらい課し	ましたか。	30分程度	120分 以上 1.6%	90分 程度 4.9%	60分 程度 8.2%	30分 程度 11.5%	ほとんど していない 73.8%	無回答
授	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材(ごデオなど)を、	授業の理解に	2活用しましたか。	3	4	.13			\langle	
業内容	(5) C	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	りでしたか。	適切 であった	非常に 高かった 4.9%	やや 高かった 14.8%	適切 であった 78.7%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答	
授	⑥ 学	生に分かりゃ	やすい説明を	心がけました	たか 。		4	4	.36				•
業の進め	⑦ 授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	たか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 45.9%		ある程度 注意 していた 14.8%	あまり 注意して いなかった 1.6%	全く 注意して いなかった 1.6%	無回答
方	⑧ 学	生の理解度	を配慮しなか	ら授業を進	めましたか。		4	4	.36				•
総合		生に新しい知言 すか。	識や技術を与え	た、問題意識や	'関心を高める	ことができたと思い	4	4	.10				\langle
評価	10 =	の授業は学	生の将来に征	设立つと思い	ますか。		4	4	.28				\Diamond
		善の工夫	対する見解	2									

教員	名	: 中田	奈月				職名:	教授		<u>所</u>	禹 :	全学		
科目名称 : 基礎ゼミナール I 科目群 : 基礎教養														
<u>授</u> 爹	ミコード	: 8001	de	授業刑	%態 :	演習	受講者数	:	704	<u> </u>	<u>回答</u>	者数	:	61名
			学	左		<u> </u>		بجدر	₽科•□	T 7				
	答者 勺訳	1回生	2回生	その他	無回答	<u> </u>	活未来科 食物栄養 コース	子 ビジネ キャリン コーン	スア	地域に、学科		その他	無	回答
		57	-	_	4	_	-		_		58		_	3
			評	価項目			教員 <i>0</i> 自己評		学生 評価		1		<mark>の自己</mark> の評価 3	
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。		4		4.	49				\langle
受講態	② 事	前学習や課	題を1週当た	り平均でどれ	いぐらい課し	ましたか。	30分程	度	120分 以上 1.6%	90分 程度 4.9%	60分 程度 8.2%	30分 程度 11.5%	ほとんど していない 73.8%	無回答
度	③ 事	後学習や課	題を1週当た	り平均でどれ	いぐらい課し	ましたか。	30分程	度	120分 以上 1.6%	90分 程度 4.9%	60分 程度 8.2%	30分 程度 11.5%	ほとんど していない 73.8%	無回答
授	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材(日	ごデオなど)を、	授業の理解に	ニ活用しましたか。	3		4.	13			\(\)	•
業内容	⑤ <u></u>	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	『でしたか。	適切であった	き	非常に 高かった 4.9%	やや 高かった 14.8%	適切 であった 78.7%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答	
授	⑥ 学	生に分かりゃ	やすい説明を	心がけました	たか 。		4		4.	36				♦
業の進め	⑦ 授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	たか。	注意す 必要に なかっこ		主意する 必要は なかった 45.9%	注意 していた 36.1%	ある程度 注意 していた 14.8%	あまり 注意して いなかった 1.6%	全く 注意して いなかった 1.6%	無回答
方	⑧ 学	生の理解度	を配慮しなか	ら授業を進	めましたか。		4		4.	36				♦
総合		生に新しい知言 すか。	識や技術を与え	え、問題意識や	関心を高める	ことができたと思	4		4.	10				\circ\
評価	10 =	の授業は学	生の将来に往	设立つと思い	ますか。		4		4.	28				\lambda
		善の工夫	対する見解	9										

教員	名	: 藤田	職:	名:	教授	<u>} </u>	<u>所</u>	属 :	全学						
<u>科</u> 目	名称	:基礎~	ゼミナール	I			<u>科</u>	目群	: 基	礎教	<u>養科目</u>				
<u>授業</u>	ミコード	: 8001d	<u>ie</u>	授業	形態 :	演習	受	講者数	:	70:	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	61名
			学	年		Τ				学科•	コース				
口	答者	1074	0回件	20/W	無同然		1	未来科	ビジ	シ フ	地域こ	ども	このは	Aur.	回炊
Þ	勺訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース		勿栄養 ロス	キャ	リア	学科		その他	<i>***</i>	回答
		57	_	_	- 4	1 –		-		-		58		_	3
			 ≃π:				<u> </u>	教員	の	学/	<u></u> 生の	♦		の自己 の評価	
	1		<u></u>	価項目				自己評			评均	1	2	3	4 5
	① 勉	放強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	<i>」たか。</i>			4			.49				\langle
受講	② 事	4前学習や課	:題を1週当た	こり平均でど	れぐらい課し	しましたか。	Ì	60分程	呈度	120分以上	90分 程度	60分 程度	30分程度	ほとんどしていない	無回答
態度							\dashv			1.6% 120分	90分	8.2%	11.5% 30分	73.8% ほとんど	無回答
	③ 事	4後学習や課	題を1週当た	<u>-</u> り平均でど	れぐらい課し	しましたか。	Ì	60分程	呈度	以上 1.6%	程度 4.9%	程度 8.2%	程度 11.5%	していない 73.8%	悪凹合
授	④ 教	:科書、プリント、	視聴覚教材(ビデオなど)を	、授業の理解に	に活用しましたか	, o	4			.13	<u></u>			\
業内	(S) >	の授業のレヘ	ベルけ 学生		適均	-	非常に高かった	やや 高かった	適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答			
容					_	であっ	った	4.9%	14.8%	78.7%	_	_	1.6%		
授業	⑥ 学	生に分かりゃ	やすい説明を	こ心がけまし	たか。		_	5			.36		\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		
への進め	⑦ 授	受業の進行を対	妨げる行為に	こ対して注意	stをしていま1	したか。		ある程 注意して		注意する 必要は なかった 45.9%	注意 していた 36.1%	ある程度 注意 していた 14.8%	あまり 注意して いなかった 1.6%	全く 注意して いなかった 1.6%	無回答
方	_	生の理解度						5		4.	.36				
総合		生に新しい知言 すか。	識や技術を与え	え、問題意識や	や関心を高める	ることができたと	思い	4		4.	.10				\circ\
評価	10 -	の授業は学生	生の将来に行	安立つと思い	いますか。			5		4.	.28				<u></u>
1 1	受業改	善の工夫													
2 7	アンケ	ート結果に	対する見角	<u>军</u>											

<u>教</u> 』	名	: 別所	職	名 :	講師	<u> </u>	<u>所</u>	禹 :	全学						
<u>科</u> 目	名称	: 基礎	ゼミナール	I			<u>科</u>	目群 :	基	礎教	養科目				
<u>授業</u>	ミコード	: 8001	de	授業	形態 :	演習	<u>受</u>	講者数	:	70	<u>名_</u>	<u>回答</u>	者数	:	61名
			学	年						学科•	コース				
	答者 习訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食	未来科 物栄養 ュース	ビジキャ		地域こ 学科		その他	無	回答
		57	_	_	4			-	コー	-ス -		58		_	3
			評	価項目				教員 自己郭			生の 近平均	♦		の自己 の評価 3	
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	 たか。			5	1 1114		.49			J	
受講態	② 事	前学習や課	題を1週当た	り平均でどえ	れぐらい課し	ましたか。		ほとん 課してい		120分 以上 1.6%	90分 程度 4.9%	60分 程度 8.2%	30分 程度 11.5%	ほとんど していない 73.8%	無回答
度	③ 事	び後学習や課	題を1週当た	り平均でどえ	れぐらい課し	ましたか。		ほとん 課してい		120分 以上 1.6%	90分 程度 4.9%	60分 程度 8.2%	30分 程度 11.5%	ほとんど していない 73.8%	無回答
授	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材(1	ごデオなど)を、	授業の理解に	こ活用しましたか	٠.	5			.13	0.2%	11.0%	18.0%	
業内容	(5) Z	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り		適りであっ		非常に 高かった 4.9%	やや 高かった 14.8%	適切 であった 78.7%	やや 低かった -	非常に 低かった	無回答 1.6%		
授	⑥ 学	生に分かり	やすい説明を	と心がけまし			5		4	.36					
業の進め	⑦ 授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	きしていまし	<i>したか</i> 。		注意す必要になかっ	は	注意する 必要は なかった 45.9%	していた	ある程度 注意 していた 14.8%	あまり 注意して いなかった 1.6%	全く 注意して いなかった 1.6%	無回答
方		生の理解度						5		4	.36				
総合証	9 _±	すか。				らことができたと凡	思い	3		4	.10			♦	
評価	10 =	の授業は学	生の将来に行		ますか。			3		4	.28			♦	
1 1	受業改	善の工夫													
2 7	アンケー	ート結果に	対する見角	4											

教員	<u> </u> 名	:増井	啓子		職/	名 :	教授	<u> </u>	<u>所</u>	属 :	全学	<u>: </u>			
<u>科</u> 目	1名称	: 基礎-	ゼミナール	I			<u>科</u>	<u> 目群 :</u>	: 基	.礎教	養科目				
<u>授業</u>		: 8001d	de	授業刑	形態 :	演習	<u>受</u> i	講者数	:	70:	<u>名_</u>	<u>回答</u>	者数	•	61名
		T	学	年						学科•	コース				
]答者	1回生	2回生	その他	無回答			未来科	ビジ	マス	地域こ		その他	411	回答
ď	为訳	1四年	4四年	てV7世	無固合	生活福祉コース		か栄養 ース	キャ	リア	学科	<u> </u>	てり7世	////	凹台
		57	_	_	- 4	1 -		_		_		58			3
				価項目				教員(自己評			生の 近平均			の自己 の評価 3	
	① 兔	 边強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	したか。			4		4	.49				♦
受講態	2 事	事前学習や課		こり平均でど;	れぐらい課し	しましたか。		30分程	呈度	120分 以上 1.6%	90分 程度 4.9%	60分 程度 8.2%	30分 程度 11.5%	ほとんど していない 73.8%	無回答
度	③ 事	事後学習や課			れぐらい課し		\exists	30分程	呈度	120分 以上 1.6%	90分 程度 4.9%	60分 程度 8.2%	30分 程度 11.5%	ほとんど していない 73.8%	無回答
授	④ 教	女科書、プリント、	視聴覚教材()	ビデオなど)を	、授業の理解に	に活用しましたか	'در ر	5			.13	0.27	11.6%	10.0%	
業内容	\$ 3	この授業のレ^	ベルは、学生	\exists	適 切 であっ		非常に 高かった 4.9%	やや 高かった 14.8%	適切 であった 78.7%	やや 低かった	非常に 低かった	無回答			
授	⑥ 学	学生に分かりゃ	<u></u> やすい説明を	を心がけまし	たか。	\exists	5			.36					
業の進め	⑦ 授	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意		したか。		注意す 必要に なかっ	は	注意する 必要は なかった 45.9%	していた	ある程度 注意 していた 14.8%	あまり 注意して いなかった 1.6%	全く 注意して いなかった 1.6%	無回答
め方	_	学生の理解度						5		4	.36				
総合		生生に新しい知言 きすか。	識や技術を与え	え、問題意識々	?関心を高める	ることができたと	思い	4		4	.10			—	\circ\
評価	10 =	の授業は学生	生の将来に往	设立つと思v	ますか。			5		4	.28			-	<u></u>
1 技	受業改	(善の工夫													
2 7	アンケ	ート結果に	対する見角	<u>犀</u>											

教員	名	: 吉田	直子	職名	:	講師	·	<u>所</u>	禹 :	全学					
<u>科</u> 目	名称	: 基礎-	ゼミナール	I			<u>科</u> 目	群:	基	礎教建	美科目				
<u>授業</u>	ミコード	: 8001	ie	<u>授業</u>	形態 :	演習	<u>受</u> 請	大大大	:	70≤	<u>名</u>	回答	者数	:	61名
			学	年					7	学科・コ	ュース				
	答者 勺訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	未来科学養ース	ビジネキャリコー	ア	地域こ 学科	<u>-</u>	その他	無	回答
		57	_	_	4	1 –		_	<u> </u>	-		58		_	3
				価項目				教員 <i>0</i> 自己評		学 評価	生の 平均	1		の自己 の評価 3	
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4		4.	49				\langle
受講態	② 事	前学習や課	:題を1週当た	_り平均でどれ	hぐらい課し	ましたか。		30分程	度	120分 以上 1.6%	90分 程度 4.9%	60分 程度 8.2%	30分 程度 11.5%	ほとんど していない 73.8%	無回答
度	③ 事	び後学習や課	:題を1週当た	-り平均でどね	hぐらい課し	ましたか。		30分程	度	120分 以上 1.6%	90分 程度 4.9%	60分 程度 8.2%	30分 程度 11.5%	ほとんど していない 73.8%	無回答
授	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材(1	ごデオなど)を、	授業の理解に	こ活用しましたか	, o	4		4.	13				\Diamond
業内容	(5) C	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り		適切であった		非常に 高かった 4.9%	やや 高かった 14.8%	適切 であった 78.7%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答		
授業	⑥ 学	生生に分かりゃ	やすい説明を	と心がけました		4		4.	36				•		
来の進め	⑦ 授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	したか。		注意す 必要に なかっ	ţ	注意する 必要は なかった 45.9%	注意 していた 36.1%	ある程度 注意 していた 14.8%	あまり 注意して いなかった 1.6%	全く 注意して いなかった 1.6%	無回答
方		生の理解度						4		4.	36				>
総合証		生に新しい知言すか。	戦や技術を与 <i>っ</i>	さ、問題意識や	・関心を高める	Sことができたと!	思い	4		4.	10				\circ
評価	10 =	の授業は学	生の将来に往	殳立つと思い	ますか。			4		4.	28				\Diamond
1 1	受業改	善の工夫													
2 7	アンケ	ート結果に	対する見角	军											

教員	名	: 梓川			職名	: 准	<u> </u>	<u>所</u>	禹 :	全学				
科目	名称	: キャリ	アゼミナー	ル			科目郡	羊 : 基	基礎教	美科目				
授業	ミコート	: 8008	ab	<u>授業</u>	形態 :	演習	受講	<u> </u>	88:	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	31名
			学	年					学科•3	ュース				
	答者 可訳	1回生	2回生	その他	無回答		三活未 食物栄 コー	養だシャヤ	ネス ツア ース	地域こ。 学科		その他	無	回答
\• \ \		-	31	-	-	9		3	5		13		_	1
※ 才	ムニバ	ス形式でのも		としてのチェ 価項目	ックです。		; É	教員の 日己評価		生の i平均	♦		の自己 の評価 3	
	① 兔	 か強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			5	4.	03				<
受講態	② 事	事前学習や課	見題を1週当た	こり平均でど	hぐらい課し	ましたか。	3	0分程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 3.2%	30分 程度 3.2%	ほとんど していない 93.5%	無回答
度	③ 事	事後学習や課	!題を1週当だ	こり平均でどれ	hぐらい課し	ましたか。	3	0分程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 6.5%	30分 程度 -	ほとんど していない 93.5%	無回答
授業	④ 教	女科書、プリント、	、視聴覚教材(ビデオなど)を、	授業の理解に	こ活用しましたか。		5	3.	77				
業内容	(5) C	この授業のレー	ベルは、学生	にとって適り	刀でしたか。	_	適切 であった	非常に 高かった 3.2%	やや 高かった 19.4%	適切 であった 77.4%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答	
授業	⑥ 芎	学生に分かり	やすい説明を	を心がけまし	たか。			5	3.	84				
果の進め	⑦ 搒	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	したか。	注	意していた	注意する 必要は なかった 35.5%	注意 していた 29.0%	ある程度 注意 していた 25.8%	あまり 注意して いなかった 6.5%	全く 注意して いなかった 3.2%	無回答
方		学生の理解度						5	3.	93				
総合		生に新しい知 さすか。	識や技術を与	え、問題意識や	○関心を高める	らことができたと思	· V	4	3.	77				\Diamond
評価	10 3	の授業は学	生の将来に	设立つと思V	ますか。			5	4.	06				
1 13	文采収	(善の工夫												
2 7	アンケ	ート結果に	対する見角	军										

教員	名	: 戸田	信聡	職/	名:	講印	<u> </u>	<u>所</u>	禹 :	全学					
<u>科</u> 目	1名称	: キャリ	アゼミナー	ル			<u>科</u>	目群 :	: 基	礎教	養科目				
<u>授業</u>	ミコート	: 8008	ab	授業	形態 :	演習	<u>受</u>	<u>講者数</u>	:	88:	<u>名_</u>	<u>回答</u>	者数	:	31名
			学	年					:	学科•:	コース				
口	答者	1回生	2回生	その他	無回答			未来科	ビジ	シ フ	地域こ	ども	その他	ÁIII.	同炊
P	勺訳	1凹生	2回生	て V 7世	無凹谷	生活福祉コース		効栄養 ース	キャコー	リア	学科	ļ	てりが	***	回答
		-	31	-	_	9		3		5		13			1
			評	価項目				教員 自己部			生の 5平均			の自己 の評価 3	平均
	① 免	強しやすい	雰囲気づくり	 に配慮しまし				5	ПЩ		.03	1		٠ -	4 5
受講			題を1週当た		-	<u></u> ましたか。		ほとん		120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答
態	,	113 1 🖂 (18)	VEC1231					課してい	ない	-	-	3.2%	3.2%	93.5%	_
度	③ 事	4後学習や課	関を1週当た	_り平均でどえ	れぐらい課し	ましたか。		ほとん 課してい		120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 6.5%	30分 程度 -	ほとんど していない 93.5%	無回答
授	④ 教	科書、プリント、	、視聴覚教材(t	 ごデオなど)を、	. 授業の理解に	こ活用しましたか	,°	5		3	.77				
業内容	(5) C	の授業のレー		適り であっ	-	非常に 高かった 3.2%	やや 高かった 19.4%	適切 であった 77.4%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答				
授	6 学	生に分かり	やすい説明を	心がけまし		5			.84						
業の進れ	⑦ 授	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意		したか。		注意して	こいた	注意する 必要は なかった 35.5%	していた	ある程度 注意 していた 25.8%	あまり 注意して いなかった 6.5%	全く 注意して いなかった 3.2%	無回答
め方	8 学	生の理解度	を配慮しなか	- ら授業を進	めましたか。			5		3	.93				
総合		生に新しい知	識や技術を与え	と、問題意識や	?関心を高める	らことができたと	思い	4		3	.77				\rightarrow
評価	10 3	の授業は学	生の将来に往	g立つと思い と立つと思い	ますか。			5		4	.06				
1 1	受業改	善の工夫													
2 7	アンケ	ート結果に	対する見角	军											
	アンケート結果に対する見解														

<u>教</u> 員	名	: 増井	啓子			職	名 :	教授	<u> </u>	<u>所</u>	禹 :	全学	:		
<u>科</u> 目	名称	: キャリ	アゼミナー	ル			<u>科</u>	目群 :	: <u>基</u>	礎教	養科 目				
<u>授業</u>	ミコード	: 8008	ab	授業	形態 :	演習	<u>受</u>	講者数	:	88:	<u>名_</u>	<u>回答</u>	者数	<u>:</u>	31名
			学	年					:	学科・	コース				
	答者	1回生	2回生	その他	無回答			未来科	ビジ	ネス	地域こ		その他	4111-	回答
P	寸訳	1凹土	2回生	-C 02/IE	無凹合	生活福祉コース		勿栄養 一ス	キャコー	リア	学科	- '	-C V/IE	***	当 合
		-	31	_	_	9		3		5		13			1
			評	価項目				教員 自己割			生の i平均	1		の自己 の評価 3	
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4		4.	.03				\rightarrow
受講態	② 事	前学習や課	題を1週当た	り平均でどえ	れぐらい課し	ましたか。		ほとん 課してい		120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 3.2%	30分 程度 3.2%	ほとんど していない 93.5%	無回答
度	③ 事	後学習や課	題を1週当た	り平均でどれ	れぐらい課し	ましたか。		30分程	是度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 6.5%	30分 程度 -	ほとんど していない 93.5%	無回答
授	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材(1	ごデオなど)を、	授業の理解に	活用しましたか	۰.	5		3.	.77				
業内容	\$ 5	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	刃でしたか。			適り であっ		非常に 高かった 3.2%	やや 高かった 19.4%	適切 であった 77.4%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答
授業	⑥ 学	生に分かり	やすい説明を	こ心がけまし	たか。			5		3.	.84				
果の進め	⑦ 授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	たか。		注意して	こいた	注意する 必要は なかった 35.5%	注意 していた 29.0%	ある程度 注意 していた 25.8%	あまり 注意して いなかった 6.5%	全く 注意して いなかった 3.2%	無回答
方	•		を配慮しなか					5		3.	.93				l ¢
総合証		生に新しい知i すか。	識や技術を与え	え、問題意識や	♥関心を高める	ことができたと思	習い	4		3.	.77				\Diamond
評価	10 =	の授業は学	生の将来に往	设立つと思V	ますか。			5		4.	.06				
1 1	受業改	善の工夫													
2 7	アンケー	ート結果に	対する見角	¥											

教員	名	:水野	尚美			職:	名 : 講師	师	<u>所</u>	属 :	全学			
<u>科</u> 目	名称	: キャリ	アゼミナー	ル			<u>科</u>	目群 : 基	基礎教	養科目				
授業	ミコード	: 8008	ab	授業	形態 :	演習	受	講者数 :	88	<u>名_</u>	<u>回答</u>	者数	:	31名
			学	年		Τ			学科•	コース				
	答者 勺訳	1回生	2回生	その他	無回答		食物	が木食	ジネス ャリア	地域こ 学科	ども	その他	無	回答
			31			9		3	ース 5		13		_	1
			評.	価項目				教員の 自己評価		生の 近平均	1		<mark>の自己</mark> の評価 3	
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4	4	.03				\
受講態	2 事	前学習や課	題を1週当た	<u>-</u> り平均でどね	れぐらい課し	ましたか。		ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 3.2%	30分 程度 3.2%	ほとんど していない 93.5%	無回答 —
度	3 事	後学習や課	題を1週当た	_り平均でどね	れぐらい課し	ましたか。		ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 6.5%	30分 程度 -	ほとんど していない 93.5%	無回答
授業	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材(1	ごデオなど)を、	授業の理解に	こ活用しましたか。		4	3	.77				♦
亲 内 容	⑤ C	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	 刃でしたか。 			適切 であった	非常に 高かった 3.2%	やや 高かった 19.4%		やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答
授業	⑥ 学	生に分かり	やすい説明を	心がけまし	たか。			4	3	.84				\Diamond
未の進め	⑦ 授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	きしていまし	<i>、たか</i> 。		ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 35.5%	していた	ある程度 注意 していた 25.8%	あまり 注意して いなかった 6.5 %	全く 注意して いなかった 3.2%	無回答
方	_		を配慮しなか					4	3	.93				
総合証	9 z	すか。				ことができたと思	, V	3	3	.77			♦	
評価	10 =	の授業は学	生の将来に往	安立つと思い	ますか。			4	4	.06				\(\)
1 1	受業改	善の工夫												
2 7	アンケー	ート結果に	対する見角	军										

<u>教</u> 』	名	:吉田	直子	聯	铭 :	講印	ĵ	<u>所</u>	禹 :	全学	:				
<u>科</u> 目	名称	: キャリ	アゼミナー	ル			<u>利</u>	目群 :	基	礎教	養科目				
<u>授業</u>	ミコード	: 8008	ab	授業	形態 :	演習	<u>受</u>	講者数	:	88	<u>名_</u>	<u>回答</u>	者数	:	31名
			学	年					:	学科•:	コース				
口	答者	1回件	加州	この仏	無同然			5未来科	ビジ	シ フ	地域こ	ども	その他	4m.	回炊
P	勺訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース		物栄養コース	キャ	リア	学科	F .	てり他	***	回答
		-	31	_	_	9		3		5		13		-	1
			評	価項目				教員 自己評			生の 年の F平均	1		の自己 の評価 3	
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4		4	.03				\Q
受講態	② 事	前学習や課	題を1週当た	り平均でどえ	れぐらい課し	ましたか。		ほとん 課してい		120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 3.2%	30分 程度 3.2%	ほとんど していない 93.5%	無回答
度	③ 事	4後学習や課	題を1週当た	上り平均でどえ	れぐらい課し	ましたか。		ほとん 課してい		120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 6.5%	30分 程度 -	ほとんど していない 93.5%	無回答
授	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材(1	ごデオなど)を、	授業の理解に	上活用しましたか	,0	4		3	.77				\rightarrow
業内容	\$ 3	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り		適切 であっ		非常に 高かった 3.2%	やや 高かった 19.4%	適切 であった 77.4%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答		
授	⑥ 学	生に分かり	やすい説明を	と心がけまし	たか。			4		3	.84				\(\rightarrow\)
業の進め	⑦ 授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	たか。		注意す 必要に なかっ	は	注意する 必要は なかった 35.5%	していた	ある程度 注意 していた 25.8%	あまり 注意して いなかった 6.5%	全く 注意して いなかった 3.2%	無回答
方	_	生の理解度						4		3	.93				\circ\
総合語		生に新しい知言 すか。	識や技術を与れ	え、問題意識々	P関心を高める	ことができたと	思い	4		3	.77				\rightarrow
評価	10 =	の授業は学	生の将来に行	设立つと思V	ますか。			4		4	.06				\langle
1 1	受業改	善の工夫													
2 7	アンケー	ート結果に	対する見角	4											

科目名称 : キャリアデザイン 科目群 : 基礎教養科目

授業コード : 8190abc <u>授業形態 : 講義</u> <u>受講者数 : 118名 回答者数 : 108名</u>

		学	年				学科•	コース		
□ <i>k</i> ⁄c → .						生活未来科		116-64-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	107	1	_	_	13	38	5	52	-	_

					♦	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生 評価		1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.2	27				\
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 18.5%	90分 程度 25.9%	60分 程度 23.1%	30分 程度 11.1%	ほとんど していない 21.3%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 17.6%	90分 程度 25.9%	60分 程度 26.9%	30分 程度 12.0%	ほとんど していない 17.6%	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.		20.3%	12.0%	11.0%	
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 8.3%	やや 高かった 36.1%	適切 であった 53.7%	やや 低かった 0.9%	非常に 低かった -	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.0	09				\rightarrow
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 7.4%	注意 していた 70.4 %	ある程度 注意 していた 20.4%	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった 0.9 %	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.0	05				\rightarrow
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	3.9	95				\
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.3	35				•

1 授業改善の工夫

受講生主体型授業(アクティブ・ラーニング)を実施している。情報収集し、それをグループワークによって考えをまとめ、プレゼンする一連の中で「社会人基礎力」を養う。パワーポイントを見るだけではなく、そのことを踏まえて自分の出来事(経験)から新たな自分発見や将来に向けた思考力を身に付ける授業内容にした。「自分自身で自律的に創るキャリア」を実感できる様に言葉を用いて「自分語り」をするなど授業に取り入れるなど工夫した。

2 アンケート結果に対する見解

授業の進め方で内容の他に板書や自分で考える力を身に付けさせるための授業に徹した。文字を書くことが苦手である現代の若者に対して、社会では、他人の話を聴き、メモをとる作業が多くなるために、集中力と要約をする事も大事だと考えている。なるべく、実体験を入れる様にして、「社会」を感じてもらえることを中心にした。レポートの提出は中間に設けてあり、自分自身を考えるというこの科目を真剣に受けとめて頂きたいとの思いから試験を実施する。

教員名 : 渡部 悠香 職名 : 非常勤 所属 : 全学

科目名称 : 健康・スポーツ実習 科目群 : 基礎教養科目

<u>授業コード: 8255ab 授業形態: 実習 受講者数: 56名 回答者数: 38名</u>

		学	年				学科•	コース		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉			地域こども 学科	その他	無回答
	1	37	_	_	コース	コース -	コース	36	_	2

					♦	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生 評価 ^図		1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.4	:5				♦
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 7.9%	90分 程度 2.6%	60分 程度 5.3%	30分 程度 7.9%	ほとんど していない 76.3%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 7.9%	90分 程度 -	60分 程度 5.3%	30分 程度 2.6%	ほとんど していない 84.2%	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	2	4.0	0		•		
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 15.8%	やや 高かった 10.5%	適切 であった 71.1%	やや 低かった -	非常に 低かった 2.6%	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.5	3				•
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	なかった	注意 していた 63.2%	ある程度 注意 していた 10.5%	あまり 注意して いなかった 2.6%	全く 注意して いなかった	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	3	4.6	1			\(\)	
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.3	2				
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.5	5				•

1 授業改善の工夫

授業クラスとしては、遅刻、中抜け、迷惑行為がとても目立っていた。一方で、指導者目線を持ち、全体をまとめようと一生懸命取り組む学生も多かった。クラスの特色を生かし、互いに指導する立場や教えられる側の視点を十分に理解できるように、大半の時間をグループごとにそれぞれスポーツを通して教え合うことのむずかしさ、伝えることの難しさに触れる形式を行った。参考文献など調べ指導方法を用意してくる学生、自己の運動経験から率先して高い技術を伝える学生、グループのリーダーシップをとる学生など様々な様子が見られた。中でも、同年代への指導や助言の難しさに苦戦している様子もあった。 いずれにしてもスポーツという目に見える成果を通して、自己理解を深めさせ、さらには他者を受容できるよう、社会にでた時に役に立つことがそれぞれ一つでも多く見つかるように授業工夫をした。これらは、「ストレス」という健康を害するものへの対処法を見出すことにもつながると考えたためである

2 アンケート結果に対する見解

受講態度に関しては、予想以上に高い評価であった。提出物等をみて、時間のかけ方に差があったと感じていたからである。また、授業内にも集中できない、授業妨害などの声が多数出ていたことも実際にあった。 授業内容に関しては、多少計算が必要な問題やトレーニング科学的な話をしたときに、興味関心も二極化していたことを覚えている。運動が苦手な学生、もっと学びたい学生など差がみられたため、もう少しわかりやすい説明で興味を持たせ、授業を進めていたら多くの学生にとってわかりやすかったのかと今後の改善として考える。 授業の進め方に関しては、一番注意を払っていた。説明や指示が通らなければ、怪我や事故の発生につながるため時には厳しく注意も行った。「できない」ではなく「楽しい」につなげる工夫をし、生涯を通して健康維持のためにスポーツに取り組んで欲しいと伝えていたので、全体評価が高くて幸いに思う。 総合評価に関しては、⑩役に立つという部分で貢献できたことをうれしく思う。正直、運動場面ではルールやマナーに関して厳しく言及する部分が多く、靴の並べ方から礼の仕方まで理由を添えて伝えることに嫌な顔をする学生が多かった。しかし、結果的にスポーツに活かされ、仲間関係にも生かされ、こんな指導者になりたいという具体性を持った考えに変わった様子などを学生との会話の中で聞くことがとても印象に残っている。

教員	名	: 宮川	久美				職	名: 教	授	<u>所</u>	禹 :	全学		
科目	名称	:国語	表現法				<u>科</u>	目群 : 3	基礎教	養科目				
<u>授業</u>	ミコード	: 8110a	ıb	<u>授業</u>	形態 :	講義	受	講者数 :	86	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	45名
			学	年					学科•	コース				
口	答者	1回生	2回生	その他	無回答	1		未来科	ジネス	地域こ		その他	4111-	回答
P	勺訳	1凹生	2四生	て () 7世	無凹合	生活福祉コース		カ木後	ャリア	学科	F '	ての地	***	<u></u> 旦合
		43	2	_	_	_		-	7		38			_
			評	価項目				教員の 自己評価		生の 舌平均	1		の自己 の評価 3	
	① 勉	2強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4	3	.96				\Q
受講能	② 事	前学習や課	題を1週当た	り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		30分程度	120分 以上 -	90分 程度 2.2%	60分 程度 17.8%	30分 程度 37.8%	ほとんど していない 42.2%	無回答
態度	3 事	な学習や課	題を1週当た	り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		30分程度	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答
授	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材()	ごデオなど)を、	授業の理解に	ニ活用しましたか	`.	4	- 4	4.4%	15.6%	35.6%	44.4%	-
業内						147,140 0307-137	0	- 適切	非常に高かった	44	適切 であった	やや低かった	非常に低かった	無回答
容	5 2	の授業のレイ	・ルは、学生	にとつて週り	ルでしたか。 			であった	6.7%	44.4%	46.7%	2.2%	-	-
授業	⑥ 学	生に分かりゃ	やすい説明を	と心がけまし	たか。			4		.73	* 7 10 16	* + h		\rightarrow
の進め	⑦ 授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	たか。		注意していた	注意する 必要は なかった 8.9%	注意 していた 62.2%	ある程度 注意 していた 24.4%	あまり 注意して いなかった 4.4%	全く 注意して いなかった -	無回答 -
方	_	生の理解度						4	3	.82				\Diamond
総合証	9 ま	生に新しい知言すか。	戦や技術を与 <i>っ</i>	え、問題意識や	P関心を高める	ことができたと見	思い	4	3	.96				>
評価	10 =	の授業は学	生の将来に往	设立つと思V	ますか。			5	4	.20				
1 1	受業改	善の工夫												
2 7	アンケ	ート結果に	対する見角											

教員	名	: 中田	奈月				職名	名: 教	受	<u>所</u>	禹 :	全学		
<u>科</u> 目	名称	: 社会:	学				<u>科</u>	<u> </u>	基礎教	養科目				
<u>授業</u>	ミコート	: 8145		授業	講義	<u>受</u> 請	構者数 :	13:	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	12名	
			学	年					学科•3	コース				
口	答者	1回生	2回生	その他	無回答	<u> </u>		未来科	ジネス	地域こ		その他	4111-	回答
P	勺訳	1凹生	2四生	てり他	無凹谷	生活福祉コース		7木食 ース キャ	アリア	学科		ての地	/// (当 合
		-	12	_	_	10		1	1		_			-
			評	価項目				教員の 自己評価		生の i平均	1		の自己 の評価 3	
	① 兔	か強しやすい:	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4	4.	.33				♦
受講態	② 事	耳前学習や課	!題を1週当た	り平均でどれ	れぐらい課し	ましたか。		60分程度	120分 以上 8.3%	90分 程度 16.7%	60分 程度 33.3%	30分 程度 33.3%	ほとんど していない 8.3%	無回答
度	③ 事	事後学習や課	!題を1週当た	り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		60分程度	120分 以上 -	90分程度	60分 程度 25.0%	30分 程度 25.0%	ほとんど していない 16.7%	無回答
授	④ 剗	(科書、プリント、	視聴覚教材(1	ごデオなど)を、	授業の理解に	ニ活用しましたか	6	1	1	.08	23.0%	25.0%	10.770	
業内容	(5) C	の授業のレー	ベルは、学生	にとって適ち	刃でしたか。			やや 高かった	非常に 高かった 25.0%		適切 であった 25.0%	やや 低かった	非常に低かった	無回答
授	⑥ 等	生に分かり	やすい説明を	こ心がけまし	たか。		1	4	1	.83	20.0%			\
業の進え	⑦ 授	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	たか。		注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 75.0%	注意 していた 16.7%	ある程度 注意 していた 8.3%	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答	
め方	⑧ 学	生の理解度	を配慮しなか	ら授業を進	めましたか。			5	4.	.08				
総合	9 ま	生に新しい知	識や技術を与え	え、問題意識や	P関心を高める	ことができたと思	思い	4	3.	.83				\Diamond
評価	10 3	の授業は学	生の将来に往	设立つと思V	ますか。			5	3.	.83				
1 1	受業改	善の工夫												
2 7	アンケ	ート結果に	対する見角	¥										

教員	名	:中田	奈月	職	名 :	教授	<u> </u>	<u>所</u>	禹 :	全学					
<u>科</u> 目	1名称	:情報	既論				<u>科</u>	<u> 目群</u> :	基	礎教養	美科目				
<u>授業</u>	ミコート	: 8425		授業	形態 :	講義	受	講者数	<u>:</u>	52	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	<u>:</u>	4名
			学	年					į	学科・コ	ュース				
	答者 勺訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	未来科 勿栄養	ビジキャ	リア	地域こ 学科	ども	その他	無	回答
		4	_		_		-	-		4		_		_	_
				価項目			教員(自己割		学生評価	生の 平均	1		の自己 の評価 3		
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	したか。			4		4.	00				\
受講態	② 事	耳前学習や課	題を1週当た		れぐらい課し	よしたか。		30分程	達	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 -	ほとんど していない 100.0%	無回答
度	③ 事	4後学習や課	題を1週当た	<u>-</u> り平均でどえ	れぐらい課し		ほとん 課してい		120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 -	ほとんど していない 100.0%	無回答	
授業	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材(1		授業の理解し	, ,	1		3.	75	\				
来内容	5 =	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り		適 切 であっ	-	非常に 高かった -	やや 高かった 50.0%	適切 であった 50.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答		
授業	⑥ 学	生に分かりる	やすい説明を		4			00				>			
水の進め	⑦ 授	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	たしていまし	したか。		注意す 必要に なかっ	は	注意する 必要は なかった 25.0%	注意 していた 50.0%	ある程度 注意 していた 25.0%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答
方		生の理解度						4		4.	00				>
総合証	9 g	すか。				ることができたと	思い	4		4.:	25				
評価	10 =	の授業は学	生の将来に往	と立つと思い	ますか。			4		4.	50				•
1 1	受業改	善の工夫													
2 7	アンケ	ート結果に	対する見角	<u>军</u>											1

教員	名	: 中田	奈月			職/	名 : 耄	效授	<u>所</u>	属 :	全学	:		
<u>科</u> 目	名称	: 情報	処理演習 I				<u>科</u>	目群 :	基礎都	養科目				
<u>授業</u>	ミコード	: 84050	lf	授業	形態 :	演習	<u>受</u>	講者数	: 8	7名_	<u>回答</u>	者数	:	33名
			学	年					学科	・コース				
口	答者	1 (-)-	0 T #	7 0 114	fmr □ 5/5			未来科	817.4-a	地域こ	ども	7 0 1/4	fur	
	引訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース		ル末後 :	ごジネス キャリア コース	学和	4	その他	無	回答
		33	_	_	_	_		-		_	33		_	_
							ī	教員の	,	 学生の	♦		の自己 の評価	
			評· 	価項目				自己評価		価平均	1	2	3	4 5
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4		4.39				♦
受講	② 事	前学習や課	題を1週当た	り平均でど	hぐらい課し	ましたか。		30分程度	120 以_		60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答
態度									120	9.1% 分 90分	9.1%	9.1% 30分	72.7% ほとんど	無回答
	③ 事	後学習や課	題を1週当た	り平均でど	hぐらい課し	ましたか。		30分程度	以_	全 程度 9.1%	程度 6.1%	程度 9.1%	していない 75.8%	無凹谷
授	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材(1	ごデオなど)を、	授業の理解に	に活用しましたか	,0	4		4.30				\
業内	(5) Z	の授業のレイ	ベルは 学生	にとって適も	用でしたか 。		適切	非常高かっ		適切 : であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答	
容								であった	6.1		48.5%	3.0%	3.0%	_
授業	⑥ 学	生に分かりゃ	やすい説明を	と心がけまし	たか。			4 注意する	注意	4.06	ある程度	あまり	\$\langle \(\frac{1}{2} \rightarrow \)	\
の進	⑦ 授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	たか。		任息する 必要は なかった	必要なから	はしていた	注意 していた	注意して いなかった 3.0%	全く 注意して いなかった 3.0%	無回答
め方	⑧ 学	生の理解度	を配慮しなか	ら授業を進	めましたか。			5		4.12				
総合	9 芽	生に新しい知言 すか。	戦や技術を与 <i>></i>	え、問題意識や	♥関心を高める	ことができたと凡	思い	4		4.03				\langle
評価	10 = =	の授業は学	生の将来に征	设立つと思V	ますか。			4		4.33				\langle
		善の工夫	ᄬᆉᄀᄝᅀ	77										
2 /	<i>'\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\</i>	ート結果に	対する兄別	<u> </u>										

<u>教</u> 員	名	: 中村	妙子			職	名 : 教	(授	<u>所</u>	禹 :	全学	:		
<u>科</u> 目	名称	: 情報	処理演習 I				<u>科</u>	目群 :	基礎教	養科目				
<u>授業</u>	ミコート	: 8405c	3	授業	形態 :	演習	受	講者数 :	21	<u>名_</u>	<u>回答</u>	者数	:	20名
			学	年					学科•	コース				
口	答者	4 🖂 ().	o 🗔 (I.	7 1.1.	for the feet			未来科		地域こ	レ*ŧ,	7 ~ 11.	feer	
	勺訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース		ルストキ	ジネス テャリア コース	学科	F .	その他	無	回答
		19	_	1	_	_		20	-		-		_	-
								教員の	兴	<u></u> 生の	♦		の自己 の評価	
			評	価項目				割員の自己評価		王切	1	2	3 3	4 5
	① 免	 	雰囲気づくり	に配慮しまし	<i>たか</i> 。			4	4	.50				\
受講	2 4	事前学習や課	題を1週当た	_り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		ほとんど 課していない	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答
態度								味して パル	5.0% 120分	5.0% 90分	15.0% 60分	5.0% 30分	70.0% ほとんど	- tota
	3 4	事後学習や課	題を1週当た	り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		30分程度		程度 5.0%	程度 15.0%	程度 15.0%	していない	無回答
授	④ 耄	対書、プリント、	視聴覚教材(1	ごデオなど)を	. 授業の理解に	ニ活用しましたか	۰,	4		.25	15,0%	13.0%		\
業内	(5) C	この授業のレイ	ベルけ 学生	にとって演り	コで! たか			適切	非常に高かった		· 適切 であった	やや 低かった	非常に低かった	無回答
容								であった	15.0%	30.0%	50.0%	-	5.0%	_
授業	6	学生に分かり	やすい説明を	と心がけまし	たか。			4		.15	ある程度	あまり		•
の進め	⑦ ž	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	tをしていまし	<i>、たか</i> 。		ある程度 注意してい	注意する 必要は なかった 10.0%		注意 していた	がまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -
方	_	学生の理解度						4	4	.21				•
総合評	9 1	きすか。				ことができたと見	思い	4	4	.00				>
価	10 3	の授業は学	生の将来に往	设立つと思V	ますか。			4	4	.30				\
1 1	受業改	(善の工夫												
2 7	アンケ	ート結果に	対する見角	#										

科目名称 : 心理学 科目群 : 基礎教養科目

		学	年				学科•	コース		
						生活未来科	•	116-14-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	47	3	1	1	_	28	5	19	ı	-

					♦	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生(評価平		1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.08	3				\
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	以上	90分 程度 1.9%	60分 程度 3.8%	30分 程度 9.6%	ほとんど していない 84.6%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	以上	90分 程度 1.9%	60分 程度 5.8%	30分 程度 11.5%	ほとんど していない 80.8%	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.23	3				
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	高かった。高	やや あかった 32.7%	適切 であった 48.1%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	3.87	7				\(\rightarrow\)
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	必要はなかったし	注意 ていた 53.8%	ある程度 注意 していた 28.8%	あまり 注意して いなかった 3.8%	全く 注意して いなかった	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.92	2				\(\)
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	3	3.90	0			\langle	
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	3.88	3				

1 授業改善の工夫

受講生が比較的多かったこともあり、教員による講義が中心の授業形式であったが、もっと学生同士の議論の時間を設けることができたらよかったと思われる。また、グループ学習を取り入れる際には単発で設けるのではなく、初回から継続的に経験を積み重ね、学生がグループの中で安心して発言できる雰囲気づくりに努める必要があると感じた。対人交流には前向きな学生が多いと感じたので、授業の冒頭でグループ単位での簡単なアイスブレイクを行うなどの工夫を入れることで円滑なグループ学習を期待することができるかもしれない。

2 アンケート結果に対する見解

自由記述の中で「教室が広すぎたため、スライドの文字が見づらく教員の声も聞き取りにくかった」という意見がみられた。スライドの文字の大きさやマイクの音量などに気を付ける必要はあるが、縦長の教室は教員側にとっても学生との距離が広くなり、学生とのやり取りや私語・居眠りの注意がしにくくなってしまうと感じた。今回は広く使えるようにという配慮で比較的学生同士のスペースに余裕を持たせたが、できるだけ前方に詰めさせる形で席を指定した方が教員にとっても学生にとっても良かったかもしれない。また、授業外の学習時間が短かったため、予習や復習の課題を設けることによって学習時間の確保の必要性を感じた。

教員名 : 馬越 かよ子 職名 : 教授 所属 : 全学

科目名称 : 人権と差別 科目群 : 基礎教養科目

		学	年				学科•	コース		
<i>k/</i> - →/.						生活未来科	•	116-64-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	46	11	_		10	40	6	_	_	1

			•			教員	の自己	評価	
	評価項目	教員の 自己評価	学生 評価 ³		1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5	5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.0)4				>	ĺ
受講	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	60分程度	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	
態			3.5%	3.5%	24.6%	33.3%	35.1%	-	l
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	60分程度	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	l
			1.8%	8.8%	24.6%	21.1%	43.9%	-	l
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.0	9				\Diamond	i
内	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切でなった	非常に 高かった	やや 高かった	適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答	
業 内 ⑤		であった	10.5%	21.1%	66.7%	-	1.8%	-	l
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.0	9					>
業の	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった	注意 していた	ある程度 注意 していた	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答	
進め	O IXXVEHENIN SHIMICALS CERSES (* SOICA :	正愿0 (17)		47.4%	22.8%	7.0%	1.8%	-	l
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.0	9					>
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	3.8	34				Image: Control of the	
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.1	.4					>

1 授業改善の工夫

多くの学生が、授業により新しい知識を得て問題意識や関心が高まり、将来に役立つとしているが、人権は小学校から既習済みのこととして心を開かない残りの学生に対して、発表やグループワーク等にさらに工夫を加えて、自らの問題として様々な人権問題について考える授業展開を図かりたい。

2 アンケート結果に対する見解

具体的な経験や体験を通しての授業で人権とは何かを考えることで、人権について再認識することができた、など、身近なことから気づき、考え、様々な人権問題について関心を持ち、自分の行動について考える姿勢が育まれた授業であったことがアンケート結果に表れていると思われる。一方、自尊感情について、正しく理解できていない部分については、更なる工夫を加えた授業展開を試みたい。

教員	<u> 教員名 : 小畠 友紀 </u>							名 :	非常	营勤	<u>所</u>	禹 :	全学			
<u>科</u> 目	名称	: 奈良	とお茶				<u>科</u>	目群 :	: 基	礎教	美科 目					
<u>授業</u>	ミコード	: 8116		<u>授業</u>	形態 :	演習	<u>受</u> 請	<u>講者数</u>	:	20:	<u>名_</u>	<u>回答</u>	者数	<u>:</u>	19名	
			学	年		T			:	学科•:	コース					
□	答者	1 🗔 🖶	0 E 4	7 0 114	/m: //			未来科	ビジ	シ っ	地域こ	ども				
	引訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース			キャ	プリアース				無	回答	
		18	-	1	_	- 2		9		-		8			-	
							_	教員	മ	学	<u> </u>	♦		の自己 の評価		
			評	価項目				自己割			平均	1 2 3 4 5				
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。		_	5	5		.63					
受講	講 ② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。							ほとん 課してい		120分 以上	90分 程度	60分 程度		ほとんど していない	無回答	
態度							ほとん	Ŀ	120分	90分	5.3%	31.6%	63.2% ほとんど	無回答		
	③ 事	び後学習や課	題を1週当た	19平均でどえ	れぐらい課し	ましたか。		課してい		以上	程度 5.3%	程度	程度 31.6%	していない 63.2%	-	
授業	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材(1	ごデオなど)を、	、授業の理解に	こ活用しましたか	٥,	4		4	.53				♦	
未内容	⑤ Z	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	刃でしたか。			適りであっ	-	非常に 高かった	やや 高かった	適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答	
· 授	⑥ 学	たたに合かれる	シナハ 消服な	シンジャナ	<u></u>		┪	5	,,_	10.5%	.53	89.5%	-	-		
文業の								ある程	中	注意する	注意	ある程度	あまり	全〈	無回答	
進め								注意して		必要は なかった 42.1%	31.6%	注意 していた 26.3%	あまり 注意して いなかった -	いなかった	-	
方	_	生の理解度						4		4.47					♦	
総合		生に新しい知言 すか。	戦や技術を与った	え、問題意識や	≧関心を高める	ることができたと思	型い	4		4.58					♦	
評価	10 =	の授業は学	生の将来に征	殳立つと思い	ますか。			5	5 4.53							
1 ½	受業改	善の工夫														
2 7	アンケ	ート結果に	対する見角	军												

科目名称 : 奈良とお茶 科目群 : 基礎教養科目

		学	年		学科・コース							
□				無回答	生活未来科			116-14-187				
回答者 内訳	1回生	2回生	その他		生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答		
	18	-	1	-	2	9	-	8	-	ı		

			-		教員	の自己	評価	
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	1	■ 学生 2	の評価 3		5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.63				\limits	
受講	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 90分 以上 程度	60分 程度 5.3%	30分 程度 31.6%	ほとんど していない 63.2%	無回答	
態度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 90分 以上 程度 - 5.3%	5.3% 60分 程度	31.6% 30分 程度 31.6%	ほとんど していない	4年回次	
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.53		31.0%	03.2%	•	
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に やや 高かった 高かった 10.5% -	適切 であった 89.5%	,	非常に 低かった	無回答	
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.53					\ }
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 42.1% 31.6%	ある程度 注意 していた 26.3%		全く 注意して いなかった	無回答	
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.47				\langle	
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.58				\langle	
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.53					>

1 授業改善の工夫

本年度の生徒は総じて授業に対する関心・意欲・態度が良好であった事もあり、授業の進行がし易かった。奈良とお茶の授業を始めて四年目。生徒が座学によって吸収できている事が少なく、授業の改善としてお茶作り体験等、体験による学習にシフトしてきた。本年度から茶道を小畠先生に担当して頂く事となり、茶道の授業にいたってはテキストに頼らず見て聞いて覚えるといった古来の学習方法も取り入れたが、生徒の吸収率が飛躍的に上がる結果となった。

2 アンケート結果に対する見解

生徒自身も授業内容を吸収できている自覚があることが見てとれる。この授業のレベルは適切であったと答えた者が89.5%、授業のレベルが高かったと答えた者が10.5%、低かったと答えた者の%、教員の説明の仕方がわかりやすかったと答えた者が94.8%、理解度を考慮して授業を進めていたと感じた者が94.7%と、授業のレベルが簡単すぎたわけではなく殆どの生徒が授業内容を理解できている。さらに総合評価の2点は全員が意欲的な回答である事に、私は喜びを感じる。

教員	名	: 坊 岁	速息				職	名 : 講師	币	<u>所</u>	禹 :	全学	:			
<u>科</u> 目	名称	: 奈良	の食と文化				<u>科</u>	科目群 : 基礎教養科目								
<u>授業</u>	ミコート	: 8117		<u>授業</u>	形態 :	演習	受	講者数 :	34:	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	31名		
			学	年					学科•	コース						
	答者	1回生	2回生	その他	無回答			未来科	ジネス	地域こ	ども	その他	4111	回答		
P	引訳		2回生	CVAIR	無固合	生活福祉コース		の木食した。	アリア	学科	·	CVJE	////	DG*		
		31	_	_	_	11		5	-		14	<i>₩</i> . 🖽	-	1		
			———— 評·	価項目				教員の 自己評価		生の i平均	◆ 教員の自己評価 学生の評価平均 1 2 3 4 5					
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。							4	4.	.10	•					
受講	## ② 東治学羽の調照な1週坐を8でわっていかっていましましたが							ほとんど	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答		
態度				課していない	- 120分	6.5% 90分	9.7% 60分	6.5% 30分	77.4% ほとんど	- tota						
	③ 事	4後学習や課	題を1週当た	り平均でど	hぐらい課し	ましたか。		ほとんど 課していない	以上	程度 3.2%	程度 9.7%	程度 12.9%	していない 71.0%	無回答		
授	④ 剗	科書、プリント、	視聴覚教材(1	ごデオなど)を、	授業の理解に	こ活用しましたか	, .	4	4.	.23				\		
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。							通切 であった	非常に 高かった	やや 高かった	適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答		
容授	⑥ 第	ケナに合かれる		4	9.7%	19.4% . 45	71.0%	-	_	_						
業の									注音する	注意	ある程度	あまり	全く注意して	無回答		
進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。							注意していた	必要は なかった 35.5%	32.3%	注意 していた 22.6%	いなかった 6.5%	注意して いなかった -	3.2%		
方	_	生の理解度					II.	4	4.	.19				•		
総合評	9 1	すか。				ことができたと凡	せい	4	4.	.00				\(\)		
価	10 3	の授業は学	生の将来に行	受立つと思V	ますか。			4	4.	.03				\Diamond		
1 ±	受業改	:善の工夫														
2 7	アンケ	ート結果に	対する見角													

科目名称 : フランス語 I 科目群 : 基礎教養科目

		学	年		学科・コース							
□ <i>k</i> ⁄ → .						生活未来科	•	116-64-187				
回答者 内訳	1回生 2回生 その他 無回答		生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答				
	11	_	_	_	-	4	-	7	-	-		

			_	_	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.00				\
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 90分 程度 9.1% -	60分 程度 -	30分 程度 18.2%	ほとんど していない 72.7%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 90分 以上 程度 9.1% 9.1%	60分 程度 -	30分 程度 9.1%	ほとんど していない 72.7%	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.82				\
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に やや 高かった 高かっ 54.5% 18.2°	たであった		非常に 低かった -	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.45	21.0%			
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 72.7% 18.20	していた	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.45				\
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.64				•
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.00				ightharpoonup

1 授業改善の工夫

大方の学生にとっては、まとまったフランス語に接する最初の機会となるので、良い教科書を選ぶことが大切である。文法の説明が過重ではなく、例文が適切で、できれば自学自習の可能な教科書が望ましい。その上で、学生の興味・関心を見ながら独自に課題を用意し、自分の思うことをフランス語で表現する機会を提供できるように努めている。課題は授業時間内に完結することとし、丁寧に添削した上で次の回に返却するようにしている。

2 アンケート結果に対する見解

今年度のアンケートは、少人数クラスの良い点が表われた結果であると思う。学生一人一人と対話しながら授業を進めていくことができた結果、誰もが疎外感を持つことなく、教員による説明が好評価を得ることができた。自由記述については、練習問題をもっと増やし、説明をもっと詳しくしてほしいというとても前向きな意見で、独自に用意する課題のさらなる充実を工夫していきたい。

教員名 : 水野 尚美 職名 : 講師 所属 : 生活未来科

科目名称 : 医療的ケアⅡ 科目群 : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目

<u>授業コード : 1575 授業形態 : 演習 受講者数 : 9名 回答者数 : 9名</u>

		学	年				学科•	コース		
□ <i>k/c</i> ± <i>c</i> .					<u>/</u>	生活未来科	•	116-14-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
		9	_	_	9	_	_	_	_	_

					♦	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生 評価 ^図		1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.0	0				\langle
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 22.2%	60分 程度 22.2%	30分 程度 33.3%	ほとんど していない 22.2%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 22.2%	60分 程度 22.2%	30分 程度 33.3%	ほとんど していない 22.2%	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.4	4				
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった		やや 高かった 44.4%	適切 であった 22.2%	やや 低かった	非常に 低かった -	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.3					
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	なかった	注意 していた 33.3%	ある程度 注意 していた 11.1%	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.8	9				\(\)
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.0	0				
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.1	1				

1 授業改善の工夫

医療的ケアIの理解の上に、喀痰吸引及び経管栄養について、医療職との連携のもとで、安全・適切に実施できるように、必要な知識技術を修得する。 知識の確認後、喀痰吸引についての知識にもとづき、シミュレーターを用いて一人で喀痰吸引ができるように演習を行う。

2 アンケート結果に対する見解

昨年度までと同様、演習を伴わない限り理解しがたい内容の教科のため、以前よりも映像資料を多く取り入れて行った。そのことが、④の結果につながったと思われる。しかし、学習範囲が広く、専門的にも深く学習することを求めるため、個々人の理解を深めるための方策が取れず、⑧の結果につながったと考える。

教員	名	: 森永	夕美				職	名 :	准教	(授_	<u>所</u>	属 :	<u>生活</u>	未来科	<u> </u>
<u>科</u> [1名称	:介護记	過程 I				<u>科</u>	·目群 :	生	活未来	科 生活	舌福祉=	ュース]	専門教育	育科目
<u>授業</u>	ミュート	: 1405		<u>授業</u>	形態 :	講義	<u>受</u>	講者数	:	22	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	<u>:</u>	21名
			学	年						学科・コ	ュース				
	答者 勺訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	上食	5未来科 物栄養 コース	ビジュキャ	リア	地域こ。 学科		その他	無	回答
		21		_	-	- 23	1	_		-		_			_
				価項目				教員(自己評			生の i平均	1		の自己 の評価 3	
	① 兔	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	したか。			5		4.	.14				
受講態	② 事	4前学習や課	題を1週当た	<u>-</u> り平均でど	れぐらい課し	しましたか。		30分程	渡	120分 以上 -	90分 程度 4.8%	60分 程度 4.8%	30分 程度 9.5%	ほとんど していない 81.0%	 無回答
度	3 事	再後学習や課	題を1週当た	<u>-</u> り平均でど;	れぐらい課し	しましたか。		30分程	腹	120分 以上 4.8%	90分 程度 -	60分 程度 9.5%	30分 程度 19.0%	ほとんど していない 66.7%	無回答
授	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材(『		、授業の理解に	に活用しました	か。	5			.48	0.5	10.5%	00.7.72	
業内容	5 3	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	刃でしたか。			適切 であっ		非常に 高かった 9.5%	やや 高かった 28.6%	適切 であった 61.9%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答
授	⑥ 学	生に分かり	やすい説明を	と心がけまし	たか。			5		4.	.29				
業の進め	⑦ 授	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	でをしていまご	したか。		注意して	いた	注意する 必要は なかった 28.6%	注意 していた 52.4%	ある程度 注意 していた 19.0%	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった -	無回答
方		生の理解度						4		4.	.10				\langle
総合		生に新しい知言 すか。	識や技術を与?	え、問題意識や	*関心を高める	5 ことができたと	と思い	4		4.	.24				\lambda
評価	10 =	の授業は学	生の将来に征	殳立つと思い	ますか。			5		4.	.52				
1 ½	受業改	善の工夫													
2 5	アンケ	ート結果に	対する見角	星											

教員	名	学年 受講者数: 9名 1回生 学年・コース 1回生 全の他 無回答 生活未来科生活未来科生活不来科生活福祉。 食物栄養 キャリアコース コース コース コース コース コース コース コース コース コース			属 :	生活	<u>未来和</u>	¥							
<u>科</u> 目	名称	:介護	過程Ⅲ				<u>科</u>	目群 :	: 生	活未来	科 生活	舌福祉:	コース]	<u>専門教</u>	育科目
授業	ミコー	ド : 1415		<u>授業</u>	形態 :	演習	<u>受</u>	講者数	:	9:	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	9名
			学	年						学科•3	コース				
	答者	1回生	9回生	その他	無回答					ネス			その他	4HE	回答
P	引訳		21411	CVAIR					キャ	リア	学科	ŀ	CVAIE	777	E1.41.
		_	9	_	_	9		-		-		_	±1. □		_ ====================================
			評	価項目								1		の自己 の評価 3	
	① !	勉強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4		4.	.11				\Q
受講態	2	事前学習や課	!題を1週当た	_り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		120分以	以上	以上	程度	60分 程度	30分 程度 44.4%	ほとんど していない 22.2%	無回答
度	3	事後学習や課	提題を1週当た	上り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		120分以	以上	以上	90分 程度	60分 程度 —	30分 程度 33.3%	ほとんど していない 22.2%	無回答
授	4	教科書、プリント、	, 視聴覚教材()	ごデオなど)を	授業の理解に	こ活用しましたか	, 0	5		-	1		33.5/0	22.270	
業内容	5	この授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	刃でしたか。				•	高かった	高かった	適切 であった 44.4%	やや 低かった	非常に 低かった	無回答
授	6 4	学生に分かり	やすい説明を	と心がけまし	たか。			5		4.	.33				
業の進め	7	授業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	きをしていまし	<i>こ</i> たか。		必要	は	必要は なかった	していた	ある程度 注意 していた 11.1%	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答
方	_							4		4.	.00				\Diamond
総合		学生に新しい知 ますか。	識や技術を与	え、問題意識や	P関心を高める	らことができたと	思い	4		4.	.22				\lambda
評価	10	この授業は学	生の将来に行	设立つと思V	ますか。			5		4.	.44				<u> </u>
1 1	受 亲 叮	文書の上天													
2 7	アンケ	ート結果に	対する見角	4											

<u>教</u>	名		:	森	<u>永</u>	夕美	ŧ							<u>]</u>	職名	<u> ፭</u> :	准建	<u>数授</u>	<u>所</u>	属 :	生活	未来和	¥
<u>科</u> 目	名和	<u> </u>	:	介記	獲述	過程	Ш								科目	群	: 生	活未多	K科 生	活福祉	コース	専門教	育科目
<u>授業</u>	ミコー	-ド	:	141	15			_	授業	形	態 :	演	X	;	受請	構者 数	女:	9	<u>名</u>	<u>回名</u>	者数	:	9名
							学	: 年	i.									学科•	コース				
	答者 引訳	-	1	回生		2	回生		その他		無回答	生	活福			未来和 対栄養	ビジ	ネス	地域こ 学系	.ども 4	その他	上無	回答
'	3 H/ C	-			+		Ç)	-	+		- ;	コース	9	コー	ース - -		・リア ス -	3 1	_			
																数	真の	洓	生の	\		の自己の評価	
							許	価	頁目							自己	評価		圧り	1		3	4 5
	1	勉	強し	やす	い雰	タ 囲 タ	気づく	りにi	配慮しま	した	か。						5	4	.11				
受講態	2	事	前学	:習ぐ	課題	題を	1週当	たり	平均でと	:れ<	ぐらい課し	まし	たか。			60分	程度	120分 以上 -	90分 程度 33.3%	60分 程度 -	30分 程度 44.4%	ほとんど していない 22.2%	無回答
度	3	事	後学	:習ぐ	課題	題を	1週当	たり:	平均でと	:れ<	ぐらい課し	まし	たか。			60分	程度	120分 以上 -	90分 程度 44.4%	60分 程度 -	30分 程度 33.3%	ほとんど していない 22.2%	無回答
授	4	教	科書、	プリン	小、 i	視聴生		(ビテ	オなど)を	人授	業の理解に	こ活月	用しまし	たか。		!	5	4	.22		00.0%	122.2%	
業内容	(5)	ے(の授	業の	レベ	シルに	は、学生	生に	とって適	切で	ごしたか。						:切 :つた	非常に 高かった 22.2%	き 高かった			非常に 低かった	無回答
授	6	学	生に	分か	りゃ	すし	説明	を心	がけまし	たた	, , °				T	;	5	1	.33	11.17			
業の進	7	授	業の	進行	を妨	方げる	5行為	にす	けして注意	意を	していまし	したれ	ر. دو			必要	;する 要は った	注意する 必要は なかった 55.6%	していた	ある程度 注意 していた 11.19	注意して いなかった	全く 注意して といなかった	無回答
め方	8	学	生の	理解	度を	を配り	慮しな	がら	授業を達	進め	ましたか。						5	4	.00				
総合	9		生に まか。	折しい	知識	はや技	術を与	·え、	問題意識	や関	心を高める	5こと:	ができた	こと思い	V γ		4	4	.22				•
評価	10	2	の授	業は	学生	三の非	呼来に	役ゴ	こつと思い	いま	すか。						5	4	.44				+
1 1	受 <u>業</u>	<u>改</u>	善の)工力	失_																		
2 7	マング	ケー	ート新	丰果	に対	付す	る見	解															

科目名称 : 介護概論 I 科目群 : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目

		学	年				学科•	コース		
						生活未来科	•	116-64-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	19	_	-	_	18	_	-	_	_	1

_				_, ◊	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.11				♦
受講	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 90分 以上 程度	程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答
態度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど	5.3% - 120分 90分 以上 程度		10.5% 30分 程度	73.7% ほとんど していない	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	課していない 4	- 5.3 4.26	5.3%	42.1%	47.4%	-
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に やや 高かった 高かっ 15.8% 15.8	たであった		非常に低かった	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.42	70 00.470			•
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 42.1% 42.1	た していた		全く 注意して いなかった	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	3	4.47			•	
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.47				•
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.63				\downarrow

1 授業改善の工夫

介護概論 I は1回生前期の科目であり、介護を学ぶ入り口となる授業である。「介護とは」という大きなテーマを学生に伝え、初めは文献を用いて調べるよう課題を出している。一般に言われている「介護とは」何かを知った上で、自分自身でも考え、クラス内で様々な意見に触れながら視野を広げられるようにグループワークを多く活用している。 2年間の学習や実習を通して自らの介護観を確立できるよう、その基礎を築くための授業と捉え、授業を行っている。

2 アンケート結果に対する見解

事前勉強については、求める回数が少なかったため、自ら何かを行うことが少なかったのだと考える。ほとんど事前勉強がなくとも授業が理解できると学生は捉えたようであるため、事前勉強の必要性、復習の必要性、また普段から介護への関心を高めるための学習の必要性をわかりやすく伝えていく必要がある。

<u>教</u> 員	名	: 東 考	至				職	名 : 請	講師	_	<u>所</u>	禹 :	生活	未来和	<u> </u>
<u>科</u> 目	名称	:介護	総合演習I				<u>科</u>	<u> 目群 :</u>	生活	未来	科 生活	舌福祉:	ュース]	専門教	育科目
<u>授業</u>	ミコート	: 1450		授業	形態 :	演習	受	講者数	:	22	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	20名
			学	年					学和	斗•=	ュース				
口	答者	15.4	0 EJ 45	7 0 114	fur: 1=1 δ:δτ				ぶっとみっ		地域こ	ども	7 0 114	/mt	
		1四生	2四生	その他	無凹合	生活福祉コース		勿未食 '	キャリア	١ ١	学和	F .	その他	無	回答
		20	-	_	_	20		-		-		-		_	_
				 価項目							生の	\ 	■ 学生	の自己 の評価	
	① #	おおしめまし			たか				<u>ti</u>		平均 05	1	2	3	4 5
受								Ü		0分	90分	60分	30分	ほとんど	無回答
講態	2	事前学習や課	題を1週当た	ましたか。		60分程度	خ		程度 5.0%	程度 20.0%	程度 20.0%	していない 50.0%	_		
度	③ =	事後学習や課	題を1调当た	ましたか。		60分程度			90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答		
									5.0%	25.0%	20.0%	45.0%	_		
授業	(4) 署	枚科書、プリント、	視聴覚教材()	活用しましたが	0		非		50 &&	適切	44	非常に	Arr C Arts		
内容	5 3	この授業のレイ				高力		高かった 30.0%	であった 50.0%	低かった -	低かった -	無回答 5.0%			
授	6			4			20				\				
業の進め	⑦ ±	受業の進行を	きしていまし	たか。		注意してい	たなが	要は いった	注意 していた 65.0%	ある程度 注意 していた 10.0%	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答		
方	学 年 コ答者 内訳 1回生 2回生 その他 無回答 生活福和コース 20 2 評価項目 ① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。 ② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。 ③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。 ④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しました ⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。 ⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。 ⑦ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。 ② 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたますか。 ② 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたますか。							5		4.	30				
総合	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。 ② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたが ③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたが ④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用します。 ⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。 ⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。 ⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。 ⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。 ⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることがでますか。 ⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。 ② 業改善の工夫							5		4.	40				
評価	10 3	の授業は学	生の将来に往	设立つと思V			5		4.	70					
1 ½	受業改	(善の工夫													
2 7	アンケ	ート結果に	対する見角	4											
		1回生 2回生 その他 無回答 生活未来科 生活福祉 食物栄養 ビジネス キャリア コース コース													

数[美名	: 森永	夕美				職名	名 : 准	教授	<u>所</u>	属 :	生活	未来和	
<u>科</u>	1名称	: 介護	総合演習 I	<u> </u>			<u>科</u>	∄群 :	生活未知	来科 生剂	舌福祉	ュース]	専門教	育科目
<u>授</u> 爹		: 1450		授業	形態 :	演習	<u>受</u> 請	構者数 :	22	名_	回答	者数	<u>:</u>	20名
			学	年		T			学科•	コース				
	答者 大訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	が未食 キャップ	ジネス トャリア コース	地域こ 学科		その他	無	回答
		20	_	_	_	- 20		-	_		-	•••		-
			評	価項目				教員の 自己評価		生の 西平均			の自己 の評価 3	
	① 勉	か強しやすい?	雰囲気づくり	に配慮しまし	したか。			5		.05				
受講態	② 事	写前学習や課	題を1週当た	_り平均でどえ	れぐらい課し	ましたか。		60分程度	5.0%	90分 程度 5.0%	60分 程度 20.0%	30分 程度 20.0%	ほとんど していない 50.0%	無回答
度	③ 事	耳後学習や課	題を1週当た	_り平均でどれ	れぐらい課し	ましたか。		60分程度	120分 以上 5.0%	90分 程度 5.0%	60分 程度 25.0%	30分 程度 20.0%	ほとんど していない 45.0%	無回答
授業	④ 教	:科書、プリント、	視聴覚教材()	ビデオなど)を、	授業の理解に	こ活用しましたか	,0	5		.50				
来内容	(5) C	の授業のレイ	ベルは、学生 	:にとって適り	刃でしたか。 			適切 であった	非常に 高かった 15.0%	こ高かった		やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 5.0%
授業	⑥ 学	生生に分かりゃ	やすい説明を	と心がけまし	たか。			5	4	.20				
果の進め	⑦ 授	受業の進行を	妨げる行為に	 こ対して注意	 さをしていまし	 ったか。		注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 25.0%	していた	ある程度 注意 していた 10.0%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答
方		生の理解度						4	4	.30				\lambda
総合証		生に新しい知識すか。	畿や技術を与	え、問題意識や	?関心を高める	ることができたと思	思い	4	4	.40				
評価	10 =	の授業は学	生の将来に行	殳立つと思い	ますか。			5	4	.70				
1 ‡	受業改	善の工夫												
2 7	アンケー	ート結果に	対する見角	星										

教員	名	: 武田	_ 千幸				職	名:	講師	<u> </u>	<u>所</u>	属 :	生活	<u>未来和</u>	<u> </u>
<u>科</u> 目	名称	 ホ : 介護総合演習Ⅲ ド : 1461 授業形態 : 演習 学 年 1回生 2回生 その他 無回答 生活福祉 食 						目群 :	: 生	活未来	科 生活	舌福祉:	コース	<u>專門教</u>	育科目
<u>授業</u>	ミコード	: 1461		授業	形態 :	演習	<u>受</u>	講者数	:	9:	<u>名_</u>	回答	者数	:	9名
			学	年		Τ				学科・コ	コース				
	答者	1回件	2回井	この研	無同效			5未来科	ビジ	マフ	地域こ		その他	411	同炊
Þ	勺訳	T凹生	2四生	て VJTEL	無凹台 			物栄養コース	キャ	リア	学和	+ .	てり万世	無	回答
		_	9	_	_	- 9		_		-		-		_	-
							\neg	教員	の	学:	<u></u> 生の	♦		の自己 の評価	
			評 1	価項目 				自己割			平均	1	2	3	4 5
	① 勉	2強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	<i>」たか。</i>		_	4			.11	1)	()		\rightarrow
受講	② 事	「前学習や課	!題を1週当た	<u>-</u> り平均でど:	れぐらい課し	ましたか。		ほとん 課してい		以上	90分 程度	60分程度		ほとんど していない	無回答
態度	<u> </u>						\dashv	ほとん		33.3%	90分	22.2%	33.3%	ほとんど	無回答
	③ 事	後学習や課	↓題を1週当た	<u>-</u> り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		課してい		以上 33.3%	程度 11.1%	程度 22.2%	程度 22.2%	していない 11.1%	-
授業	④ 教	科書、プリント、	、視聴覚教材()	ごデオなど)を	、授業の理解に	こ活用しましたか	٥,	4		4.	.22				\
業内容	⑤ C	 の授業のレ [、]	 ベルは、学生	こにとって適け	 切でしたか。			適切		非常に 高かった	やや 高かった	適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答
容							\dashv	であっ	パこ	33.3%	1	22.2%	-		-
授業	6 学	*生に分かり*	とすい説明を	2心かけまし	たか。		\dashv	4 注意す	上ろ	注意する	.11	ある程度	あまり	全〈	Anne Coll Arthr
の進	⑦ 授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	まをしていまし	したか。		必要になかっ	は	必要は なかった 44.4%	していた	注意 していた 11.1%	注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答
め方	⑧ 学	生の理解度	を配慮しなが	ぶら授業を進			\neg	4	7-		.89				\(\rightarrow\)
総合	9 学	生に新しい知	識や技術を与え	え、問題意識々	や関心を高める	うことができたと原	思い	4		4.	.00				\circ\
評価	10 =	の授業は学	生の将来に行	全立つと思V	いますか。			5		4.	.33				<u></u>
	ᅑᄱᅩᆉ	* ~ T +								<u> </u>					
I T	文美 攻	香の工大					—								
2 7	アンケ・	 ート結果に	 - 対する見角												
		1/10/11	<u>//4 / G/=/-</u>												

<u>教</u> 員	<u> </u>	: 水野	尚美				職:	名 :	講師	fi	<u>所</u> /	属 :	生活	未来和	<u> </u>
<u>科</u> 目	1名称	2 か : 介護総合演習Ⅲ		コース	<u> </u>	<u>育科目</u>									
<u>授業</u>	ドコード	名称 : 介護総合演習Ⅲ			者数	:	9名								
			学	年						学科•:	コース				
	答者	1回生	9同生	その他	無同答					ネス			その他		回答
P	勺訳	1111	4141	CVIE	<i></i>				キャ	リア	学科	+	(V)	200	<u> 1</u>
		-	9	_	_	- 9		_		_		_	±4, ⊟	- H =	_ ==== /===
			評.	価項目										の自己 の評価 3	
	① 勉	位強しやすい?	雰囲気づくり	に配慮しまし	したか。			5		4	.11				
受講態	② 事	手前学習や課	題を1週当た	 <u>-</u> り平均でど;	れぐらい課し	ましたか。		120分具	以上	以上	程度	程度	30分 程度 33.3%	ほとんど していない 11.1%	無回答
度	3 事	手後学習や課	題を1週当た	<u>-</u> り平均でど;	れぐらい課し	ましたか。		120分具	以上	以上	程度	程度	30分 程度 22.2%	ほとんど していない 11.1%	無回答
授業	④ 教	(科書、プリント、	視聴覚教材(1	ごデオなど)を	、授業の理解に	こ活用しましたか	70	4		4	.22				•
業内容	⑤ C	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適け	刃でしたか。					高かった	高かった	であった	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答
授業	⑥ 学	生生に分かり	やすい説明を	こ心がけまし	たか。					4	.11				\rightarrow
果の進め	⑦ 授	美業の進行を	妨げる行為に	 こ対して注意 	 気をしていまし	 ったか。		必要	は	必要は なかった	していた	注意 していた	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった -	無回答
方	_							4		3	.89				\langle
総合語	9 芽	生に新しい知言すか。	識や技術を与え	さ、問題意識や	や関心を高める	うことができたと見	思い	4		4	.00				
評価	10 =	の授業は学	生の将来に往	殳立つと思V	ますか。			5		4	.33				
1 1	受業改	:善の工夫													
2 2	アンケー	一ト結果に	対する見角	<u>军</u>											

教員名 : 中野 正英 _____ 職名 : 非常勤 ____ 所属 : 生活未来科

科目名称 : 介護予防 科目群 : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目

		学	年				学科•	コース		
						生活未来科		1914-4-191		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	-	9	_	ı	9	_	-	_	-	-

				♦	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.22				\
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 90分 以上 程度	60分 程度 -	30分 程度 33.3%	ほとんど していない 66.7%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 90分 以上 程度	60分 程度 -	30分 程度 33.3%	ほとんど していない 66.7%	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.33				\
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に やや 高かった 高かった 11.1% 33.3%		やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.56				—
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 77.8% 11.1%	ある程度 注意 していた	あまり 注意して いなかった 11.1%	全く 注意して いなかった	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.33				\lambda
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.22				
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.67				\

1 授業改善の工夫

講義形式の授業であるが、介護予防現場で求められる運動・体操や体力評価法などの実習も取り入れたことで学生の興味や理解が深まっていたように感じた。今後も介護保険の制度改正に対応して現場の状況や事業展開に対応できるように授業をすすめていく。

2 アンケート結果に対する見解

授業は毎回視聴覚教材を使用して進めたので理解しやすかったと考える。また全員が理解できるように進めたが社会人が半数いたこともあり、授業レベルに差が生じていた。毎回終了時に学習内容を「授業記録カード」に記入提出させて理解度を確認し、次回返却する時に復習や追加説明をしたことが、授業の進め方の評価に現れていたと考える。総合評価、選択設問評価および自由記述からも現場で役に立つ授業を提供できたと考える。

教員名 : 須谷 和子 職名 : 非常勤 所属 : 生活未来科

科目名称 : 家事支援の技法Ⅲ・調理 科目群 : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目

ſ			学	年				学科•	コース		
	回答者	1回生	2回生	その他	無回答		生活未来科		地域こども	その他	無回答
	内訳	1凹生	2四生	ての地	無凹合	生活福祉 コース	食物栄養コース	キャリアコース	学科	ての他	無凹谷
		1	9	_	-	9	-	-	_	-	_

_					◇教	員の自己	.評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平 ^は		学 1 2	生の評価 3	评均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.22				•
受講	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	以上程	分 60g 度 程 - 33.	度 程度	していない	無回答
態度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 90	- 33. 分 60g 度 程	分 30分	う ほとんど	Ame (and /o/e
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	11.1% 4.56	22.	2% 33.3	33.3%	-
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	 適切 であった	高かった高か	や 適けった であっ	った 低かっ		無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	33.3% 44 4.56	.4% 22.	2% -		-
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった		意 ある程 いた 注記 してい	ig あま 注意し たいなか	り 全く て 注意して ったいなかった	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.78				· ·
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.56				
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.78				\

1 授業改善の工夫

介護福祉士として仕事をする際、実際に最初から調理をする場面は数少ないと思う。しかし、ユニット形式の施設ではご飯と汁物は温めてフロアごとの提供であったり、在宅支援では食材の買い物を頼まれたり、調理の手伝いなど求められたりする場合がある。利用者の方と一緒に調理をする場合もあるため基礎的な調理や料理が完成できるように授業内容を組み立てた。和食、洋食、中華とまんべんなく料理構成を考え、軟飯、刻み食、減塩など利用者の方の視点に立った内容も入れながら授業を行った。

2 アンケート結果に対する見解

履修者が9名と少なく、2グループ構成にして授業を行った。そのため実習中も個別に班を回り、アドバイスしながら一緒に実習をすることができた。 普段から料理に興味のある学生とそうでない学生でかなり差があり、どこを基準にして説明をすべきか悩むところであるが、班員同志で教えあうことも大切であると考えている。分配されている食材の確認をしながら、レシピに記入している切り方も班ごとに巡回して確認しながら実習をするように心がけた。

教員名 : 前川 良文 職名 : 非常勤 所属 : 生活未来科

科目名称 : グリーンプランニング I 科目群 : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目

<u>授業コード: 1610 授業形態: 講義 受講者数: 19名 回答者数: 17名</u>

		学	年				学科•	コース		
□						生活未来科		116-64-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	17	-	_	ı	17	-	-	_	-	

				_	教員	の自己	評価	
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	1	■ 学生 2	: の評価 : 3		5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.00				(}
受講	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	60分程度	120分 90分 以上 程度	60分 程度	30分程度	ほとんど していない	無回答]
態度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	60分程度	120分 90分 以上 程度	5.9% 60分 程度	17.6% 30分 程度	70.6% ほとんど していない	無回答	
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	5.9% – 4.00	11.8%	35.3%	47.1%	-	
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に やや 高かった			非常に低かった	無回答	
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	3.71	47.1%	5.9%	_	-] }
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 23.5% 47.19	していた	注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答	
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.06				<	\
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	5	4.00				•	\ \?
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.06					\ \

1 授業改善の工夫

福祉と園芸を学び、人々に対する効果など素晴らしい魅力と草花や野菜など、植物の栽培管理をとおして多くの人々が心の安らぎや健康、生きがいを感じる園芸の特質を人々の生活の質を高める為の実習等を行い、障がい者や高齢者などの介護やリハビリのために積極的に活用する園芸療法や園芸福祉を具体的に学ぶとともに、福祉社会のニーズに応える産業人を育成し、農園芸分野における障がい者就労支援についても知識と理解を得る。

2 アンケート結果に対する見解

受講態度については雰囲気づくりについては良かったが事前、事後のレッスンが出来ていなく課題や研究に取り組む仕組みを取り入れたいと思う。事業内容や進め方については理解度チェックを行って進めたので良かったと思う。総合評価を見ても受講意欲も高く次年度に繋げ高い評価を得る努力を続けて行きたい。 このアンケート結果を踏まえ農園芸と福祉を通じて人間教育や信頼教育を目指し講義や実習・ワークショップを行い、植物を育てるプロセスの中で命を育む難しさ、優しさ、喜びなどを感じる感性豊かな人材、そして相手を尊敬、信頼し社会人としての基本的マナーや身構え、心構えなどを持った人材、又コミュニケーション力を身につけ働くことの「思い」(ベクトルやイメージ、そして意味)を持って社会で貢献できる人材育成を行いたい。

松目の白コ萩畑

教員	名	: 中田	<u> 奈月</u>				職	名 :	教授	<u>}</u>	<u>所</u>	禹 :	生活	未来和	
<u>科目</u>	1名称	:社会	調査法				<u>科</u>	目群 :	: 生	活未来	科 生活	5福祉:	ュース 耳	<u>專門教</u>	育科目
<u>授業</u>	ミコード	: 1700		授業	形態 :	講義	受	講者数	:	6:	<u>名_</u>	<u>回答</u>	者数	:	3名
			学	年						学科•=	ュース				
	答者 勺訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	未来科 物栄養 ロース	ビジキャ	リア	地域こ 学科		その他	無	回答
		_	3	_	-	- 1		_		1		1		_	
				価項目				教員(自己割			生の i平均	1		の自己 の評価 3	
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	したか。			4		3.	00				\langle
受講態	② 事	前学習や課	関を1週当た		れぐらい課し	しましたか。		120分以	以上	120分 以上 33.3%	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 -	ほとんど していない 66.7%	無回答
度	③ 事	- 「後学習や課	関を1週当た	<u>-</u> り平均でど	れぐらい課し	しましたか。		120分以	以上	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 33.3%	30分 程度 33.3%	ほとんど していない 33.3%	無回答
授	④ 教	:科書、プリント、	視聴覚教材(1	ごデオなど)を、	. 授業の理解に	に活用しましたか	, o	4		3.	33				\rightarrow
業内容	⑤ <u></u>	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	刃でしたか。		非常に高かっ		非常に 高かった 33.3%		適切 であった -	やや 低かった -	非常に 低かった 33.3%	無回答	
授業	⑥ 学	生に分かりゃ	やすい説明を	と心がけまし	たか。		4		2.	67				\rightarrow	
業の進め	⑦ 授	業の進行を	妨げる行為に	 こ対して注意 	 (をしていま)		注意して	いた	注意する 必要は なかった	注意 していた 33.3%	ある程度 注意 していた 33.3%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった 33.3%	無回答	
方			を配慮しなか					4		3.	00				\langle
総合証	9 ±	すか。				ることができたと	思い	4		3.	00				\rightarrow
評価	10 =	の授業は学	生の将来に往	殳立つと思い	ますか。			4		3.	00				\rightarrow
1 技	受業改	善の工夫													
2 7	アンケー	ート結果に	対する見解	<u>星</u>											

教員	[名	: 森永	夕美				職	名 :	准教	<u> 授</u>	<u>所</u>	属 :	生活	未来和	<u> </u>
<u>科</u> 目	名称	:社会	<u> </u>				<u>科</u>	目群 :	: 生	活未来	科 生	舌福祉	コース]	専門教	<u> </u>
授業	ミコード	: 1115		授業	形態 :	講義	<u>受</u>	講者数	:	26	<u>名_</u>	回答	者数	:	21名
			学	年		<u> </u>			;	学科•	コース				
口	答者	1 th	0 T #	7 0 114	fmr			未来科		4-7	地域こ	ども	7 0 1/4	fur	
	勺訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース		物栄養	ビジキャコー	リア	学科		その他	無	回答
		21	_	_	_	20		_		1		-		_	-
			評	価項目				教員自己割			生の 生の 近平均	\Q	■ 学生	の自己 の評価	平均
	① 射	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しま]	たか			5	ГІЩ		.95	1	2	3	4 5
受講		前学習や課			-	ましたか。		30分程	2度	120分 以上	90分程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答
態度			,	-, , , , , , ,						120分	4.8%	9.5%	19.0% 30分	66.7% ほとんど	-
及	③ 事	後学習や課	題を1週当た	り平均でどれ	hぐらい課し	ましたか。		30分程	是度	以上 4.8%	程度	程度 14.3%	程度 19.0%	していない 61.9%	無回答
授	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材(1	ごデオなど)を、	授業の理解に	二活用しましたか	,°	5			.48	11.0%	13.0%	01.5%	
業内容	⑤ <u></u>	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	刃でしたか。			適切であっ		非常に 高かった		適切 であった 57.1%	やや 低かった	非常に低かった	無回答
授	⑥ 学	生に分かりゃ	やすい説明を	と心がけまし	たか。			4		14.3% 3	.95	37.170		_	<u> </u>
業の進え	⑦ 授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	きしていまし		注意して	いた	注意する 必要は なかった 19.0%	していた	ある程度 注意 していた 28.6%	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答	
め方	⑧ 学	生の理解度	を配慮しなか	ら授業を進	めましたか。		4		4	.05				\rightarrow	
総合		生に新しい知言 すか。	戦や技術を与 <i>></i>	え、問題意識や	♥関心を高める	ことができたと	思い	4		4	.00				>
評価	10 =	の授業は学	生の将来に往	设立つと思い	ますか。			4		4	.29				•
1 1	受業改	善の工夫													
2 7	アンケー	ート結果に	対する見角	4											

<u>教</u> 員	名	: 梓川	_				職	名 : 准	Ĺ教授	<u></u> <u></u> <u></u> <u></u> <u> </u> <u> </u>	属 :	生活	未来和	<u> </u>
<u>科</u> 目	名称	: 障害の	の理解I				<u>科</u>	目群 :	生活末	来科 生	活福祉	コース	専門教	育科目
<u>授業</u>	ミコード	: 1525		授業刑	形態 :	講義	<u>受</u>	講者数	: :	5名_	<u>回答</u>	者数	:	32名
			学	年		<u> </u>			学科	・・コース				
□	答者	1回生	2回生	その他	無回答			未来科	゛ジネス	地域ご	ども	その他	4HF	回答
ď	引訳	1凹生	2四生	C V/III	無凹谷	生活福祉コース		の不役 ュ	キャリアコース	学和	斗	ての他	***	凹谷
		20	12		_	31		-		_	1			-
			評/					教員の 自己評価		学生の 価平均	\	■ 学生	の自己の評価	平均
	① 	強しやすい	雰囲気づくり	<u></u>	たか			5	u pri	3.90	1	2	3	4 5
受									120 : 以	分 90分	60分程度	30分程度	ほとんど していない	無回答
講態	② 事	前学習や課	題を1週当た	り半均でどれ	れぐらい課し	ましたか。		30分程度	-		15.6%		68.8%	-
度	③ 事	4後学習や課	題を1週当た	り平均でどれ	hぐらい課し	ましたか。		30分程度	120 以.		60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答
授	④ 教	利聿 プルル	担酶骨 粉 材(i	·デオかど)を	授業の理解に	こ活用しましたが	,	5	-	3.91	15.6%	31.3%	53.1%	-
業内						-11/11/03/07/27	0	pp	非常高か	に やや	道切 こ であった	P.P	非常に低かった	無回答
容	5	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	刃でしたか。		高かった					3.1%	-	
授業	⑥ 学	生に分かりゃ	やすい説明を	:心がけまし	たか。		5		3.94					
米の進め	⑦ 授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし		注意してい	注意 必要 なか。 12.	はしていた	L (11/2	注意して いなかった	全く 注意して いなかった -	無回答	
方	_	生の理解度				II.	5		3.75					
総合評	9 ±	すか。				ことができたと見	せい	4		3.91				\Diamond
価	10 =	の授業は学	生の将来に往	 立つと思い	ますか。			5		4.19				
1 ½	受業改	善の工夫												
2 7	アンケ	ート結果に	対する見解	Ž										

教員	名		: 東 考	孝 至				職	名:講館	币	<u>所</u>	属 :	生活	未来科	<u> </u>
科目	名称	<u></u>	:生活	支援技術 I				<u>利</u>	· 目群 : 生	三活未来	科生	舌福祉	ュース I	専門教	育科目
授業	ミコー	ド	: 1305	a	授業	形態 :	演習	<u>受</u>	講者数 :	22	<u>名</u>	<u>回答</u>	<u>者数</u>	:	19名
				学	年					学科•=	コース				
	答者 勺訳		1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食	初末後 キャ	ジネス アリア ース	地域こ 学科		その他	無	回答
		•	19	_	_	_	18	3	-	-		-		_	1
					価項目				教員の 自己評価		生の i平均	♦		の自己 の評価 3	
	1	勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4	3.	95				\rightarrow
受講態	2	事	前学習や課	!題を1週当た	_り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		30分程度	120分 以上 -	90分 程度 5.3%	60分 程度 31.6%	30分 程度 26.3%	ほとんど していない 36.8%	無回答 —
度	3	事	後学習や課	!題を1週当た	上り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		30分程度	120分 以上 -	90分 程度 5.3%	60分 程度 42.1%	30分 程度 36.8%	ほとんど していない 15.8%	無回答
授業	4	教	科書、プリント、	視聴覚教材(1	ごデオなど)を	授業の理解に	g,	5	4.	37					
未内容	⑤	ے(の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	刃でしたか。		適切 であった	非常に 高かった 21.1%	やや 高かった 21.1%	適切 であった 57.9%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答	
授業	6	学	生に分かり	やすい説明を	と心がけまし	たか。		5	4.	42					
への進め	7	授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	ぎをしていまし		注意していた	注意する 必要は なかった 15.8%	注意 していた 68.4%	ある程度 注意 していた 15.8%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答	
方				を配慮しなが識や技術を与れ			田、	4	4.	37				\rightarrow	
総合評	9)	ま	すか。				1 CALCA	心に	4		63				•
価	10	ے(の授業は学	生の将来に行	设立つと思V	ますか。			5	4.	.68				
1 ‡	受業改	<u> </u>	善の工夫												
2 7	アンク	r -	-ト結果に	対する見角	¥										

特別	<u>教</u> 』	名	: 武田	千幸				職名	; 講	新	<u>所</u>	禹 :	生活	未来和	<u> </u>
中央	<u>科</u> 目	名称	:生活	支援技術 I				<u>科</u> 目	群 : 4	生活未来	K科 生活	舌福祉:	ュース	専門教 ⁻	育科目
回答 1回生 2回生 その他 無回答 生活未染料 地域しども その他 無回答 1回生 2回生 その他 無回答 1回生 2回生 その他 無回答 1回生 2回生 その他 無回答 2回大 2回大	<u>授業</u>	ミコード	: 1305	ì	<u>授業</u> 开	<u> </u>	演習	<u>受</u> 請	<u> </u>	22	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数_	<u>:</u>	19名
回答者 和学 1回生 2回生 その他 無回答 生活福祉 食物栄養 ドンネス コース コース				学	年					学科•	コース				
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##			1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉	食物	栄養ギ	ャリア			その他	無	回答
新典の 学生の評価平均 1 2 3 4 5			19	_	_	_	18		_	_		_		_	1
① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。 ② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。 ③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。 ③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。 ③ 教科書、プリント、規範党教材(ビデオなど)を、技業の理解に活用しましたか。 ⑤ この技業のレベルは、学生にとって適切でしたか。 ⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。 ② 学生の対解度を配慮しながら授業を進めましたか。 ③ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。 ③ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。 ③ 学生の対解度を配慮しながら授業を進めましたか。 ③ 学生の対解度を配慮しながら授業を進めましたか。 ③ 学生の対解度を配慮しながら授業を進めましたか。 ⑤ ごの授業は学生の将来に役立つと思いますか。 ⑤ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。 ⑤ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。 ⑤ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。 ⑤ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。 ⑥ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。 ⑤ できないまたが。 ② きない はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はい					 価項目 								■ 学生	の評価	平均
### (2) 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。 30分程度		① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4	3	.95				\Q
度 ③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。 30分程度 120分 程度 程度 工た公本 無同答 程度 工公本 15.8% 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% - 15.8% -	講態	② 事	前学習や課	題を1週当た	 _り平均でどえ	 hぐらい課し	ましたか。		30分程度	以上	程度	程度	程度	していない	
授 ② 教科書、ブリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。		③ 事	後学習や課	題を1週当た		れぐらい課し	ましたか。		30分程度	以上	程度	程度	程度	していない 15.8%	
内容 ⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。 やや 高かった 高かった 21.1% 21.1% 57.9%	授	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材(1	ごデオなど)を、	授業の理解に	こ活用しましたか。	0	4	4	.37				•
業のできます。 注意する を要は とでいた。 注意 を要は とでいた。 注意していた にない。 とでいた。 注意していた にない。 とでいた。 というたしていた。 注意していた にない。 というたしていた。 というたいであった。 15.8% 68.4% 15.8% マート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	内	⑤ C	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	刃でしたか。				高かった	高かった	であった			
の進め方 後業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。 と要はなかった 15.8% にましていましたがにはなった。 15.8% 68.4% 15.8%	授業	⑥ 学	生に分かり	やすい説明を	と心がけまし	たか。			4	.42				•	
方 8 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。 3 4.37 総 9 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思い 4 4.63 評価 ⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。 5 4.68 1 授業改善の工夫	の進	⑦ 授	 業の進行を	妨げる行為に	 こ対して注意	ー <u></u> をしていまし		必要は	必要は なかった	していた	注意 していた	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答	
合評価 1 授業改善の工夫	方							3	4	.37			\		
1 授業改善の工夫	合			畿や技術を与	え、問題意識や	?関心を高める	ことができたと思	思い	4	4	.63				•
		10 =	の授業は学	生の将来に行	殳立つと思い	ますか。			5	4	.68				
2 アンケート結果に対する見解	1 1	受業改	善の工夫												
	2 7	アンケー	ート結果に	対する見角	军										

教員	名		: 茈	田力	千幸						_	職名	ጟ :	講師	j	<u>所</u>	禹 :	生活	未来和	}
<u>科</u> 目	名和	<u> </u>	: 生	と活っ	支援技	術Ⅲ					_	<u>科</u>	群:	生	活未来	科 生	舌福祉	コース	専門教	育科目
<u>授業</u>	ミコー	-ド	: 1	315			授業	形態	: }	演習	_	受詞	構者数	:	9:	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	9名
						学	年							:	学科・コ	コース				
回	答者	. [1回 ²	.	ᅃᄅ	<i>H</i> -	その他	Amr. 1					未来科	ビジ	シっ	地域こ	ども	その他	Átur.	
Þ	引訳		11년12	Ė.	2回:	生.	てり他	 	回答		福祉ース		栄養	キャコー	リア	学科	ł	てり他	***	回答
				-		9	-	_	_		9		-		_		-		-	_
						評価	西項目						教員 自己割			生の 平均	1		の自己 の評価 3	
	1	勉	強しや	すいタ	雰囲気-	づくり	に配慮しま	したか。	0				4		4.	22				\
受講態	2	事	前学習	や課	題を1退	間当た	り平均でど	れぐら	い課し	ました	٥ - رة		30分程	建度	120分 以上 11.1%	90分 程度 -	60分 程度 11.1%	30分 程度 33.3%	ほとんど していない 44.4%	無回答
度	3	事	後学習	や課	題を1返	固当た	り平均でと	れぐら	い課し	ましたが	か 。		30分程	建度	120分 以上 11.1%	90分 程度 -	60分 程度 22.2%	30分 程度 33.3%	ほとんど していない 33.3%	無回答
授	4	教	斗書、プ!	リント、	視聴覚	数材(ヒ	ごデオなど)を	、授業の	>	4		4.	56				\			
業内容	(5)	ے	の授業の	クレ〜	ベルは、	学生	にとって適	切でし		適切であっ		非常に 高かった -	やや 高かった 55.6%	適切 であった 44.4%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答			
授業	6	学	生に分	かりそ	やすい。	说明を	心がけまし	たか。		4		4.	56				•			
果の進め	7	授	業の進	行を妨	妨げる行	行為に	ニ対して注意	意をして		注意す必要になかっ	は	注意する 必要は なかった 66.7%	注意 していた 22.2%	ある程度 注意 していた 11.1%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答			
方)						ら授業を必			4		4.	22				~			
総合語	9		生に新したか。	い知記	畿や技術	を与え	· 、問題意識	や関心を	を高める	ことがて	ぎきたと思	Ĭζ	4		4.	22				•
評価	10	٢.	の授業に	は学生	生の将	来に衫	と立つと思い	ハますが	η,°				5		4.	78				
1 ±	受 <u>業</u>	改:	善 の工																	
2 7	マンク	ケー	-ト結男	長に3	対する	見解	2													1

教員	<u> </u>	:水野					職	名 :	講師	<u>fi</u>	<u>所</u>	<u>属 :</u>	<u>生活</u>	未来科	<u> </u>
<u>科</u>	名称	: 生活	支援技術Ⅲ	1			<u>科</u>	·目群 :	: 生	活未来	<u> </u>	<u> 括福祉</u>	コース	専門教育	<u>育科目</u>
<u>授美</u>	<u> たコート</u>	: 1315		授業	形態 :	演習	<u>受</u>	講者数	:	9	名_	<u>回答</u>	者数	:	9名
			学	年			_		į	学科•	コース				
]答者	1回生	2回生	その他	無回答	" \r += +1	1	5未来科	ビジ	ネス	地域こ		その他	- T	回答
P	为訳			-CV/IE	米四 石	生活福祉コース		物栄養コース	キャ	リア	学科	+		2001	의合
			9	_		- 9		_		_			tot les		
			評.	価項目				教員 自己割			生の 町平均		■ 学生	の自己 の評価 3	
	① 兔	边強しやすい?	雰囲気づくり	に配慮しまり	したか。			4		4	.22			-	\
受講態	② 事	事前学習や課	- !題を1週当た	<u>-</u> り平均でど	れぐらい課し			120分以	以上	120分 以上 11.1%	90分 程度 -	60分 程度 11.1%	30分 程度 33.3%	ほとんど していない 44.4%	無回答
度	③ 事	事後学習や課	!題を1週当た	<u>-</u> り平均でど	れぐらい課し			120分以	以上	120分 以上 11.1%	90分程度	60分 程度 22.2%	30分 程度 33.3%	ほとんど していない 33.3%	無回答
授	④ 教	枚科書、プリント、	視聴覚教材(1	 ごデオなど)を	、授業の理解に	520	5		4	.56					
業内容	5 3	この授業のレイ	ベルは、学生	にとって適	切でしたか。		適切であっ		非常に 高かった -				非常に 低かった -	無回答	
授業	⑥ 学	学生に分かりや	やすい説明を	と心がけまし	たか。		5		4	.56					
果の進め	⑦挖	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	まをしていまし 		注意す 必要に なかっ	は	注意する 必要は なかった 66.7%	していた	していた		全く 注意して といなかった -	無回答	
方	_	学生の理解度						5		4	.22			-	
総合証	9 ±	≥生に新しい知言 ミすか。				っことができたと	思い	4		4	.22			+	
評価	10 =	の授業は学	生の将来に往	殳立つと思v	ますか。			5		4	.78				
1 3	<u>受業改</u>	(善の工夫													
2	アンケ	ート結果に	- 対する見角	军											

教員	名	:	東孝	至				職	名:	講印	<u> </u>	<u>所</u>	禹 :	生活	未来和	
<u>科</u> 目	名利	东 : :	生活と	と未来				<u>科</u>	目群	: 生	活未来	科 生剂	舌福祉	ュース]	専門教	育科目
<u>授業</u>	ミコー	-ド : :	1630		授業	形態 :	演習	<u>受</u>	講者数	:	74:	<u>名_</u>	<u>回答</u>	者数	:	67名
				学	年					:	学科•	コース				
	答者	1回	生	2回生	その他	無回答	生活福祉	1	5未来科 物栄養	ビジ	ネス	地域こ		その他	無	回答
P	习訳					,,,,,	コース	Ξ	カイモ	キャ		学和	r			
			66		1	-	20		41		6		-	数昌	<u>-</u> の自己	
				評	価項目				教員 自己部			生の 近平均	1		の評価 3	
	1	勉強しや	すい	雰囲気づくり	に配慮しまし	したか。			4		3	.96				\Q
受講	2	事前学習	引や課	題を1週当7	こり平均でど	れぐらい課し	ましたか。		ほとん 課してV	どない	120分 以上 -	90分 程度 3.0%	60分 程度 6.0%	30分 程度 1.5%	ほとんど していない 89.6%	無回答
態度	3	事後学習	引や課	題を1週当7	こり平均でど	れぐらい課し	ましたか。		ほとん 課してV		120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答
授	(4)	教科書、フ	プリント、	視聴覚教材(ビデオなど)を	、授業の理解に	7.	5		1.5%	.82	6.0%	1.5%	89.6%	-	
業内容	5	この授業	のレヘ	ベルは、学生	こにとって適せ	刃でしたか。		適りであっ		非常に 高かった 11.9%	やや 高かった	適切 であった 68.7%	やや 低かった 4.5%	非常に 低かった 1.5%	無回答	
授	6	学生に分	うかりゃ	やすい説明	を心がけまし	たか。		5			.72	08.770	4.5/0	1.5%		
業の進え	7	授業の進	生行を	妨げる行為	に対して注意	fをしていまl		あま 注意し いなか	て	注意する 必要は なかった 10.4%	していた	ある程度 注意 していた 31.3%	あまり 注意して いなかった 9.0 %	全く 注意して いなかった 1.5%	無回答	
め方	8	学生の理	里解度	を配慮しなれ	がら授業を進	めましたか。		5		3	.75				Ç	
総合	9	学生に新しますか。	しい知言	識や技術を与	え、問題意識々	や関心を高める	らことができたと.	思い	4		3	.60				\rightarrow
評価	10	この授業	は学生	生の将来に	役立つと思い	ますか。		4		3	.58				\rightarrow	
1 1	受業	<u>牧善の</u>	<u> </u>													
2 7	アング	ケート結	果に	対する見角	译											

<u>教</u>	名		:	池卢	4	ます	み					_	職名	<u> </u>	教授	Ê	<u>所</u>	属 :	生活	未来和	
<u>科</u> 目	名	<u></u>	:	生活	舌と	未 来	Ę					-	<u>科</u> 目	群	: 生	活未来	科 生剂	舌福祉	コース	専門教	育科目
<u>授業</u>	ミコー	ード	· :	163	0			_	授業	<u> </u>	演習	-	<u>受</u> 請	<u> </u>	:	74:	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	<u>:</u>	67名
							学	年							:	学科•3	コース				
旦	答者	ŕ	1.0	크 #-		O.E.	1 H-	9	- 10 lik	4FF (57 /5/2)				未来科	ビジ	シ っ	地域こ	ども	7. 0 lih	ÁTUT.	
	可訳		11	可生		∠ <u> </u> ∟]生	7	一の他	無回答	生活福コー			r栄養 ース	キャ	リア	学和	ł	その他	無	回答
				6	66		-		1	-	-	20		41		6		-		_	-
									•				Ī	教員	<i>ග</i>	学	<u></u> 生の	♦		の自己 の評価	
							評	価項	[目					自己記			平均	1	2	3	4 5
	1	勉	強し	やすい	ハ雰	アファイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス ア	えづくり	に酉	見慮しまし	たか。				4			.96				\rightarrow
受講	2	事	前学	習や	課是	題を1	週当た	こり平	均でどれ	hぐらい課し	ましたか	0		ほとん 課してい		120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答
態度													-	ほとん		120分	90分	6.0%	1.5%	89.6%	無回答
													i	課してい		以上 1.5%	程度 1.5%	程度 6.0%	程度 1.5%	していない 89.6%	_
授業	⑤ この極業のしなりは、学生にして適切でしたが、													4		3.	.82				l
来内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。													適りであっ		非常に 高かった	やや 高かった	適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答
授	① この技業のレベルは、子生にこつ (適切 (したか)													4		11.9%	13.4% . 72	68.7%	4.5%	1.5%	<u>-</u>
業の													-	ある程		注意する	注意	ある程度	あまり	全く注意して	無回答
進め	7	授	業の	進行	を妨	ちげる	行為に	こ対	して注意	をしていまし	<i>ったか</i> 。		1	注意して		必要は なかった 10.4%	していた 47.8%	注意 していた 31.3%	注意して いなかった 9.0%	にはなかった 1.5%	_
方	8									めましたか。				4		3.	.75				\Q
総合語	9		生に親 すか。	新しい名	知識	や技	術を与	え、問	題意識や	関心を高める	らことができ	たと思	ļ, v	4		3.	.60				\Diamond
評価	10	۲	の授	業は学	学生	三の将	来に	役立	つと思い	ますか。				4		3.	.58				\rightarrow
				- 大夫		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	る見角	~													
							-														

教員	名	: 武田	千幸				職/	名 :	講印	<u> </u>	<u>所</u>	禹 :	生活	未来和	<u> </u>
<u>科</u> 目	1名称	: 生活	上未来				<u>科</u>	目群 :	: 生	活未来	科生活	舌福祉	ュース 🏻	専門教	育科目
<u>授業</u>	ミコート	: 1630		授業刑	珍態 :	演習	<u>受</u>	<u>講者数</u>	:	74:	<u>名_</u>	<u>回答</u>	者数	:	67名
			学	年					:	学科・コ	ュース				
	答者 勺訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	未来科を対象を表して	ビジキャ	リア	地域こ。 学科		その他	無	回答
		66	-	1	_	20		41	コー	6		-			
			———— 評·	価項目			Ī	教員 自己評			生の 评均	1		<mark>の自己</mark> の評価 3	
	① 兔	か強しやすい?	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4		3.	96				\Q
受講態	② 事	す前学習や課	題を1週当た	_り平均でどれ	1ぐらい課し	ましたか。		ほとん 課してい		120分 以上 -	90分 程度 3.0%	60分 程度 6.0%	30分 程度 1.5%	ほとんど していない 89.6%	無回答
度	③ 事	び後学習や課	題を1週当た	-り平均でどれ	1ぐらい課し	ましたか。		ほとん 課してい		120分 以上 1.5%	90分 程度 1.5%	60分 程度 6.0%	30分 程度 1.5%	ほとんど していない 89.6%	無回答
授	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材(1	ビデオなど)を、	授業の理解に	こ活用しましたか	, .	3		3.	82			\langle	
業内容	5 3	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適ち	りでしたか。		適りであっ	1	非常に 高かった 11.9%		適切 であった 68.7%	やや 低かった 4.5%	非常に 低かった 1.5%	無回答	
授業	⑥ 学	と生に分かりゃ	やすい説明を	と心がけました	たか。			4		3.	72				\rightarrow
未の進め	⑦ 搒	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	<i>したか</i> 。		ある程 注 <i>意</i> して		注意する 必要は なかった 10.4%	注意 していた 47.8%	ある程度 注意 していた 31.3%	あまり 注意して いなかった 9.0 %	全く 注意して いなかった 1.5%	無回答
方		生の理解度						3		3.	75			\	
総合評	9 1	すか。				らことができたと見	思い	4			60				\rightarrow
価	10 3	の授業は学	生の将来に行	安立つと思い 	ますか。			5		3.	58				
1 1	受業改	善の工夫													
2 7	アンケ	ート結果に	対する見角	星											

特別	教員	名	: 戸田	信聡				職/	名:	講師	<u> </u>	<u>所</u>	禹 :	生活	未来科	
世話	<u>科</u> 目	名称	: 生活	と未来				<u>科</u>	目群 :	: 生	活未来	科 生活	舌福祉さ	ュース]	専門教育	<u>育科目</u>
国名 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	授業	ミコート	: 1630		授業	珍態 :	演習	<u>受</u>	<u>講者数</u>	:	74:	<u>名_</u>	<u>回答</u>	者数	:	<u>67名</u>
回答者				学	年					;	学科•3	コース				
1			1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉	食物	勿栄養	ビジキャ	リア			その他	無[回答
評価項目			66	-	1	_	20		41	<u> </u>			-		_	_
注しんと 129分 90分 124と 129分 82 82 120分 82 82 82 120分 82 82 82 82 82 82 82 8				評	価項目									■学生	の評価	平均
## (2) 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。		① 兔	放強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			5		3.	.96				
度 ③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。 ほとんど 課していない 見し、	講	② 事	写前学習や課	題を1週当た	上り平均でどれ	れぐらい課し	ましたか。				以上	程度	程度	程度	していない	
後	度	③ 事	写後学習や課	題を1週当た	り平均でどれ	れぐらい課し	ましたか。				以上	程度	程度	程度 1.5%	していない 89.6%	
内容 ⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。 適切であった。 高かった。 11.9% 高かった。 13.4% 68.7% 4.5% 1.5% - 授業の ⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。 5 3.72 上記を表していた。 上記を表していた。 2.5% 上でいた。 2.5% 上のとまた。 2.5% 上	授	④ 教	は科書、プリント、	視聴覚教材(1	ごデオなど)を、	授業の理解に	0	5		3.	.82				\	
授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。 注意していた 注意	内	5 -	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	刀でしたか。				高かった	高かった	であった	低かった	低かった 1.5%		
の進め方 (1) 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。 (2) 投業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。 (3) 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。 (5) 3.75 (4) 3.60 (4) 3.60 (5) 3.75 (4) 3.60 (5) 3.58 (6) 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。 (5) 3.58 (6) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 (7) 2.50 <td< td=""><td>授業</td><td>⑥ 芎</td><td>生生に分かりゃ</td><td>やすい説明を</td><td>と心がけました</td><td>たか。</td><td></td><td>5</td><td></td><td>3.</td><td>.72</td><td></td><td></td><td></td><td>\Diamond</td></td<>	授業	⑥ 芎	生生に分かりゃ	やすい説明を	と心がけました	たか。		5		3.	.72				\Diamond	
方 ⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。 5 3.75 総 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。 4 3.60 評 価 ⑪ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。 5 3.58 1 授業改善の工夫	の進	⑦ 授	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし		注意して	こいた	必要は なかった	していた	注意 していた	注意して いなかった	いなかった		
合評価 3.60 ① この授業は学生の将来に役立つと思いますか。 5 1 授業改善の工夫	方	_						5		3.	.75				\	
1 授業改善の工夫	合			識や技術を与れ	え、問題意識や	·関心を高める	思い	4		3.	.60				\rightarrow	
	評価	10 3	の授業は学	生の将来に往	设立つと思い	ますか。		5		3.	.58				\rightarrow	
2 アンケート結果に対する見解	1 1	受業改	善の工夫													
	2 7	アンケ	ート結果に	対する見角	4											

教員	名	: 野間	_ 智子				職:	名 :	准教	<u> </u>	<u>所</u>	属 :	生活	未来和	<u> </u>
<u>科</u> 目	名称	: 生活と	と未来				<u>科</u>	目群 :	: 生	活未来	科 生活	舌福祉=	ュース	専門教	育科目
授業	ミコード	: 1630		授業刑	形態 :	演習	<u>受</u>	講者数	:	74:	<u>名_</u>	<u>回答</u>	者数	:	67名
			学	年			_			学科•=	コース				
	答者 勺訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	未来科物栄養	ビジキャコー	・リア	地域こ 学科		その他	無	回答
		66	_	1	-	- 20		41		6		-		_	_
				価項目				教員 自己割			生の i平均	1		<mark>の自己</mark> の評価 3	
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	したか。			5		3.	.96				
受講態	② 事	耳前学習や課	題を1週当た		ー れぐらい課し	ましたか。		ほとん 課してい		120分 以上 -	90分 程度 3.0%	60分 程度 6.0%	30分 程度 1.5%	ほとんど していない 89.6%	<u>無回答</u> —
度	③ 事	4後学習や課	題を1週当た		ー れぐらい課し	ょしたか。		ほとん 課してい		120分 以上 1.5%	90分 程度 1.5%	60分 程度 6.0%	30分 程度 1.5%	ほとんど していない 89.6%	無回答
授業	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材(1	ビデオなど)を、	授業の理解に	,0	5		3.	.82					
業内容	\$ 5	の授業のレイ	<u></u> ベルは、学生	こにとって適り	刃でしたか。		適切 であっ		非常に 高かった 11.9%		適切 であった 68.7%	やや 低かった 4.5%	非常に 低かった 1.5%	無回答	
授業	⑥ 学	生に分かりゃ	やすい説明を	と心がけました	たか。		5		3.	.72					
未の進め	⑦ 授	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意		注意す必要になかっ	は	注意する 必要は なかった 10.4%	注意 していた 47.8%		あまり 注意して いなかった 9.0%	全く 注意して いなかった 1.5%	無回答		
方		生の理解度						5		3.	.75				
総合証	9 _±	すか。				ることができたと	思い	4		3.	.60				\rightarrow
評価	10 =	の授業は学生	生の将来に往	殳立つと思い	ますか。			5		3.	.58				
1 1	受業改	善の工夫													
2 7	アンケ	ート結果に	対する見角	星											

教員	名	: 坊 岁	き恵				職	名 :	講師	fi	<u>所</u>	禹 :	<u>生活</u>	未来科	<u> </u>
科目	名称	: 生活	と未来				<u>科</u>	目群 :	生	活未来	科生活	舌福祉コ	ュース	専門教育	<u> </u>
授業	<u>{</u>	: 1630		授業刑	ド態 :	演習	受	<u>講者数</u>	:	74	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	67名
			学	年					:	学科・コ	コース				
	答者 引訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	未来科物栄養ース	ビジキャ	小 へ	地域こ。 学科		その他	無	回答
		66	_	1	-	- 20		41	コー	-ス 6		_		_	_
			評	価項目				教員(自己割			生の 平均	1		の自己 の評価 3	
	① 免	 	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4		3.	96				\Diamond
受講態	2 4	事前学習や課	題を1週当た	_り平均でどえ	てぐらい課し	ましたか。		ほとん 課してい		120分 以上 -	90分 程度 3.0%	60分 程度 6.0%	30分 程度 1.5%	ほとんど していない 89.6%	無回答 —
度	3 4	事後学習や課	題を1週当た	上り平均でどれ	れぐらい課し	ましたか。		ほとん 課してい		120分 以上 1.5%	90分 程度 1.5%	60分 程度 6.0%	30分 程度 1.5%	ほとんど していない 89.6%	無回答
授	④ 耄	女科書、プリント、	視聴覚教材()	ごデオなど)を、	授業の理解に	,0	5		3.	82					
業内容	⑤ 3	この授業のレイ	ベルは、学生		適切 であっ		非常に 高かった 11.9%	やや 高かった 13.4%	適切 であった 68.7%	やや 低かった 4.5%	非常に 低かった 1.5%	無回答			
授業	6	学生に分かりゃ	やすい説明を	と心がけました		5		3.	72						
未の進め	⑦ ±	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意		ある程 注 <i>意</i> して		注意する 必要は なかった 10.4%	注意 していた 47.8%	ある程度 注意 していた 31.3%	あまり 注意して いなかった 9.0 %	全く 注意して いなかった 1.5%	無回答		
方	_	学生の理解度						4		3.	75				
総合	9 享	生に新しい知言 さすか。	識や技術を与れ	え、問題意識や	·関心を高める	ることができたとん	思い	4		3.	60				\rightarrow
評価	10 3	の授業は学	生の将来に行	设立つと思い	ますか。			2		3.	58		•		
1 #	受業改	₹善の工夫													
2 7	ンケ	ート結果に	対する見角	4											

教員	名	: 森永					職:	名 :	准参	<u>授</u>	<u>所</u>	禹 :	生活	未来和	r
<u>科</u> 目	名称	:生活	と未来				<u>科</u>	目群	: 生	活未来	科生	舌福祉	コース]	<u> </u>	育科目
<u>授業</u>	ミコード	: 1630		授業	珍態 :	演習	受	講者数	:	74:	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	67名
			学	年		Γ				学科•	コース				
	答者 P訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	未来科物栄養	ビジキャ	ネスリア	地域この学科		その他	無	回答
		66		1	_	20		41	コー	6		_		_	
			評	価項目				教員 自己記			生の i平均	1		の自己 の評価 3	
	① 勉	2強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4		3.	.96				\Diamond
受講態	② 事	前学習や課	題を1週当た	り平均でどれ	いぐらい課し	ましたか。		ほとん 課してV		120分 以上 -	90分 程度 3.0%	60分 程度 6.0%	30分 程度 1.5%	ほとんど していない 89.6%	無回答
度	3 事	後学習や課	題を1週当た	:り平均でどね	いぐらい課し	ましたか。		ほとん 課してV		120分 以上 1.5%	90分 程度 1.5%	60分 程度 6.0%	30分 程度 1.5%	ほとんど していない 89.6%	無回答
授	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材(1	ごデオなど)を、	授業の理解に	に活用しましたか	,°	5		3.	.82				
業内容	\$ 5	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	切でしたか。			適りであっ		非常に 高かった 11.9%		適切 であった 68.7%	やや 低かった 4.5%	非常に 低かった 1.5%	無回答
授	⑥ 学	生に分かりゃ	やすい説明を	心がけました	たか。			4		3.	.72				\rightarrow
業の進め	⑦ 授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	たか。		ある程注意して		注意する 必要は なかった 10.4%	注意 していた 47.8%	ある程度 注意 していた 31.3%	あまり 注意して いなかった 9.0 %	全く 注意して いなかった 1.5%	無回答
方	⑧ 学	生の理解度	を配慮しなか	ら授業を進	めましたか。			4		3.	.75				\rightarrow
総合		生に新しい知言 すか。	識や技術を与え	と、問題意識や	*関心を高める	ことができたと	思い	4		3.	.60				\rightarrow
評価	10 -	の授業は学	生の将来に往	设立つと思い	ますか。			4		3.	.58				\rightarrow
1 技	受業改	善の工夫													
2 7	アンケー	ート結果に	<u></u> 対する見角	<u> </u>											
	• /	· 24/212	··· / • / • / • / • / • / • / • / • / •	•											

教]	名	:水野	尚美				職4	ጟ :	講師	<u>fi</u>	<u>所</u>	禹 :	生活	未来和	<u> </u>
<u>科</u> 目	名称	: 生活	上未来				<u>科</u>	群:	: 生	活未来	科 生活	舌福祉	コースI	<u>專門教</u>	<u>育科目</u>
<u>授業</u>	ミコート	: 1630		<u>授業</u>	形態 :	演習	<u>受</u> 請	<u> </u>	:	74:	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	67名
			学	年					:	学科・	コース				
	答者	1回生	2回生	その他	無回答			未来科	ビジ	ネス	地域こ		その他	4111	回答
P	勺訳	TEIT.	2四王	- C V / IE	無固合	生活福祉コース		が栄養 ース	キャコー	リア	学科	ŀ '	CVJE	***	
		66	-	1	_	20		41		6		_	tot to	<u>-</u>	
			———— 評	価項目				教員 自己部			生の i平均	1		の自己 の評価 3	
	① 兔	放強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4		3.	.96				\langle
受講態	② 事	耳前学習や課	題を1週当た	-り平均でどえ	れぐらい課し	ましたか。		ほとん 課してい		120分 以上 -	90分 程度 3.0%	60分 程度 6.0%	30分 程度 1.5%	ほとんど していない 89.6%	無回答
度	③ 事	耳後学習や課	- 題を1週当た	り平均でどれ	ー れぐらい課し	ましたか。		ほとん 課してい		120分 以上 1.5%	90分 程度 1.5%	60分 程度 6.0%	30分 程度 1.5%	ほとんど していない 89.6%	無回答
授	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材()	 ごデオなど)を、	授業の理解に	٥,	4			.82	0.070	1.5%	09.0%	\	
業内容	5 3	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り			適りであっ	-	非常に 高かった 11.9%		適切 であった 68.7%	やや 低かった 4.5%	非常に 低かった 1.5%	無回答	
授	⑥ 労	生生に分かりゃ	 やすい説明を	と心がけまし	 たか。	-	4			.72	00.170	4.5%	1.5%	<u></u>	
業の進	⑦ 搒	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし		ある程 注 <i>意</i> して		注意する 必要は なかった 10.4%	注意 していた 47.8%	ある程度 注意 していた 31.3%	あまり 注意して いなかった 9.0%	全く 注意して いなかった 1.5%	無回答	
め方	8 第	生生の理解度	を配慮しなが	- ら授業を進	めましたか。		1	4		3.	.75				\rightarrow
総合		生に新しい知言すか。	戦や技術を与 <i>え</i>	と、問題意識や	・関心を高める	ことができたと	型い	4		3.	.60				\rightarrow
評価	10 3	の授業は学	生の将来に往	殳立つと思い	ますか。			4		3.	.58				\rightarrow
1 1	受業改	善の工夫													
2 7	アンケ	ート結果に	対する見角	<u>¥</u>											

教員名 : 森永 夕美 職名 : 准教授 所属 : 生活未来科

科目名称 : 生活レクリエーション 科目群 : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目

		学	年				学科•	コース		
<u> </u>						生活未来科	•	116-64-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	19	8	-		27	_	-	_	_	_

				,	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.04				\
受講	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 90分 程度	60分 程度	30分程度	ほとんど していない	無回答
態			7.4% –	18.5%	25.9%	48.1%	-
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	60分程度	120分 90分 以上 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答
			3.7% -	25.9%	29.6%	40.7%	-
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.41				\
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に やや 高かった 高かった	適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答
容		じめつに	11.1% 18.5%	70.4%	-	-	_
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.33				•
業の進	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 11.1% 77.8%	していた	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答
め方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.37				\lambda
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.22				
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.59				\

1 授業改善の工夫

今年度は1回生と2回生とが合同で授業を行ったので、履修者が27名と多く、そのため互いにレクリエーションを企画し、模擬体験をするなどの機会を4回実施することができた。また、自分たちが実践しているところを録画し、自分の癖や態度を客観的に見て修正点を理解できるようにした。

2 アンケート結果に対する見解

15回の授業回数の中でレクリエーションを実施・体験するのには限界がある。また、講義科目でもあり、レクリエーションの理論的部分も学んで欲しい。 例年感想が出るが、学内での模擬体験と実際の現場の利用者では当然動きも違うのは当然である。同じレクリエーション内容でも相手の能力に合わせた工夫や応用をするように伝えている。それができるようになるためには介護実習だけでなくボランティアなどで現場を数多く体験して欲しい。

教員名 : 武田 卓也 職名 : 非常勤 所属 : 生活未来科

科目名称 : 相談援助の基盤と専門職 科目群 : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目

		学	年				学科•	コース		
						生活未来科	•	116-14-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	16	_	-	_	10	_	-	5	_	1

					\diamond	教員	の自己	評価	
	評価項目	教員の 自己評価	学生 評価 3		1	■ 学生 2	: の評価 3	-	5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.1	.3				\rightarrow	
受講:	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分以上	90分程度	60分程度	30分程度	ほとんど していない	無回答	
態度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	60分程度	6.3% 120分 以上	6.3% 90分 程度	12.5% 60分 程度	43.8% 30分 程度	31.3% ほとんど していない	無回答	
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.5	- i6	18.8%	43.8%	37.5%	-] }
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった		やや 高かった 37.5%	適切 であった 56.3%	やや 低かった	非常に 低かった	無回答	
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.5		30.3%			<] }
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	パかった	注意 していた 25.0 %	ある程度 注意 していた 37.5%	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答	
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.4	4				<	ļ
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	3	4.1	.3			\Q	#	
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.1	.3				<u> </u>	\ \

1 授業改善の工夫

福祉現場の実際を伝えるために、経験してきた話を盛り込むこと、グループワークを活用した学びの提供等を実施したが、今回は視覚的な教材であるDVD等を十分活用できなかった。今後は口頭だけでなく、視覚的に伝え、理解できるように授業を工夫していきたい。また、学生とのデイスカッションの時間を増やし、学生と一緒に考え、福祉の視点を拡げる授業展開をしていきたい。

2 アンケート結果に対する見解

授業を理解する上で困ったことに「ある」「ある程度思う」という選択肢に回答をしている学生がいる点について、さらにオフィスアワー等を活用し、学生が意見を伝えられる環境と授業に対する困りごとを抽出していきたい。 また、授業前後の自宅学習等について、意識しながら課題等、学ぶ環境を整えたつもりであったが、十分に学生が自宅学習できる機会になっていなかった。今後は学生の自主的な学びができるように努めていきたい。

教員名 : 尾﨑 剛志 職名 : 非常勤_ 所属 : 生活未来科

科目名称 : 低所得者に対する支援と生活保護制度 科目群 : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目

授業コード : 1730 授業形態 : 講義 <u> 受講者数 :</u> 7名 回答者数 : 5名

	学 年					学科・コース							
□ <i>k/</i> → .						生活未来科	•	116-14-187					
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答			
	5	-	-	-	_	_	-	5	-	_			

					♦	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平		1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.20)				•
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	以上	90分 程度 20.0%	60分 程度 -	30分 程度 40.0%	ほとんど していない 40.0%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	60分程度	以上	90分 程度 20.0%	60分 程度 20.0%	30分 程度 20.0%	ほとんど していない 40.0%	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.20)				•
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	高かった高	やや 5かった 60.0%	適切 であった 40.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.40)				
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	必要は しなかった	注意 ていた 80.0%	ある程度 注意 していた	あまり 注意して いなかった 20.0%	全く 注意して いなかった	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	3	4.20)			\(\)	
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	3	4.20)			\langle	
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.80)				•

1 授業改善の工夫

授業改善としては、あまり内容を詰め込まないようにすることと、授業の冒頭に学生が社会福祉全体に興味を持つことができるよう、福祉新聞の記事についていくつか取り上げて説明をしました。 その結果として、授業で網羅すべき内容をかなり減らして その結果として、授業で網羅すべき内容をかなり減らして 授業を進めることとなり、国家試験を受験するにはかなり各自での勉強をしなければならない状況にあると考えます。

2 アンケート結果に対する見解 どの項目についてもこれまでの結果よりも高い評価をいただきました。ただ授業内容が良かったというよりは、興味関心を引く ために横道にそれながら進めたので、内容をあまり深く突っ込むのではなく、簡単な内容についての講義内容になったことが要因 で無いかと考えます。理解度の確認が不十分と言う数値になっているので、理解度を確認しながら進めるようにしたいと考えま

教員名 : 東 孝至 職名 : 講師 所属 : 生活未来科

科目名称 : 認知症の理解Ⅱ 科目群 : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目

		学	年		学科・コース							
□ <i>k</i> ⁄ →						生活未来科	•	116-14-187				
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答		
	_	9	_	_	9	_	-		_	_		

			-	¬ ◊	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.22				\rightarrow
受講	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	60分程度	120分 90分 以上 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答
態				33.3%	33.3%	33.3%	_
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 90分 以上 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答
		,		22.2%	44.4%	33.3%	-
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.33				\
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	非常に 高かった	非常に やや 高かった 高かった	適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答
容		向かつだ	- 66.7%	33.3%	-	-	-
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.33				\
業の進	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 注意 必要は していた なかった	ある程度 注意 していた	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答
進め			66.7% 33.3%	-	_	-	-
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.56				\
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.33				•
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.56				+

1 授業改善の工夫

生活福祉コースの2回生の授業であり、1回生の「認知症の理解I」に続くものであるため、始めは復習を行った。前授業との差別化を図るために教科書での知識を詰め込むようなスタイルをやめて出来るだけ体現的に、感覚器から学習できることを想定した。そのため、DVDやYOUTUBEも含めた映像での学習、認知症のケアとして実際にシュミュレーションを行う、最期の授業ではロールプレイング法を用いてグループによる学習効果を図った。

2 アンケート結果に対する見解

授業を行っていても感じた点だが、体現性やグルーピングなどによって「眠れない授業」だったためか、比較的良い結果であったと感じる。また、2回生のⅢ実習の前後でもあり、実習のフィードバックにも利用できたことは学生にとっても良い反応であったと感じる。次年度は、更に認知症者とのかかわり、無理であれば認知症の方と家族の会といったSHGとの交流ももてれば更なる学習効果が期待できる。

<u>教</u> 員	数員名 : 野間 智子								名 : 消	<u></u> 	授_	<u>所</u>	禹 :	生活	未来和	ŀ
<u>科</u> 目	名和	<u> </u>	栄養	指導論 I				<u>科</u>	目群 :	生	舌未来	科食物	勿栄養	コース	専門教	育科目
<u>授業</u>	ミコー	-ド :	2200		授業刑	形態 :	講義	受	講者数	:	46	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	<u>:</u>	43名
				学	年		Π			<u> </u>	学科•□	ュース				
口	答者	1回	1 <i>1</i>	2回生	その他	無回答			未来科	ごジネ	27	地域こと	ども	その他	4111	回答
P	勺訳	115	1生	2四生	て () 7世	無凹谷	生活福祉コース		ツ不食しょ	キャリコー	ア	学科	• '	てり他	***	凹合
			43	_	_	_	_		43		_		-			_
					価項目				教員の 自己評価		学 学 評価		1		の自己 の評価 3	平均
	(1)	勉強しく	っすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4		-	16	1		3	4
受講						30分程度	Ŧ	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分程度	ほとんど していない	無回答			
態度	態										- 120分 以上	2.3% 90分 程度	9.3% 60分 程度	25.6% 30分 程度	62.8% ほとんど していない	無回答
											-	2.3%	11.6%	25.6%	60.5%	_
授業	4	教科書、	プリント、	視聴覚教材()	ごデオなど)を、 	授業の理解に	ご活用しましたか	•	5		4. 非常に	26 **	適切	جج	非常に	bu C bb
内容	(5)	この授業	色のレイ	ベルは、学生	にとって適り	刃でしたか。			やや 高かった		高かった 4.7%		であった 62.8%	低かった	低かった	無回答
授	6	学生に会	うかりゃ	やすい説明を	と心がけまし	たか。			4		3.	93				\(\)
業の進め	7	授業の達	進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	たか。		注意してい	た	注意する 必要は なかった 14.0%	注意 していた 46.5%	ある程度 注意 していた 37.2%	あまり 注意して いなかった 2.3%	全く 注意して いなかった	無回答
方	8				ら授業を進				4		3.	91				\(\)
総合	9	学生に新 ますか。	しい知言	哉や技術を与;	え、問題意識や	♥関心を高める	ことができたと凡	思い	4		4.	02				\Q
評価	10	この授業	は学生	生の将来に行	设立つと思い と	ますか。			5		4.	23				
1 1	<u>受</u> 未	改善の	<u> </u>													
2 7	アンク	ケート結	果に	対する見角	4											

教員名 : 野間 智子								名 :	准教	<u>授</u>	<u>所</u>	属 :	生活	未来和	<u> </u>
<u>科</u> 目	名称	:栄養	指導論実 習	IП			<u>科</u>	目群 :	: 生	活未多	k科 食	物栄養	コース]	<u>専門教</u>	育科目
<u>授業</u>	ミコード	: 2215		授業	形態 :	実習	<u>受</u>	講者数	:	32	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	32名
			学	年		<u> </u>			:	学科•	コース				
口	答者	1 //-	0 T #	7 0 114	fmr		l	未来科		4 - 7	地域こ	ども	7 0 114	fur	
	讨訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース		物栄養	ビジキャコー	リア	学和		その他	無	回答
		-	32	_	_			32		-		_		_	_
			評.	価項目				教員 自己郭			生の 哲平均			の自己 の評価 3	
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4			.19				
受講	② 事	前学習や課	題を1週当た		30分程	建度	120分 以上	90分程度	60分程度	30分程度	ほとんど していない	無回答			
態度							6.3%	9.4%	12.5%	18.8%	53.1% ほとんど していない	無回答			
	③ 事	後学習や課	題を1週当た		60分程	是度	以上 12.5%	程度 15.6%	程度 6.3%	程度 18.8%	46.9%	_			
授業	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材(1	ごデオなど)を、	授業の理解に	こ活用しましたか	,°	5			.41				
未内容	⑤ <u></u>	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	刃でしたか。			やや 高かっ	•	非常に 高かった 15.6%	高かった		やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答
授	⑥ 学	生に分かり	やすい説明を	と心がけまし	たか。			4 4.19						•	
業の進め	⑦ 授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	きしていまし	<i>、たか</i> 。		任息していた。なかった			していた	ある程度 注意 していた 28.1%	あまり 注意して いなかった 3.1%	全く 注意して いなかった -	無回答
方	•	生の理解度						4		4	.09				\Diamond
総合		生に新しい知言 すか。	識や技術を与え	さ、問題意識や	♥関心を高める	ことができたと	思い	4		4	.16				
評価	10 =	の授業は学	生の将来に往	设立つと思V	ますか。			4		4	.34				\rightarrow
1 1	受業改	善の工夫													
2 7	アンケー	ート結果に	対する見角	军											

数[名	: 中村					職	名 : 氡	<u>教授</u>		<u>所</u>	禹 :	生活	未来和	
<u>科</u> 目	名称	: カラー	<u>-コーディネ</u>	<u>ょート論</u>			<u>科</u>	目群 :	生活	<u>未来</u>	科 食物	勿栄養	コース	<u>専門教</u>	育科目_
授業	ドコード	: 2430		授業	形態 :	講義	<u>受</u>	講者数	:	43/	<u>名</u>	回答	者数	:	41名
			学	年		T			学	科•=	コース				
	答者 大訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物		ビジネフ キャリア コース	?	地域こる 学科		その他	無	回答
		38	1	1	1	_		33	J: //	5		1		_	2
				価項目			教員の 自己評(生の i平均	1	■ 学生	の自己 の評価 3		
	1 %	か強しやすい?	雰囲気づくり	に配慮しまし	したか。			4		3.	3.78				
受講態	② 事	耳前学習や課	題を1週当た	_り平均でどえ	れぐらい課し	ましたか。		ほとんと 課していた	<u></u>	120分 以上 -	90分 程度 2.4%	60分 程度 9.8%	30分 程度 2.4%	ほとんど していない 85.4%	無回答
度	③ 事	耳後学習や課	題を1週当た		れぐらい課し	ましたか。		30分程度		120分 以上 -	90分 程度 4.9%	60分 程度 14.6%		ほとんど していない 63.4%	無回答
授業	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材(1	_ ビデオなど)を、 	、授業の理解に	こ活用しましたか	٠.	4			83				i
内容	5 3	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	刃でしたか。			適切であった	高	非常に かった 7.1%			やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答
授業	⑥ 学	生生に分かりゃ	やすい説明を	と心がけまし	たか。			4	\perp		71				\rightarrow
米の進め	⑦ 授	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	たしていまし	<i>」たか</i> 。		ある程度 注意してい	さた なかなか	意する 公要は かった 4.9%	注意 していた 63.4%	ある程度 注意 していた 31.7%	注意して いなかった	全く 注意して いなかった -	無回答
方	_	生の理解度					71, <u>,</u>	4	\perp	3.	.93				
総合評	9 1	すか。				ることができたと思	ひい	4	\bot		88				
価	10 =	の授業は学	生の将来に往	殳立つと思い	きすか。			4		3.	95				\(\)
1 ‡	受業改	善の工夫													
2 7	アンケ	ート結果に	対する見角	军				_							

教員名 : 三浦 さつき 職名 : 非常勤 所属 : 生活未来科

科目名称 : 基礎栄養学 科目群 : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目

	学 年				学科・コース							
□ <i>k/c</i> ± <i>c</i> .						生活未来科	•	116-64-187				
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答		
	41	-	-	1	_	41	-	_	-	1		

					, 教員	【の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		■ 学生 l 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	3.98				\Diamond
受講	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 90分 以上 程度	程度	30分程度	ほとんど していない	無回答
態度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	- 4.8 120分 90分 以上 程序	分 60分	28.6% 30分 程度	64.3% ほとんど していない	無回答
			4.8% 14.3	3% 11.99	6 23.8%	45.2%	-
授業	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.26				· C
未内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に やら 高かった 高かった		やや た 低かった	非常に 低かった	無回答
谷		回ルギンル	11.9% 52.4	35.79	6 -		-
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.00				\Diamond
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 4.8% 59.8	た していた	注意して いなかった	全く 注意して といなかった -	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.95				\(\)
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.02				\langle
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.37				

1 授業改善の工夫

栄養士を目指して入学した食物栄養コースの1回生が入学してすぐの前期に学ぶ専門科目であり、穴埋め式のプリントを配布してスライドを活用しながら、授業を進めている。 説明をよく聞いて穴埋め以外のところもメモを取りながら聞いてほしいことを授業の冒頭で伝えているが、穴埋めのところを書くだけにとどまる学生が多い。説明を聞きながら必要な部分を選別してメモやノートをとれるような習慣が身につけられるよう、常に働きかける必要があると思った。

2 アンケート結果に対する見解

自由記述において、「プリントの穴埋め部分が小さい」「書く所が難しい」「早口で聞きにくい」などの意見が出ていたので、 プリントのサイズや説明の話し方などについて、改善できるようにしたい。この科目の授業アンケートで初めて、「グループディ スカッションの時間を加えてほしい」という意見がみられ、日頃の自分自身の食事についてなど意見のやり取りをする時間を今後 設けていきたいと思った。

教員名 : 岩橋 明子 職名 : 非常勤 所属 : 生活未来科

科目名称 : 公衆栄養学 科目群 : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目

<u>授業コード: 2220 授業形態: 講義 受講者数: 34名 回答者数: 30名</u>

		学	年		学科・コース							
□						生活未来科		116-14-187				
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答		
	1	29	-	_	-	30	-	_	_			

					\Diamond	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生 <i>0</i> 評価平		1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	3.90)				\Diamond
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	60分程度	以上	90分 程度 3.3%	60分 程度 16.7%	30分 程度 40.0%	ほとんど していない 40.0%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	60分程度		90分 程度 -	60分 程度 26.7%	30分 程度 43.3%	ほとんど していない 30.0%	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.43	}				—
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	高かった高	やや かった 6.7%	適切 であった 46.7%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.23	3				
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	必要は なかった	注意 ていた 16.7%	ある程度 注意 していた 40.0%	あまり 注意して いなかった 10.0%	全く 注意して いなかった -	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.93	3				\(\)
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.03	}				\langle
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.24	ŀ				

1 授業改善の工夫

座席指定制としたことで、私語はほぼなく注意が必要なことはなかった。前方の席に座らせることでスライドも見やすく、声も届きやすくなったと考えられる。 しかし、1限ということもあり遅刻者や欠席者が見られ、対象者に対する指導が十分でなくなかなか改善が見られなかった。 授業の進度が少し早いとのことだが、栄養士資格を取得するために必要な知識を学んでもらうためには、あまりゆっくり進めるわけにもいかず、時間が不足する分については、予習・復習の課題で確保を図りたい。

2 アンケート結果に対する見解

栄養士に必要な知識として栄養士実力認定試験の問題が解けるレベルを目指してシラバスを作成している。授業の進度が少し早いとのことであったが、必要な内容を省略することもできず悩ましい。学生の理解度に配慮してやや難易度を落としゆっくりすすめるようにする。 予習・復習の課題は1時間程度を目途に設定しているが、30分程度と回答した学生が多く、課題の提出内容に個人差が大きくまじめに取り組めていない者がいることから、厳しく評価する旨を伝え、時間をかけて取り組んでもらえるようにしたい。

教員	名	: 池内	ますみ			職	名 :	教授		<u>所</u>	禹 :	<u>生活</u>	未来科	<u> </u>	
<u>科</u> 目	1名称	:食品	衛生学				<u>科</u>	·目群 :	: 生	活未来	科 食物	勿栄養ニ	ュース]	<u> </u>	育科目
<u>授業</u>	ミコード	: 2160		授業	形態 :	講義	<u>受</u>	:講者数	:	332	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	<u>:</u>	30名
			学	年						学科•	ュース				
	答者 勺訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	ち未来科 物栄養 コース	ビジキャ	リア	地域こ。 学科		その他	無	回答
			30					28	コー	-ス 1		\pm		<u></u>	1
			評/	価項目			-	教員(自己評			生の i平均	1		の自己 の評価 3	
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	したか。			4		3.	.83				
受講態	② 事	が学習や課	関を1週当た	<u>-</u> り平均でど;	れぐらい課し		ほとん 課してい		120分 以上 -	90分 程度 3.3%	60分 程度 3.3%	30分 程度 13.3%	ほとんど していない 80.0%	無回答	
度	③ 事	「後学習や課	関を1週当た	<u>-</u> り平均でど;	れぐらい課し		ほとん 課してい		120分 以上 -	90分 程度 3.3%	60分 程度 6.7%	30分 程度 23.3%	ほとんど していない 66.7%	無回答	
授	④ 教	<u>-</u> :科書、プリント、	、視聴覚教材(と	 ごデオなど)を	、授業の理解に) ₂ °	5		4.	.60			7		
業内容	⑤ <u> </u>	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適け	刃でしたか。		やや 高かっ	•	非常に 高かった 3.3%	やや 高かった 30.0%	適切 であった 66.7%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答	
授業	⑥ 学	生生に分かり	やすい説明を	心がけまし	たか。			4		4.	.50				•
果の進め	⑦ 授	業の進行を	妨げる行為に	 こ対して注意 	 ぎをしていま! 		注意す 必要/ なかっ	は	注意する 必要は なかった 26.7%	注意 していた 40.0%	ある程度 注意 していた 30.0%	あまり 注意して いなかった 3.3%	全く 注意して いなかった -	無回答	
方			を配慮しなか				 	4		4.	.27				\rightarrow
総合証	9 z	すか。				ることができたと	思い	4		4.	.13			-	
評価	10 =	の授業は学	生の将来に役	と立つと思V	ますか。			5		4.	.47				
1 1	受業改	善の工夫													
2 7	アンケー	ート結果に	対する見解	星											

教員名 : 池内 ますみ 職名 : 教授 所属 : 生活未来科

科目名称 : 食品衛生学実習 科目群 : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目

		学	年				学科•	コース		
□ <i>k</i> + + v.						生活未来科		116-14-183		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	I	26	-	1	-	27	_	_	ı	_

				_	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.26				•
受講	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 90分 以上 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答
態度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	60分程度	7.4% 11.1 120分 90分 以上 程度	% 18.5% 60分 程度	22.2% 30分 程度	40.7% ほとんど していない	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	18.5% 25.9° 4.59	29.6%	_	25.9%	-
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に やや 高かった 高かっ 14.8% 51.9			非常に 低かった -	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.41	0 00.0%			•
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 33.3% 48.1		あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.33				•
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.15				>
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.00				

1 授業改善の工夫

同時期開講の「食品衛生学」と関連付けながら、実験で体験することで内容を理解し定着させることができるよう努めている。 将来栄養士として働いたときに、調理現場で調理員に衛生指導ができるよう、一人ずつ検査ができるようにしている。今年はレポートの添削指導を早めに行ったが、レポートを期日までに出せない学生が数名いた。レポートを書くことで、実習で行った内容を整理し、理解を深めることができるようにさらに指導する必要がある。

2 アンケート結果に対する見解

実験は日常生活ではなじみがないため、調理実習などと比べると学生の苦手意識が強い。学びの内容が実際の栄養士業務と関連付けられるようにする必要がある。実習後のレポート課題が毎回あるため、事前・事後の学習時間は講義科目と比べて長くなったいる。 班分けの際にグループワークがスムーズに進められるよう組み合わせに気を使っている。

教員	名	: 坊 梦	テ恵			職:	名 :	講師	fi	<u>所</u>	属 :	生活	未来和	<u> </u>	
<u>科</u> 目	1名称	: 食品	衛生学実習	<u> </u>			<u>科</u>	目群 :	: 生	活未来	科 食物	勿栄養ニ	ュース	<u>専門教</u>	育科目
<u>授業</u>	ミコード	: 2165		<u>授業</u>	形態 :	実習	受	講者数	:	32	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	27名
			学	年			_			学科・コ	ュース				
	答者 勺訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	未来科物栄養	ビジキャ	リア	地域こ。 学科		その他	無	回答
			26		- 1			27	コー	-ス -					
			——	価項目				教員(自己割			生の i平均	1		の自己 の評価 3	
	① 勉	2強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	したか。		丁	4		4.	.26				•
受講態	② 事	F前学習や課	関を1週当た	り平均でど	れぐらい課し			30分程	建度	120分 以上 7.4%	90分 程度 11.1%	60分 程度 18.5%	30分 程度 22.2%	ほとんど していない 40.7%	無回答
度	③ 事		界題を1週当た		れぐらい課し		60分程	建度	120分 以上 18.5%	90分 程度 25.9%	60分 程度 29.6%	30分 程度 -	ほとんど していない 25.9%	無回答	
授	④ 教	:科書、プリント、	、視聴覚教材(년	 ごデオなど)を	、授業の理解に	1,70	5			.59					
業内容	\$ 3	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	刃でしたか。		適 切 であっ		非常に 高かった 14.8%		適切 であった 33.3%	やや 低かった -	非常に 低かった	無回答	
授	⑥ 学	生に分かり	やすい説明を	こ心がけまし	たか。		7	4		4.	.41				•
業の進め	⑦ 授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	気をしていま!		注意して	いた	注意する 必要は なかった 33.3%	注意 していた 48.1%		あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答	
方			を配慮しなか					4		4.	.33				\rightarrow
総合		生に新しい知言すか。	識や技術を与え	と、問題意識や	や関心を高める	ることができたと	思い	4		4.	.15				•
評価	10 =	の授業は学	生の将来に後	史立つと思V	いますか。			4		4.	.00				>
1 技	受業改	善の工夫													
2 7	アンケー	ート結果に	対する見解	<u>¥</u>											

教員	名	: 池内	ますみ			職	名:	教授	<u> </u>	<u>所</u>	禹 :	生活	未来和	<u> </u>	
<u>科</u> 目	名称	:食品	科学				<u>科</u>	目群 :	: 生	活未来	科 食物	勿栄養ニ	ュース	専門教	育科目
<u>授業</u>	ミコート	: 2145		授業	形態 :	講義	受	講者数	:	43	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	40名
			学	年					:	学科・コ	コース				
	答者 勺訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	未来科 勿栄養	ビジキャ	リア	地域こ。 学科	ども	その他	無	回答
		40		_	-			40	コー	-ス -		_			
			平	価項目				教員(自己割			生の 平均	1		の自己 の評価 3	
	① 兔	放金しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4		3.	98				>
受講態	② 事	4前学習や課	題を1週当た	<u>-</u> り平均でどだ		ほとん 課してい		120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 7.5%	30分 程度 12.5%	ほとんど していない 80.0%	無回答		
度	3 事	4後学習や課	題を1週当た	こり平均でどれ	nぐらい課し		ほとん 課してい		120分 以上 2.5%	90分 程度 -	60分 程度 17.5%	30分 程度 15.0%	ほとんど していない 65.0%	無回答	
授	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材(1	ビデオなど)を、),,°	4		4.	28				\langle		
業内容	\$ 3	の授業のレイ	ベルは、学生	こにとって適り		やや 高かっ		非常に 高かった 12.5%	やや 高かった 42.5%	適切 であった 45.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答		
授業	⑥ 等	生生に分かりゃ	やすい説明を	と心がけまし	たか。			4		4.	05				\circ\
未の進め	⑦ 搒	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていま	したか。		注意す 必要に なかっ	は	注意する 必要は なかった 17.5%	注意 していた 37.5%		あまり 注意して いなかった 10.0%	全く 注意して いなかった -	無回答
方		生の理解度						4		3.	92				\(\)
総合証		生に新しい知言 すか。	戦や技術を与2	え、問題意識や 	*関心を高める	ることができたと	思い	4		4.	00				>
評価	10 3	の授業は学	生の将来に往	安立つと思い 	ますか。			4		4.	55				\langle
1 ‡	受業改	善の工夫													
2 7	アンケ	ート結果に	対する見角	星											

奈良佐保短期大学

教員名 : 坊 安恵 職名 : 講師 所属 : 生活未来科

科目名称 : 食品学実験 科目群 : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目

<u>授業コード : 2155ab 授業形態 : 実習 受講者数 : 43名 回答者数 : 42名</u>

		学	年				学科•	コース		
□ <i>k/c</i> ± <i>c</i> .						生活未来科	•	116-64-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	41	1	1	_	_	42	-	_	_	_

_					\diamond	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生(評価平		1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.21	1				\lambda
受講	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度		90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答
態				4.8%	7.1%	19.0%	50.0%	-
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	90分程度		90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答
		,,,,,	54.8%	7.1%	9.5%	9.5%	19.0%	-
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.10)	-			
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや		やや あかった	適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答
谷		高かった	31.0% 4	45.2%	23.8%	-	-	-
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	3.76	3				
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	必要は なかった し	注意 ていた 61.9%	ある程度 注意 していた 26.2%	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.02	2				\lambda
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	3.83	3				\Diamond
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	3.76	3				\rightarrow

1 授業改善の工夫

授業における教員の説明の仕方がわかりやすかったかという質問では、「そう思う」が11.9%、「ある程度思う」61.9%、「どちらとも言えない」16.7%であった。また、教員は学生の理解度を配慮しながら授業を進めていかという質問では、「そう思う」が21.4%、「ある程度思う」61.9%、「どちらとも言えない」14.3%であった。本講義平均は前者が3.76、後者が4.02であり、全体平均では、前者が4.27、後者が4.21であった。このことより、説明の仕方に関して、もう少し改善の余地があると考えられる。本授業から初めて授業を行ったことを考えると健闘したと思うが、本授業で学生が説明の再要求を行った部分に関しては、次年度、改善すべき点として把握しておく必要がある。一方で、化学的知識の差がある学生たちを相手にどこまで全体で説明し、個別で説明するかも併せて検討すべきであると考えた。

2 アンケート結果に対する見解

授業のレベルが適切であったかという質問に対して、「非常に高かった」が31.0%、「やや高かった」が45.2%、「適当であった」が23.8%の回答があった。本講義開始時に、高校で化学を履修していたかを学生に尋ねたところ、5人未満であったことを記憶しており、本講義の履修学生は化学に対する知識量の差があった。そのため、授業のレベルに関して、適当であったと回答する学生が少なく、反対に高かったと感じる学生が多かったと考えられる。 一方で、授業後の勉強や課題に取り組む時間が80.7分であり、全体平均29.2時間と比べると50分程度長いことがわかった。これは、実験の後に課しているレポート作成の時間であり、妥当な取り組み時間だと考える。学生が作成したレポートチェックより、実験を行う毎に、化学的に思考し、報告する力がついてきていることが確認できている。また、授業を受けて新しい知識や技術が得られ、問題意識や関心が高くなったかという問いでは、「そう思う」が16.7%、「ある程度思う」が50.0%となっており、実験ならびに、実験後に行うレポート作成は学生の成長に寄与しているものと考えられる。ただ、一部に「難しい」「あまり理解していない」との声もあり、化学に対して苦手意識のある学生へフォローについて検討する余地はあると考えられた。

数]	名												: ¥	<u></u> 	授_	<u>所</u>	禹 :	生活	未来和	<u> </u>
<u>科</u> 目	名和	<u> </u>	: (食事	療法	実習						科目郡	‡ :	生	活未来	科食物	勿栄養	コース	専門教	育科目
<u>授業</u>	ミコー	-ド	: :	2195			<u>授</u>	業刑	/態 :	実習		受講者	新	:	33/	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	30名
						学	年							ÿ	学科・コ	ュース				
	答者		1回	/ ±:	21	回生	その	441	無回答	11.74		活未到		ニジン	ネス	地域こ	ども	その他	4111	回答
P	引訳		1 二		21	31 X		165	無固合	生活やコー		食物栄	文 :	キャリコー	Jア	学科	<u> </u>	· C • > E		
				-		30		-	_	-	-		29		-		_	-W III	-	1
						評	価項目					自	数員の 己評値	15	学 学 評価	生の 平均	1		の自己 の評価 3	
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。												5		4.	27				
受講態	_構 │ ② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。 態 │)分程度	芰	120分 以上 3.3%	90分 程度 -	60分 程度 16.7%	30分 程度 30.0%	ほとんど していない 50.0%	無回答
度												60)分程度	ŧ	120分 以上 3.3%	90分 程度 3.3%	60分 程度 26.7%	30分 程度 40.0%	ほとんど していない 26.7%	無回答
授	受 ④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。												5			20	20.170	10.0%	20.170	
業内容												高	やや あかった	_	非常に 高かった 3.3%	やや 高かった 20.0%	適切 であった 76.7%	やや 低かった	非常に 低かった	無回答
授	6	学生	にん	うカンりょ	やすい	、説明を	こ心がけ	ました	こか。				4			87	10.176			\Diamond
業の進め	7	授業	の進	進行を	妨げる	る行為に	こ対して	注意	をしていまし	したか。		注意	意してい	た	注意する 必要は なかった 20.0%	注意 していた 26.7%	ある程度 注意 していた 50.0%	あまり 注意して いなかった 3.3%	全く 注意して いなかった	無回答
方	8								めましたか。				4		3.	90				\rightarrow
総合	9	学生ますが		ノい知	識や技	術を与え	え、問題だ	予識を	関心を高める	5ことがで	きたと思	١ ١	4		4.	17				\
評価	10	この	授業	は学	生の特	将来に往	设立つと	思い	ますか。				5		4.	50				
1 1	受 <u>業</u>	改善	: の <u></u>	<u> </u>																
2 7	アンク	ケー	ト結:	果に	対す	る見角	7													

教員名 : 毛受 真由美 職名 : 非常勤_ 所属 : 生活未来科

科目名称 : 人体の構造と機能 I 科目群 : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目

授業コード : 2115 授業形態 : 講義 <u> 受講者数 : 45名</u> 回答者数 : 40名

		学	年				学科•	コース		
□ <i>k/c</i> ± <i>c</i> .						生活未来科	•	116-14-101		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	40	-	I	ı	-	40	-	ı	ı	ı

				_	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.15				\rightarrow
受講	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 90分 以上 程度	60分 程度	30分程度	ほとんど していない	無回答
態度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	- 5.0% 120分 90分 以上 程度 - 2.5%	10.0% 60分 程度 20.0%	30分程度	67.5% ほとんど していない 55.0%	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.40	20.0%	22.0%	00.0%	
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に やや 高かった 高かった 15.0% 35.0%		,	非常に 低かった	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.21	15.0%	3.0%		•
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 10.0% 65.0%	していた		全く 注意して いなかった	無回答 -
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.40				\
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.08				♦
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.15				\

1 授業改善の工夫

重月	1 チュ ケロ 宝年 ナ			ブンチン ノ	極器由につ		る機会	:を設けて	
	プ知識を			(170 <					判職(/) 正 看 かり へ /*
									加畝の足有を凶つだ。

2 アンケート結果に対する見解 分かりやすい説明を心がけたつもりであるが、一部の学生に難解と感じさせてしまった。 映像等もさらに利用して、より分か りやすい授業を目指したい。

教員名 : 野間 智子 職名 : 准教授_ 所属 : 生活未来科

: ゼミナール I (医療福祉) 科目名称 科目群 : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目

授業コード : 3911a <u>受講</u>者数 : 10名 授業形態 : 演習 10名 回答者数 :

		学	年				学科•	コース		
□ <i>k</i> + + v.						生活未来科		116-14-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	ı	10	_	_	-	10	-	_	_	_

				\ \ \ \	教員の自	己評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	1	■ 学生の割 2 3	4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.50			\
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 90分 以上 程度	60分 程度 10.0%	30分 程度 してい 20.0% 70.	ない無凹合
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 90分 以上 程度	60分 程度 10.0%	30分 程度 してい 20.0% 70.	ない無凹合
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.10			>
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に やや 高かった 高かった 10.0% 10.0%		やや 非常 低かった 低か・	
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.60			\
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 50.0% 20.0%		あまり 全 注意して 注意 いなかった いなか	く して 無回答 かた —
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.60			\
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	5	4.40			\
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.50			—

1 授業改善の工夫

この科目は1回生後期から2回生前期にかけての通年科目である。そのため、本学に赴任した2017年4月の2回生の前期か ら担当した。 授業開始当初は、福祉フェスタが終了していたこともあり、学生たちはフィールドの目標を決めかね、やる気のなさが垣間見られた。そこで、学外実習にもつなげられるように、授業目標として「高齢者への健康寿命の延伸」を大目標に掲げ た。具体的に取り組む中期目標としては、「和楽園への出前食育体験」を計画し、学生に企画から積極的に関与させるようし、学 生自身の意識を高める工夫を行った。

2 アンケート結果に対する見解
「和楽園への出前食育体験」を機に、学生たちも積極的に授業に参加し、休みがちな学生も最後までフィールド学習に取り組むことができたと評価している。その結果がアンケートにも反映され、「この授業が自分の将来に役立つと思いますか」との質問にも全員が「そう思う」あるいは「ある程度そう思う」と回答していると判断した。 今年度は通年を通して、フィールドを担当することになるが、学生たちが取り組みたい内容を主に、学生たちの将来に役立つ授業展開を図っていきたい。

教員	<u> 数員名 : 池内 ますみ</u> 科目名称 : ゼミナール I (食ビジネス)							名 : 教	授	<u>所</u>	属 :	生活	未来和	
<u>科</u> 目	名称	: ゼミナ	└ール I (食	ビジネス)			<u>科</u>	目群 :	生活未来	科食	勿栄養:	コース	専門教	育科目
<u>授業</u>	ミコート	: 3911	d	<u>授業</u>	形態 :	演習	<u>受</u>	講者数 :	6	<u>名_</u>	<u>回答</u>	者数	:	6名
			学	年					学科•	コース				
	答者	1回生	2回生	その他	無回答			未来科	ジネス	地域こ	ども	その他	4111	回答
P	了訳	1回王	2回生	CVAIR	無固合	生活福祉コース		の木食 キャース	ャリア	学科	+	CVJE	////	DG*
		_	6	_	_	_		6	_		-	E	-	_ ====================================
			評/	価項目				教員の 自己評価		生の 近平均	1		の自己 の評価 3	
	① 兔	か強しやすい.	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4	3	.50				\rightarrow
受講態	② 事	事前学習や課	!題を1週当た	_り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 16.7%	ほとんど していない 83.3%	無回答
度	③ 事	耳後学習や課	!題を1週当た	り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 50.0%	ほとんど していない 50.0%	無回答
授	④ 耄	(科書、プリント、	、視聴覚教材(t	ごデオなど)を、	授業の理解に	二活用しましたか	,0	3	3	.67			♦	
業内容	5 3	の授業のレー	ベルは、学生	にとって適り	刃でしたか。			適切 であった	非常に 高かった -			やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答
授業	6 5	生に分かり	やすい説明を	と心がけまし			4	4	.00				\	
来の進め	⑦ B	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	たか。		ある程度注意していた。	注意する 必要は なかった -	注意 していた 50.0%	ある程度 注意 していた 33.3%	あまり 注意して いなかった 16.7%	全く 注意して いなかった -	無回答
方	_		を配慮しなか					4	4	.33				\
総合証	9 ま	生に新しい知	識や技術を与え	え、問題意識や	P関心を高める	ことができたと	思い	4	4	.00				>
評価	10 3	の授業は学	生の将来に往	设立つと思V	ますか。			4	4	.33				\
1 1	受業改	善の工夫												
2 7	アンケ	ート結果に	対する見角											

奈良佐保短期大学

教員							職	名 :	講師	<u>fi</u>	<u>所</u>	禹 :	<u>生活</u>	未来和	<u> </u>
科目	名称	: <u>'</u>	ナール I (食	ビジネス)			<u>科</u>	目群 :	: 生	活未来	科食物	勿栄養:	ュース	専門教育	<u>育科目</u>
授業	ミュー	ド : 3911	ld	授業	形態 :	演習	<u>受</u>	講者数	:	6:	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	<u>:</u>	6名
			学	年						学科•	コース				
	答者 引訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	未来科物栄養	ビジキャコー	リア	地域こ 学科		その他	無	回答
		-	- 6	_	_	-	-	6		-		-		_	
			評	価項目				教員 自己評			生の 平均	1		の自己 の評価 3	
	① !	勉強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	<i>たか。</i>			4		3.	50				\
受講態	2	事前学習や調	果題を1週当た	_り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		ほとん 課してV		120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 16.7%	ほとんど していない 83.3%	無回答 -
度	3	事後学習や詩	果題を1週当た	_り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		ほとん 課してV		120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 50.0%	ほとんど していない 50.0%	無回答
授	4	教科書、プリント	、視聴覚教材(ごデオなど)を	授業の理解に	こ活用しました	ζ,°	3		3.	67			\langle	
業内容	5 3	この授業のレ	ベルは、学生	にとって適り	刃でしたか。			適りであっ		非常に 高かった -	やや 高かった 16.7%	適切 であった 83.3%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答
授業	6	学生に分かり	やすい説明を	と心がけまし	たか。			4		4.	00				\(\)
来の進め	7	授業の進行を	と妨げる行為に	こ対して注意	fをしていま!	したか。		注意して	こいた	注意する 必要は なかった -	注意 していた 50.0%	ある程度 注意 していた 33.3 %	あまり 注意して いなかった 16.7%	全く 注意して いなかった -	無回答
方	_		度を配慮しなれ					5		4.	33				•
総合		学生に新しい知 ますか。	1識や技術を与	え、問題意識や	P関心を高める	ることができたと	思い	4		4.	00				\Diamond
評価	10	この授業は学	生の将来に	设立つと思V	ますか。			4		4.	33				\rightarrow
<u>1</u>	受業改	女善の工夫													
2 7	アンケ	ート結果に	二対する見角	4											

奈良佐保短期大学

教員	<u> 教員名 : 池内 ますみ</u>							名 :	教授		<u>所</u>	属 :	生活	未来科	<u> </u>
<u>科</u> [1名称	:調理學	学				<u>科</u>	目群 :	: 生	活未来	科 食物	勿栄養ニ	ュース	専門教	育科目
<u>授業</u>	ミコート	: 2250		授業	形態 :	講義	<u>受</u>	講者数	:	43:	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	<u>:</u>	41名
			学	年						学科・コ	ュース				
	答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	たま来科 物栄養 コース	ビジキャ	リア	地域こ 学科	ども	その他	無	回答
		40				1 -		40	コー	-ス -					1
				価項目				教員(自己割			生の i平均	1		の自己 の評価 3	
	① 兔	か強しやすい!	雰囲気づくり	に配慮しまし	したか。			4		3.	.61				\langle
受講態	② 事	事前学習や課	題を1週当た	<u>-</u> り平均でどれ	れぐらい課し	しましたか。		ほとん 課してい		120分 以上 -	90分 程度 2.4%	60分 程度 2.4%	30分 程度 9.8%	ほとんど していない 85.4%	無回答
度	③ 事	事後学習や課	題を1週当た	<u>-</u> り平均でどぇ	れぐらい課し	しましたか。		ほとん 課してい		120分 以上 -	90分 程度 2.4%	60分 程度 12.2%	30分 程度 31.7%	ほとんど していない 53.7%	無回答
授	④ 教	対書、プリント、	視聴覚教材(1	 ビデオなど)を、	、授業の理解に	に活用しましただ	°ء ر	4		4.	.10				\langle
業内容	5 3	この授業のレヘ	ベルは、学生	にとって適り	刃でしたか。			適切であっ	1	非常に 高かった 4.9%	やや 高かった 41.5%	適切 であった 53.7%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答
授業	⑥ 学	学生に分かりゃ	やすい説明を	と心がけまし	たか。			4		4.	.00				\rightarrow
果の進め	⑦ 挎	受業の進行を	妨げる行為に	 こ対して注意 	 (をしていま)	したか。		注意す 必要に なかっ	は	注意する 必要は なかった 9.8%	注意 していた 46.3%	ある程度 注意 していた 39.0%	あまり 注意して いなかった 4.9%	全く 注意して いなかった -	無回答
方		学生の理解度						4		3.	.78				\rightarrow
総合証	9 3	きすか。				ることができたと	思い	4		4.	.07				
評価	10 =	の授業は学	生の将来に往	殳立つと思い 	ますか。			5		4.	.64				
1 1	受業改	(善の工夫													
2 7	アンケ	ート結果に	対する見角	星											

教員	名	: 坊 岁	き恵				職	名 :	講卸	<u> </u>	<u>所</u>	属 :	生活	未来和	<u> </u>
<u>科</u> 目	名称	: フート	ベンペシャリ	スト論			<u>科</u>	目群 :	: 生	活未死	K科 食	物栄養	コース	専門教	育科目
<u>授業</u>	ミコード	: 2410		<u>授業</u>	形態 :	講義	<u>受</u>	講者数	:	29	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	28名
			学	年					:	学科・	コース				
	答者	1回生	2回生	その他	無回答			未来科	ビジ	ネス	地域こ	ども	その他	4111-	回答
P	勺訳	1四生	2四土	*C V 711⊡	無凹合	生活福祉コース		物栄養	キャコー	リア	学和	4	-()/[匹	***	旦合
		27	1	_	_	_		27		_				_	1
			評	価項目				教員 自己割			生の 舌平均			の自己 の評価 3	
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4		3	.89				\(\)
受講	② 事	前学習や課	題を1週当た	り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		30分程	是度	120分 以上 3.6%	90分 程度 10.7%	60分 程度 10.7%	30分 程度 21.4%	ほとんど していない 53.6%	無回答
態度		* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	Hrt. b. a Am Ale A		. As a series	2.3 2. 3		1) -		120分	90分程度	60分程度	30分程度	33.0% ほとんど していない	無回答
	③ 事	後学習や課	題を1週当た	り半均でど	れぐらい課し	ましたか。	30分程度 17.9%				10.7%		35.7%		
授業	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材(1	ごデオなど)を、	授業の理解に	に活用しましたか	, .	5			.18				
木内容	⑤ <u>_</u>	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適ち	刃でしたか。			適りであっ		非常に 高かった	高かった		やや 低かった -	非常に 低かった	無回答
授	⑥ 学	生に分かりゃ	やすい説明を	と心がけまし	たか。			4		7.1%	32.1% .93	60.7%			<u> </u>
業の進	⑦ 授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	きしていまし	したか。		ある程注意して		注意する 必要は なかった 17.9%	していた	ある程度 注意 していた 28.6%	あまり 注意して いなかった 7.1%	全く 注意して いなかった	無回答
め方	⑧ 学	生の理解度	を配慮しなか	ら授業を進	めましたか。			4		3	.86				\(\)
総合		生に新しい知i すか。	職や技術を与;	え、問題意識や	P関心を高める	ことができたと	思い	4		4	.00				>
評価	10 =	の授業は学	生の将来に往	设立つと思V	ますか。			4		4	.00				>
1 ‡	受業改	善の工夫													
2 7	アンケー	ート結果に	対する見角												

奈良佐保短期大学

教員名: 加来 慎太郎 職名 : 非常勤_ 所属 : 生活未来科

科目名称 : イラスト・画像処理Ⅱ 科目群 : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目

授業コード : 3236 授業形態 : 演習 <u> 受講者数 :</u> 6名 回答者数 : 6名

ſ			学	年				学科•	コース		
	□ <i>\</i> \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \\ \ \\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \						生活未来科	•	116-14-161		
	回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども 学科	その他	無回答
		1	5	-	_	_	_	6	-	_	_

				_ ◊	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	3.83				\Diamond
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 90分 程度 - 16.79	60分程度	30分 程度 16.7%	ほとんど していない 66.7%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 90分 以上 程度 - 16.79	60分 程度 6 -	30分 程度 -	ほとんど していない 83.3%	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	3	3.83			\	
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に やや 高かった 高かっ: - 33.39		やや 低かった	非常に 低かった 16.7%	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.50				—
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 16.7% 16.79	していた	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった 33.3%	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.17				
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	3.83				\Diamond
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	3.50				\rightarrow

1 授業改善の工夫

デザインやイラストの作業の進み方は、どうしても生徒によってバラツキがあります。それにより授業の進み方が遅くなったりしてしまうので、その差をなるべく少なく出来るよう、生徒それぞれの特性をより理解していきたいと思います。

2 アンケート結果に対する見解 生徒がデザインやイラストに興味を持ってもらえるように、楽しく行える作業内容や、資料などを用意していきたいと思います。教える立場と生徒の目線の両方のバランスを考え、授業に活かしていきたいと思います。

教員名 : 吉村 司 職名 : 非常勤 所属 : 生活未来科

科目名称 : オフィス実務演習 I 科目群 : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目

		学	年				学科•	コース		
						生活未来科	•	116-14-161		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	_	7	1	1	_	1	6	1	-	_

				_	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.00				\
受講	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 90分 以上 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答
態度			120分 90分	25.0%	50.0%	25.0% ほとんど	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	以上程度	程度	程度	していない	無回答
			- 12.5%	12.5%	37.5%	37.5%	_
授業	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.63				\Diamond
内	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや	非常に やや 高かった 高かった	適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答
容		高かった	12.5% 50.0%	37.5%	_	-	
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.38				
業の	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 注意 必要は なかった していた	ある程度 注意 していた	あまり 注意して	全く 注意して いなかった	無回答
進め	① 技术の連目を別ける目標で対して任意をしているしたが。	出版のでんだ	37.5% 50.0%		-	-	-
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.88				\(\)
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.13				
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	5.00				

1 授業改善の工夫

新規開講授業であり不透明部分も多かったが「ビジネス文書 I・Ⅱ」を履修済の2回生であるので、オープニングの1分間スピーチ、オリジナル講義スライド、演習、ワークショップ等お馴染みの授業展開に加え、本授業ではテキストを活用し、講義スライドにテキストの該当ページを常に表示させて参照部分を明確にした。さらに毎回の授業テーマとリンクさせた1分間スピーチで予習機会を確保し、加えて授業後レポートの提出で復習機会を担保し「予習→授業→復習」のサイクルが回るように授業展開を工夫した。

2 アンケート結果に対する見解

「授業の進め方®」の理解度に対する配慮が唯一全体平均を下回ったので、後期からは授業内の節目でアイコンタクトや質問を募るなどして配慮の頻度と密度を高めている。一方「受講態度②③」で予習は一昨年比で10分→30分→30分、復習0分→33.8分→30分と「1」の授業展開の改善が定着傾向にあり、後期は宿題・レポートを増やしてさらにアップを目指したい。最後に「総合評価⑩」で「この授業は自分の将来に役立つ」と全員の学生が回答しており、受講者が増加傾向にある中で少しでもこのトレンドを保っていきたい。

科目名称 : オフィススタディ 科目群 : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目

		学	年				学科•	コース		
						生活未来科		1914-4-191		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉 食物栄養 ビジネス コース コース キャリア コース		地域こども学科	その他	無回答	
	ı	6	_	_	-	-	6	_	_	

				-	,	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生 評価 [:]		1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	3.6	67				\
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 16.7%	60分 程度	30分程度	ほとんど していない 83.3%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 16.7%	60分 程度 -	30分 程度 16.7%	ほとんど していない 66.7%	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.5	50				\
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 33.3%	やや 高かった 50.0%	適切 であった 16.7%	やや 低かった	非常に 低かった -	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	5.0	00				\
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 83.3%	注意 していた 16.7%	ある程度 注意 していた	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.1	L7				\rightarrow
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.3	33				\langle
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	5.0	00				\

1 授業改善の工夫

理解度を確認しながら進めていたつもりでしたが、個人差が大きかったのでもっと丁寧に、一人一人の理解度に合わせて声かけをするべきだったと思っています。 特に、留学生に対してはきめ細やかなフォローが必要だったと反省しています。 社会人になるにあたっての心構え、意識付けの部分をより丁寧に時間をかけてから、実践的な内容に入る工夫を今後はしたいと思っています。

2 アンケート結果に対する見解

授業の最初にアイスブレイクを入れる日もあったのですが、毎回入れて場作りを丁寧にすればよかったと思っています。ワーク後の発表に関しては個人差が大きかったので、あまり発言したくない学生に対しては違った問いかけを工夫するべきでした。 また、遅刻してくる学生に対してどこまで厳しく対応するべきか迷っていました。次回は最初にきっちりと伝えてから、一貫した態度をとるようにしたいと思っています。 そして、よりわかりやすく、「自分事」としてイメージできるような実践的なカリキュラムを工夫したいと思っています。

教員名 : 谷村 真理 職名 : 非常勤 所属 : 生活未来科

科目名称 : 経理実務 I 科目群 : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目

		学	年				学科•	コース		
□ <i>k</i> + + v.						生活未来科		116-14-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	6	-	-	ı	-	_	6	_	ı	ı

					♦	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生(評価平		1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.00)				· C
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない		90分 程度 -	60分 程度 16.7%	30分 程度 -	ほとんど していない 83.3%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度		90分 程度 -	60分 程度 16.7%	30分 程度 16.7%	ほとんど していない 66.7%	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.17	,				
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	高かった高	やや iかった 50.0%	適切 であった 33.3%	やや 低かった -	非常に 低かった	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.00					
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	必要は なかった し	注意 ていた 33.3%	ある程度 注意 していた 33.3%	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.17	,				\rightarrow
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.00)				
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.33	3				

1 授業改善の工夫

・学生の興味や理解度に合わせて、適宜練習問題を取り入れ知識の定着をはかった。また、毎回1度は発言させるようにして、自主性の育成にも配慮した。 ・既学者(商業高校出身など)とそうでない者の理解度にはどうしても差が生じるため、レベルにあわせて個別に課題を課すなど、さらにきめ細やかな配慮を行っていきたい。 ・将来どのような仕事に就いても活用できるようなベースとなる知識の習得を、サポートしていきたい。

2 アンケート結果に対する見解

・概ね、納得のいく評価であった。既学者と初心者で、理解度や達成度、満足度に差がでていたものの、総じてモチベーションが高い学生が多く、吸収力も高かった。 ・仕訳などの複式簿記の基本については、概ね理解できたと思う。テストの成績も、ばらつきはあるものの、ほぼ想像通りのものであった。 ・個々の達成度に配慮した個別指導を、さらに充実させていきたい。

教員名 : 上田 利博 職名 : 非常勤 所属 : 生活未来科

科目名称 : ゼミナール I (ビジネスキャリア) 科目群 : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目

		学	年				学科•	コース		
□ <i>k</i> + + v.						生活未来科		116-14-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	5	-	_	_	-	_	5	_	_	

				_	教員の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	1	学生の評価 2 3	i平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	3.80			\Q
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 年度 	程度	60分 呈度 していない 0.0% 20.0%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 90分 以上 程度		00分 ほとんど していない - 40.0%	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.00			
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に やや 高かった 高かっ: - 40.00	た であった 低	やや 非常に かった 低かった	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.40			•
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 20.0% 40.00		かまり 全く 意して 注意して さかったいなかった	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.00			\circ\
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.00			
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.00			

1 授業改善の工夫

今回の学生の授業の取り組み姿勢は予習・復習にバラつきはあったものの、参加意欲や平均的な授業の理解度は高く、自分の知識として蓄積されたと思われる。ただ、全体のアンケートから、事前・事後の勉強時間が平均より少し長く、事前課題が多かったかと思われるところがある。これらを踏まえて、今後は今年の進め方を継続するものの、事前課題等は時間に配慮した効果的な活用を実施したいと考えている。

2 アンケート結果に対する見解

この授業は3限と4限の連続で、担当教員が2名の授業であった。3限と4限で授業内容が異なったのでものの、学生のアンケートへの回答は大きなバラつきはなかったのではないかと思われる。毎回学生から課題に対する発表を組み込んでいたので、事前勉強時間が他の科目と比較して少し多かったと思われる。しかし、大半が事前課題に取り組んでいただけたので、授業の内容も充実し、理解度は上がったと思われる。

教員	名	: 戸田	信聡				職/	名:講館	市	<u>所</u>	禹 :	生活	未来科	•
<u>科</u> 目	名称	: ゼミナ	ール I (ビ	ジネスキャ	リア)		<u>科</u>	目群 : 生	活未来	科 ビジネ	スキャリ	アコース	専門教	育科目
授業	ミコート	: 3905		<u>授業</u>	形態 :	演習	受	講者数 :	6:	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	5名
			学	年					学科•	コース				
	答者	1回生	2回生	その他	無回答			未来科	ジネス	地域こ		その他	無	回答
P	勺訳	123.1		C • > E	WEI-E	生活福祉コース		一ス キャ	リアース	学科	ŀ	C 42 E	7///	
		5	=	-	-	_		-	5		_	*** 巨	<u>-</u>	— 款 左
			評	価項目				教員の 自己評価		生の 近平均	1		の自己 の評価 3	
	① 兔	 	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			5	3	.80				
受講態	② 事	事前学習や課	題を1週当た	_り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		30分程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 40.0%	30分 程度 40.0%	ほとんど していない 20.0%	無回答
度	③ 事	事後学習や課	題を1週当た	上り平均でど		30分程度	120分 以上 -	90分程度	60分 程度 60.0%	30分程度	ほとんど していない 40.0%	無回答		
授	④ 耄	女科書、プリント、	視聴覚教材(1	ごデオなど)を、	0	5	4	.00	00.0%		40.0%			
業内容	(5) C	この授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り		やや 高かった	非常に 高かった -	やや 高かった 40.0%	適切 であった 60.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答		
授	⑥ 当	学生に分かりゃ	やすい説明を	と心がけまし	たか。			5	4	.40	00.0%			
業の進め	⑦ B	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	だをしていまし	したか。		注意していた	注意する 必要は なかった 20.0%		ある程度 注意 していた 40.0%	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答
方	_	学生の理解度						5	4	.00				Ç
総合	9 ま	≥生に新しい知言 ミすか。	識や技術を与れ	え、問題意識や	P関心を高める	ことができたと思	い。	4	4	.00				>
評価	10 3	の授業は学	生の将来に往	设立つと思V	ますか。			5	4	.00				· C
1 1	受業改	(善の工夫												
2 7	アンケ	ート結果に	対する見角	4										

教員名 : 戸田 信聡 職名 : 講師 所属 : 生活未来科

科目名称 : 卒業研究 I 科目群 : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目

		学	年				学科•	コース		
□ <i>kk</i> +⁄.						生活未来科		116-14-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	ı	6	_		-	_	6	_	_	

					◇ 教員	真の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平		学 1 2	との評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	3.17				Image: square of the property of
受講	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	60分程度		呈度 程	0分 程度 程度 5.7% -	ほとんど していない 83.3%	無回答
態度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度		0分 60 呈度 程	0分 30分 程度 4.7% 16.7%	ほとんど していない	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	2.17	10	.7% 10.7%	00.7%	\
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった		かった であ	卸 やや っった 低かった		無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	2.17	33	.5% 10.7%	10.7%	\
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	必要はなかったして	さいたして	程度 あまり 注意して いた いなかっ 5.7% 33.3%	全く 注意して たいなかった 33.3%	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	2.17				\(\)
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	2.00				
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	2.17				\

1 授業改善の工夫

卒業研究では、研究を自分ひとりで進めていくための「ビジネスの基礎知識・用語を使えること」、「自分の考えをまとめて主体的に研究を進められること」が前提となります。しかし、それができる学生は少なく、4月段階で卒業研究は困難でした。そのため、基礎知識からの説明に費やす時間が多くなりました。又、卒業研究は個別発表です。グループワークにフリーライドしてきた一部の学生が、困る場面も多かったと思います。 卒業研究にしても、卒業後の進路指導にしても、時間がないことから2回生の学生たちには、意識的に危機感を訴えたと思います。2回生の一部の人は厳しい授業と感じたかもしれませんが、4月時点で想定していたよりも研究は基礎を踏まえ、発表会に出しても恥ずかしくない内容になりつつあります。就職活動も4月時点で想定していた最悪の水準よりは、多くの学生が複数内定を取れてきていると思います。 後期については特に進路の決まった学生には、リラックスして卒業研究に集中させて、少しでも思い出に残る研究発表にしてもらうように意識しています。卒業研究は他の授業と異なり、個別テーマで一人ひとり進めることに変わりはありません。しかし、自由なグループでの意見交換の時間を多くするとともに、学生の発表、スピーチを主として卒業研究を楽しんでもらえれるように工夫を加えているところです。

2 アンケート結果に対する見解

「自分で考え、主体的に取り組むことを避けて楽をしたい」「基礎知識の勉強はめんどくさい」ということが伝わる内容もアンケートにはあります。しかし、安易にこの要望を受け入れることをすると、まじめで熱心に取り組んでいる学生にも悪影響を与えると考えます。依存的で基礎を軽んじていると、まず、就職活動がうまくいきません。そして、会社に入ればわかることですが、仕事は主体性を持って取り組むことや、ビジネス基礎知識を使うことが避けられません。むしろ、目的・目標をしっかり持って積極的に自分の考えの持ち、ビジネス基礎知識の勉強をするほうが、会社の仕事は楽しくなることを伝えていきたいと考えます。2回生進級段階で、最低限必要なビジネス基礎知識が不足していることと、就職活動への意識の低さに問題意識があります。能力、講義の理解度、授業をうける姿勢にもかなり個人差があります。しかし、2回生進級段階で最低限のビジネス基礎知識、基礎用語がわからない、主体的にタスクが取り組めない、キャリアへの意識が低くて就職活動の準備ができていないということが極力少なくなるよう1回生の指導にも力をいれていきたいと考えます。

教員	图	: 中村	<u>妙子</u>		職	名 :	教授	<u> </u>	<u>所</u>	禹 :	生活	未来科	ŀ		
<u>科目</u>	1名称	: データ	タ処理Ⅱ				<u>科</u>	目群 :	: 生	活未来和	科 ビジネ	スキャリ	アコース	専門教	育科目
授業	ミコード	: 3215		<u>授業</u>	形態 :	演習	<u>受</u>	講者数	:	6:	<u>名_</u>	<u>回答</u>	者数	:	6名
			学	年			_			学科•=	ュース				
	答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	未来科 物栄養 ロース	ビジキャコー	・リア	地域こ 学科		その他	無	回答
		_	6	_	_			_		6		_		_	_
				価項目				教員 自己割			生の i平均	1		の自己 の評価 3	
	① 勉	か強しやすい?	雰囲気づくり	に配慮しまし	したか。 			3		3.	.33			•	
受講態	② 事	す前学習や課	県題を1週当た	<u>-</u> り平均でど	れぐらい課し	しましたか。		ほとん 課してい		120分 以上 -	90分 程度 16.7%	60分 程度 16.7%	30分 程度 -	ほとんど していない 66.7%	無回答
度	3 事	『後学習や課	具題を1週当た	<u>-</u> り平均でど	れぐらい課し		30分程	建度	120分 以上 -	90分 程度 16.7%	60分 程度 -	30分 程度 16.7%	ほとんど していない 66.7%	無回答	
授	④ 教	(科書、プリント、	、視聴覚教材(と		、授業の理解に	70	4		4.	.17				\	
業内容	(5) C	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	刃でしたか。		適切 であっ		非常に 高かった 50.0%		適切 であった -	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答	
授業	⑥ 学	生生に分かり	やすい説明を	と心がけまし	たか。			3		4.	.00			\rightarrow	
果の進め	⑦ 授	そ業の進行を	妨げる行為に	 こ対して注意 	 だをしていま1	したか。		ある程 注 <i>意</i> して		注意する 必要は なかった	注意 していた 66.7%	ある程度 注意 していた 33.3%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答
方			を配慮しなか					4		3.	.67				\rightarrow
総合語		生に新しい知言すか。	職や技術を与 <i>え</i>	え、問題意識や	?関心を高める	ることができたと	思い	4		3.	.83				
評価	10 =	の授業は学	生の将来に往	殳立つと思い	ますか。			4		4.	.50				\langle
1 ‡	受業改	善の工夫													
2 7	アンケ	ート結果に	対する見解	<u>军</u>											

教員名 : 中村 妙子 ______ 職名 : 教授 ___ 所属 : 生活未来科

科目名称 : 文書作成 I 科目群 : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目

		学	年				学科•	コース		
						生活未来科	•	116-14-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	5	_	-	_	_	_	5	_	_	

				<u></u>	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	3.80				\Q
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 90分 以上 程度	60分 程度 20.0%	30分 程度 -	ほとんど していない 80.0%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 90分 以上 程度	60分 程度 40.0%	30分 程度 20.0%	ほとんど していない 40.0%	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.20			<u>'</u>	•
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に やや 高かった 高かった 20.0% -	適切 であった 80.0%		非常に 低かった -	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	3	3.60			•	
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった - 60.09	していた	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	3	3.60			♦	
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	3	3.60			♦	
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.20				

1 授業改善の工夫

Wordをすでに経験している学生と、初めての学生がおり、授業を始める前にすでに経験の差が生じている。早く正確にビジネス文書等が作成できることを1つの目標とし、そのために様々なツールを学んでいるが、タイピングが遅いとどうしてもツールを使いこなすまで行かない。ある程度の速度でタイピングができるような仕組みを構築し、足並みが揃う授業にしていきたい。

2 アンケート結果に対する見解

文書作成 I と情報処理演習 I は、同じ時間、同じ教室で開講し同じに教えているが、評価が分かれていることに驚いた。分かりやすさ、学生の理解度への配慮、問題意識や関心の高さへの評価が、特に差が見られ、考えさせられる結果であった。 授業に対する取組姿勢、能力差に起因していると思われるが、これを同じような評価にするためにはどのような工夫が必要なのか考えていく。

教員	教員名 : 戸田 信聡 科目名称 : マーケティング									<u> </u>	職名	:	講師	fi	<u>所</u>	属 :	生活	未来和	<u> </u>			
科目	名称	:	:	マ	ر	ケティ	ィング						3	科目:	群	: 生	活未来	科 ビジネ	ベスキャリ	アコーフ	専門参	(育科目
授業	ミコー	ド	:	31	80			_	授業	形態 :	講	美	7. 	受講	者数	:	7	名_	<u>回答</u>	者数	:	6名
							学	年									学科•	コース				
	答者 引訳		1[回生	1.	21	回生	7	の他	無回答		活福祉		活未食物学	栄養	ビジ	ネス ·リア	地域こ 学科		その他	無	回答
					_		6	5			_	コース	_	コー	<u>^</u> -	コー	-ス 6		_		_	
										I.									♦	教員	の自己	評価
							죰	価項	目						教員 自己記			生の 西平均	1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	1) 9	勉引	鱼し	やす	トレバ	雰囲	気づくり	りに配	慮しまし	<i>たか。</i>					5		3	.00				
受講態	2	事詞	前学	習?	や課	題を	1週当7	たり平	均でど	れぐらい課	しまし	たか。		(60分種	呈度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 16.7%	30分 程度 16.7%	ほとんど していない 66.7%	無回答
度	ま ③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。											;	30分和	呈度	120分 90分 以上 程度		60分 程度 16.7%	30分程度	ほとんど していない 83.3%	無回答		
授	受 ④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。											5		2	.00							
業内容	大											や ^ス 高か、	•	非常に 高かった 16.7%	高かった	適切 であった 16.7%	やや 低かった 33.3%	非常に 低かった	無回答			
授	6	学生	主に	分だ	52198	やすい	/説明	を心か	ぶけまし	たか。					5		2	.33				
業の進	⑦ ±	授美	業の	進行	うを!	妨げ	る行為	に対し	ンて注意	tをしていま	 ました:	か。		注	意して	ていた	注意する 必要は なかった	注意 していた -	ある程度 注意 していた 33.3%	あまり 注意して いなかった 50.0%	全く 注意して いなかった 16.7%	無回答
め方	8 2	学生	生の	理角	解度	を配	慮しな	がら授	美業を進	めましたか	70				4		2	.50				\langle
総合			ミに弟 か。	折しい	ハ知詞	識や打	技術を与	え、問	題意識や	P関心を高め	つること	ができた	と思い	()	4		2	.00				\Diamond
評価	10 3	_ O,)授	業に	は学生	生の	将来に	役立~	つと思い	ますか。					5		2	.50				
1 <u>T</u>	受 <u>業</u> 改	文書	<u> </u>	<u>) </u>	<u>天</u>																	
2 7	アンケ		· 卜 糸	吉果	して	<u>対す</u>	⁻ る見 <u>/</u>	解														

科目名称 : 音楽 I 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目

授業コード : 55304ad·be 授業形態 : 演習 受講者数 : 10名 回答者数 : 8名

		学	年				学科•	コース		
□ <i>k/c</i> ± <i>c</i> .						生活未来科	•	116-64-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	7	-	1	1	_	_	-	7	-	1

					♦	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生 評価	_	1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.5	50				•
受講	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	60分程度	120分 以上	90分 程度	60分 程度	,—,-	ほとんど していない	無回答
態			12.5%	25.0%	12.5%	50.0%	-	_
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	60分程度	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答
	S PRIE (INVESTIGATION) CONTROL IN COROLLING	00万亿人	12.5%	25.0%	25.0%	37.5%	-	-
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.1	13				•
業内	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切	非常に 高かった	やや 高かった	適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答
容		であった	12.5%	37.5%	50.0%	-	-	-
授業	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.7	75				\
来の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 37.5%	注意 していた 62.5%	ある程度 注意 していた	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった -	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.6	63				\
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.2	25				
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	5.0	00				

1 授業改善の工夫

音楽 I は個人レッスンとクラス授業で構成されている。今年からクラス授業では今後(音楽 II や保育表現)必要なこと知識として 学び、個人レッスンを待っている間はML教室を使い個別に練習する時間が確保できるようになった。忙しい学生や、初心者で一人 では練習方法が分からない学生にとってはこの時間がとても貴重な練習時間でもあるようで、改善の成果が出ているように思う。

2 アンケート結果に対する見解

とても好意的なアンケート結果を頂いたと思う。意欲的な学生ばかりだったことに加えて、この授業は個別レッスンなので授業の雰囲気は乱れる事無く進められた。また、個人のレベルや習熟度にあった指導が出来るので、その点もアンケートに繋がったのだと思う。音楽Iの授業の必要性を感じてくれているようではあるが、なかなか練習時間を確保することが難しい学生、または一人で練習することが出来ない学生も多いのでその点の一層のフォローが必要だと感じた。

教員名 : 大西 有紀 職名 : 非常勤 所属 : 地域こども学科

科目名称 : 音楽 I 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目

<u>授業コード : 55304aa・bb 授業形態 : 演習 </u> <u>受講者数 : 12名 回答者数 : 11名</u>

		学	年		学科・コース					
□ <i>k/c</i> ± <i>c</i> .						生活未来科	•	116-64-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	11	-	-	-	_	_	-	11	-	-

				_ ◇ 教員の自己評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	学生の評価平均 1 2 3 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.09	•
受講	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	120分以上	120分 90分 以上 程度	60分 30分 ほとんど 程度 程度 していない
態			18.2% 9.1%	36.4% 27.3% 9.1% -
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	60分程度	120分 90分 以上 程度	60分 30分 ほとんど 無回答 程度 程度
		30,30	18.2% 9.1%	36.4% 18.2% 18.2% -
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.64	
業内	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切	非常に やや 高かった 高かった	適切 やや 非常に 無回答 低かった 低かった
容		であった	27.3% 27.3%	6 36.4% - 9.1% -
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.64	
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 45.5% 54.5%	していた いなかったいなかった
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.64	
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.64	•
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.91	

1 授業改善の工夫

個々のレベルに応じて細やかな指導をしてゆかねばならないと感じている。 学生のウィークポイントを的確に見抜き、限られた時間内で充実した授業展開を心がけたい。

2 アンケート結果に対する見解

予習、復習にあてる時間が少ないと思った。 限られた時間内で効率良くレッスンを進めるにはそれなりの完成度をもって授業 に臨まねばならない。 日々の練習法、事前・事後学習の重要性を指導してゆきたい。

教員名 : 宮田 眞理 職名 : 非常勤_ 所属: 地域こども学科

科目名称 : 音楽 I 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目

授業コード : 55304ac·ce 授業形態 : 演習 <u> 受講者数 :</u> 12名 回答者数 : 11名

		学	年		学科・コース					
□ <i>k/c</i> ± <i>c</i> .						生活未来科	•	116-64-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	11	-	-	-	_	_	-	11	-	-

				<	〉 教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	7 -	■ 学生 1 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.73				\
受講	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	120分以上	120分 90 以上 程			ほとんど していない	無回答
態			18.2% 18.	2% 45.5	% 18.2%	-	-
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	120分以上	120分 90 以上 程			ほとんど していない	無回答
		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	18.2% 27.	3% 45.5	% 9.1%	-	-
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.45				\
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	非常に	非常に や 高かった 高か			非常に 低かった	無回答
容		高かった	- 18.	2% 81.8	% –	-	-
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.73				•
業の進	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 54.5% 18.	たしてい	注意して いなかった	全く 注意して いなかった -	無回答
カ方	② 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.73	21.0	70		
		ð	4.13				
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.73				♦
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.91				\

1 授業改善の工夫

ピアノは予習、復習ができていないとなかなか課題のクリアは難しい。 少しでも予習がしやすくなるように譜読みや演奏のポイント等を的確に指導したい。 時間の経過と共に少しずつ課題に取り組む姿勢にばらつきが出てくるので、常に学生が前向きに 取り組めるよう気を配りたい。

2 アンケート結果に対する見解 アンケートでは課した宿題の予習・復習時間をいつも重視しているが、なかなか期待している時間には達していない。自発的に ピアノ練習に取り組めるよう、授業の工夫をしたいと思う。

科目名称 : 音楽 I 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目

授業コード : 55304ab・cc 授業形態 : 演習 受講者数 : 12名 回答者数 : 12名

		学	年		学科・コース					
□						生活未来科		116-14-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	12	-	_	_	-	_	-	12	_	_

					♦	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生0 評価平		1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.33					♦
受講	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	90分程度	以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答
態度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	120分以上	120分 9	8.3% 90分 程度	33.3% 60分 程度	16.7% 30分 程度	ー ほとんど していない	無回答
	● 学復子自下床風で1週目にり十均 C 240C りV 味じよじにが。	120分以上	41.7%	8.3%	41.7%	8.3%	-	-
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.75					•
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった		ややかった	適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答
谷		(0)-21	8.3% 1	6.7%	75.0%	-	-	
授業	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.92					\limits
果の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	必要は なかった し	ていた	ある程度 注意 していた 25.0%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	5.00					\
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.67					\langle
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.91					\

1 授業改善の工夫

ピアノ演奏技能の向上には日々の弛まぬ練習の積み重ねが必要なので、目標を持って努力し、その成果を感じることで、ピアノを演奏することが、学生本人の喜びとなるように指導していきたい。もうワンランク上を目指す気持ちを育てていきたい。 具体的には、限られたレッスン時間なので、次回の授業までの課題と練習方法を明確に示して、学生が達成感を感じつつ練習に取り組んでいけるように工夫して指導していく。

2 アンケート結果に対する見解

受講態度の項目では、全体として事前事後の練習時間を確保して努力している学生が約半数程度いることが窺えて、この結果は学生たちが力をつけていっている様子と重なる。 またほとんどの学生が自分の将来を意識して授業を受け、積極的に努力していることがわかる。ピアノを弾くことが楽しく、また嬉しいと感じてくれる学生が増えていくことは、保育の現場で良い保育者となっていくことに大いに役立つと思う。音楽Ⅱも引き続き日々の練習を重ねて実力をのばして欲しい。

教[教員名 : 吉田 直子							<u> </u>	講師	ĵ	<u>所</u>	禹 :	地域	こども言	<u> 学科</u>
<u>科</u> 目	1名称	:音楽	I				<u>科</u>	ままり ままり ままり ままり はっぱい はいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま はい	: 地	域こと	も学科	専門	教育科	·目	
<u>授美</u>		: 55304	4ba•ca	授業	形態 :	演習	<u>受</u> 詞	<u> </u>	:	12:	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	10名
			学	年						学科・コ	コース				
	答者	1回生	2回生	その他	無回答			未来科	ビジ	ネス	地域こ		その他	4111-	回答
F	勺訳	1周王			無固合	生活福祉コース		が栄養 一ス	キャ	リア	学科	ŀ '	CONE	7.18	
		10	_	_	_	_		_		_		10			
			評	価項目				教員 自己部			生の i平均	1		の自己 の評価 3	
	① 免	か強しやすい:	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4		4.	.40				•
受講態	2 4	事前学習や課	題を1週当た	り平均でどれ	れぐらい課し	ましたか。		120分以	以上	120分 以上 -	90分 程度 30.0%	60分 程度 50.0%	30分 程度 20.0%	ほとんど していない -	無回答
度	3	事後学習や課	題を1週当た	_り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		120分以	以上	120分 以上 -	90分 程度 40.0%	60分 程度 40.0%	30分 程度 20.0%	ほとんど していない -	無回答
授	④ 耄	対書、プリント、	視聴覚教材()	 ごデオなど)を、	授業の理解に	こ活用しましたか	, o	5		4.	.60				
業内容	5 3	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	刃でしたか。			やや	•	非常に 高かった 20.0%		適切 であった 30.0%	やや 低かった 20.0%	非常に 低かった -	無回答
授業	6 =	牟生に分かり	やすい説明を	こ心がけまし	たか。			4		4.	.70				\
未の進め	⑦ ±	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	きしていまし	したか。		注意で必要なかっ	は	注意する 必要は なかった 70.0%	注意 していた 10.0%	ある程度 注意 していた 10.0%	あまり 注意して いなかった 10.0%	全く 注意して いなかった -	無回答
方	_	を生の理解度						4		4.	.80				\langle
総合語		生に新しい知 さか。	識や技術を与	え、問題意識や	?関心を高める	らことができたと	思い	4		4.	.50				♦
評価	10 3	の授業は学	生の将来に行	殳立つと思V	ますか。			4		4.	.80				♦
1 3	受業改	(善の工夫													
2 7	アンケ	ート結果に	対する見角	星											

科目名称 : 音楽基礎演習 I (ソルフェージュ) 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目

授業コード : 55400a・ab・b・ba 授業形態 : 演習 受講者数 : 69名 回答者数 : 64名

		学	年		学科・コース					
回答者	1 E	o 🗔 // .	7 0 11.	Aur Control		生活未来科		地域こども	7 0 11.	for the
内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	学科	その他	無回答
	64	-	-	-	_	_	-	64	-	-

					\Diamond	教貝	の目己	部"加	
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		1	■ 学生 2	の評価 3	-	5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.11					\(\)	
受講	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度			60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	1
態			7.8% 4.	7% 2	6.6%	34.4%	26.6%	-	
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度			60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	
		,	7.8% 6.	3% 3	5.9%	31.3%	18.8%	-	
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.49						Ş
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切			適切 あった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答	1
谷		であった	4.7% 34	.4% 4	6.9%	14.1%	-	-	
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.60					\langle	Ī
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	必要は なかった して	いたし	る程度 注意 ていた 5.6%	あまり 注意して いなかった 1.6%	全く 注意して いなかった	無回答	
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.43					♦	Ī
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.30					♦	
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.78					♦	

1 授業改善の工夫

自由記述が多く書かれていた音楽基礎演習Iについて回答する。この科目は、学生のピアノ稽古事経験等の差が大きく、クラス授業をするうえで教員も非常に神経を使っている。 ピアノ実技の演習は、読譜だけでもト音記号は読める、へ音記号も読める、スラスラ読める、数え数え読めるなどの多くの段階があり、リズムについても同様である。さらに読みとった内容を弾く段階でも、柔軟な指からこわばって動かない指までこれもさまざまである。そこでピアノ実技ができるだけスムーズに進められるようにこの科目でピアノを弾く以前の準備を丁寧におこなっているつもりである。「基礎演習」であるので全くの初心者でもついてこられるように丁寧に進めているため、わかりやすい、学びやすいという記述が多かったことでひとまず安心した。ただ一部の学生の記述のように、ピアノ稽古事経験があり内容が易しすぎると感じていた学生数人の私語が多かった。ただ実情は他の学生が熱心なため授業中浮き上がっている状況であり、前期を終えてみると結果的にテストの出来が良くなく、その数人は後期は初心者クラスに転落する。度々注意はしてきたが、油断をしていたら初心者に追い抜かれることを自覚させるように促したい。学生の提案する座席指定については、学ぶ意欲に比例して席を選ぶ自由を学生に与えたいと考えているので、必要に迫られるようなら適宜考えたい。また、プリントで振り返りをしたいという記述があったが、オリジナルテキストがほぼ私の指導内容を反映しており、前期は学習内容が記憶する事項というより、理解した内容を身体で反応する能力開発が授業内容の主流であったので、後期にプリントで振り返る必要があるような理解事項がある時は適宜準備したい。

2 アンケート結果に対する見解

アンケートでは1週当たりの事前学習時間が平均約40分であり、事後学習時間は46分であった。このことから「音楽基礎演習 I」により、全くの初心者でも自分で学習できるように楽譜の読み方や弾き方などの足掛かりを作るという授業目的は、ほぼ達せられていたように思う。「自分の将来に役立つと思うか」という質問にも平均4.78で8割が5の「そう思う」と答えていたことから、実践的であると捉え意欲的に学習していたのだと思われる。授業レベルについて「非常に高かった」から「やや低かった」まで幅が広がっているのはこの授業の難しさを表しているが、初心者クラスと経験者クラスを慎重に分け、ある程度能力別に授業内容を対応させているので、現状ではこれが精一杯の工夫と考えている。選択設問に関しては、いつも適切な設問が無く、何を訊くか戸惑う。まだピアノ実技の前段階の準備を行なっている授業のアンケートで「学外実習に役立つか」訊いたのは、設問の選択ミスだったと反省している。

数昌の白口郵便

教員名 : 中島 倍代 職名 : 非常勤 所属: 地域こども学科

科目名称 : 音楽基礎演習 I (理論) 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目

授業コード : 55400bb · bc 授業形態 : 演習 <u> 受講者数 :</u> 30名 回答者数 : 29名

		学	年				学科•	コース		
□						生活未来科		116-14-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	29	-	_		-	_	-	29	_	_

					♦	教員	の自己	評価	
	評価項目	教員の 自己評価	学生(評価平		1	■ 学生 2	の評価 3		5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.38	3				♦	
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	以上	90分 程度 6.9 %	60分 程度 24.1%	30分 程度 24.1%	ほとんど していない 37.9%	無回答	
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	以上	90分 程度 6.9%	60分 程度 20.7%	30分 程度 20.7%	ほとんど していない 41.4%	無回答	
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.50)					>
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	高かった高	やや 5かった 31.0%	適切 であった 51.7%	やや 低かった 3.4%	非常に 低かった -	無回答 3.4%	
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.62					•	
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	必要は なかった し	注意 ていた 34.5%	ある程度 注意 していた 13.8%	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答	
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.67	7					>
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.55	5				♦	
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.83	3				\lambda	

1 授業改善の工夫

・伝える内容を 盛り込みすぎない。 ことを作業を通して定着させる。 ・グループが2つあるので 理解度に合わせてグループ分けを調整する。 ・説明した

2 アンケート結果に対する見解 理解度に差があり、どのレヴェルの説明をするかが難しいといつも思っている。 アンケートの意見を見ると、スピードが速すぎると感じる人 もっと進みたかったと感じる人 ちょうど良かったと感じる人 と様々である。 今年は 理解度に従って課題に差を設けたが まだ充分ではなかったようだ。 もっと工夫の余地があると思う。

教員名 : 玉井 奈摘 職名 : 非常勤 所属 : 地域こども学科

科目名称 : 音楽Ⅲ 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目

授業コード : 55321ab <u>授業形態 : 演習 </u> 受講者数 : 6名 回答者数 : 6名

		学	年		学科・コース					
□ k/c ±/.						生活未来科	•	116-64-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	_	6	_	-	_	_	-	6	_	-

					♦		の自己		
	評価項目	教員の 自己評価	学生(評価平	-	1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 :	5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.83	3				\	
受講	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	90分程度	以上	90分 程度	60分 程度	30分程度	ほとんどしていない	無回答	
態度		00 // 48 ===		- 90分 程度	16.7%	16.7%	33.3% ほとんど していない	無回答	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	90分程度	33.3%	1主/文	16.7%	16.7%	33.3%	-	
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.83	3	-				}
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった		やや あかった	適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答	
容		(8)3/1	16.7%	33.3%	50.0%	_	_	-	
授業	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.83	3				•	
果の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	必要はなかったし	注意 ていた 16.7%	ある程度 注意 していた	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答	
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.67	7				\langle	
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.67	7				\langle	
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.83	3					>

1 授業改善の工夫

音楽Ⅲの課題に加え、表現の課題、実習の課題と取り組むものが沢山あり大変な様子だったがよく頑張っていたと感じる。全ての課題の譜読みを同時進行しなければならず、そうなるとまだまだ楽譜を一人で読むことができない学生が投げ出してしまいそうな雰囲気すらあった。一人で読む力をつけて欲しいという考えから、敢えて新譜の説明はせず次回の課題として出していたが、各々の力量をみて譜読みが苦手な学生には説明してから渡すようにしていた。しかし、レッスン時間は一人ひとり時間設定があることから充分なケアができていなかったように思う。表現の担当の先生にも連絡、相談し、ML授業での練習時に注意してみて頂けるよう連携を取っていきたい。

2 アンケート結果に対する見解

ピアノの進度、上達において練習時間との関係性は切っても切れない関係であり、常々その話はしていたが、ピアノが苦手な学生ほど練習時間が少ないように感じる。今年度の音楽ⅢはML授業がなかった為、レッスンを受けている者以外は練習室で個人練習時間となったが、②③の練習時間はその授業ない練習時間が含まれていて、実際にはもう少し少なかったんではないかと思う。数年前は練習室の利用しているのをよく見かけたが、近年は減ってきている。⑪に関しては具体的な記述がなかったが、他の科目の課題や提出物が多く、音楽も表現の授業があるため中々時間がとれないとの声がよく聞かれた。

科目名称 : 音楽Ⅲ 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目

<u>授業コード : 55321ad 授業形態 : 演習 受講者数 : 6名 回答者数 : 5名</u>

		学	年				学科•	コース		
						生活未来科	•	14.1-4-131		
回答者 内訳	1回生 2回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
		5	_	_	_		_	5	_	_

					♦	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生 評価		1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	3.8	80				
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	120分以上	120分 以上 40.0%	90分 程度 40.0%	60分 程度 -	30分 程度 -	ほとんど していない 20.0%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	120分以上	120分 以上 40.0%	90分 程度 40.0%	60分 程度 -	30分 程度 -	ほとんど していない 20.0%	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.2				20.0%	
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 20.0%	やや 高かった 20.0%	適切 であった 60.0%	やや 低かった	非常に 低かった	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.2		00.0%			
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 40.0%	注意 していた -	ある程度 注意 していた 60.0%	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.2	20				•
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.2	20				
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.2	20				

1 授業改善の工夫

この授業は、ピアノ初心者であった学生が、2回生でもピアノ実技のレッスンを受ける為に選択したというケースが多い。課題曲は「音楽Ⅰ・Ⅱ」に続くピアノ曲である。2回生前期には同時に「保育(表現・音楽)」も履修するので、弾き歌い曲も並行して練習せねばならず、週2回の実技授業は、練習がなかなか大変である。そこで、本授業では、予習の手助けがかなり必要であると思われる。ポイントだけでも実際に弾けるまで指導しておくか、または、録音・録画しておくことも有効である。

2 アンケート結果に対する見解

⑥⑧の「教員の説明の仕方はわかりやすかったか」「学生の理解度を配慮しながら授業を進めていたか」という質問に対する回答が、こちらの思いよりも低かったのが残念だ。「そう思う」が60%ではなく、100%を目指したい。教員に対する依存度の高い学生にとっては、自立を促した教え方が「ある程度」の選択肢を選ぶ要因となるのだろうか。どのような学生も「わかりやすい」と感じる授業を目指したい。

科目名称 : 学習・発達論 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目

授業コード: 52002ab <u>授業形態: 講義</u> <u>受講者数: 81名</u> <u>回答者数: 69名</u>

		学	年				学科•	コース		
□						生活未来科		116-14-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	69	-	_		-	_	-	69	_	_

					教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		-	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.09				\
受講	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	60分程度	120分 90 以上 程		30分 程度	ほとんど していない	無回答
態			5.8% 4.	3% 13.0%	27.5%	47.8%	1.4%
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	60分程度	120分 90 以上 程		30分 程度	ほとんど していない	無回答
		,	4.3% 7.	2% 14.5%	26.1%	47.8%	-
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.48				\
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切	非常に や 高かった 高か		やや 低かった	非常に 低かった	無回答
容		であった	14.5% 49	.3% 36.2%	_	-	-
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.38				•
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	0		注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.31				•
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	5	4.17				•
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.45				—

1 授業改善の工夫

本講義は、発達心理学・教育心理学の内容を講義する科目ゆえ、ほとんどの学生が初めて心理学を学ぶことを想定して、子どもの発達のプロセスや心理的な特徴をわかりやすく伝える工夫を行った。また、教科書を使用して授業を進めているが、内容に最新の心理学の知見が反映されていない箇所(例えば発達障がいの理解)があるため、適宜補助プリントを使用して講義を展開した。学生の居眠り防止のために、毎回講義の内容に即した教員個人の経験談を話す時間を設けた。

2 アンケート結果に対する見解

上記の改善の工夫が、学生に伝わっていたことが、アンケートの結果からわかった。(例えば、評価項目の④、⑥、⑩、⑪でそう思うが半数以上)しかし、一方で授業を通じて新しい知識や技術が得られ、問題意識や関心が高くなったか、という項目では、評価がやや低かった。これについては、当該科目の性質上古典的な発達理論や学習理論も、シラバスの中に組み込まれており、それが影響していることが考えられる。また、理論系の科目でもあるため、学生の問題意識の醸成までに至らなかった可能性も指摘できる。

教員名 : 藤田 悦代 職名 : 教授 所属 : 地域こども学科

科目名称 : カリキュラム論 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目

授業コード : 53002ab <u>授業形態 : 講義</u> <u>受講者数 : 71名</u> <u>回答者数 : 64名</u>

		学	年				学科•	コース		
□						生活未来科		116-14-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	64	-	_	_	-	_	-	64	_	_

				♦	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.25				\rightarrow
受講:	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	60分程度	120分 90分 以上 程度	60分程度		ほとんど していない	無回答
態度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	60分程度	4.7%7.8%120分90分以上程度	18.8% 60分 程度	30分	43.8% ほとんど していない	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	6.3% 9.4% 4.61	18.8%	26.6%	39.1%	_
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に やや 高かった 高かった 9.4% 12.5%		,	非常に 低かった	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.64	10.0%	0.170		—
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 40.6% 42.2%	していた		全く 注意して いなかった	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.67				\
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.41				•
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.75				—

1 授業改善の工夫

教科書とプリント資料を併用させながら、反復授業や振り返りを行い、具体的にわかりやすい授業づくりを心がけ、学生の理解度を配慮しながら進めていくように工夫する。

2 アンケート結果に対する見解

保育内容の充実と質の向上について、保育現場での様子やエピソードを取り入れながら、分かりやすく伝える。指導計画の作成については、保育実習に役立つよう、学生の理解度を配慮しながら進め、学生の思いや考えを出しやすい雰囲気づくりを心がける。

教員	名	<u>: 北村</u>	職/	<u> </u>	講帥		<u></u> 所	禹 :	<u>地域</u>	こどもき	<u> </u>				
科目	名称	: 教育	実習指導b				<u>科</u>	群 :	地	域こど	も学科	専門	教育科	- 目	
授業	ミコード	: 5710	4	授業刑	影態 :	演習	<u>受</u> 詞	<u> </u>	:	49/	<u> </u>	<u>回答</u>	者数	<u>: </u>	<u>45名</u>
		I	224	年		1			<u>د</u>	学科・3					
	答者 引訳	1回生	2回生	年 その他	無回答	生活福祉コース	食物	未来科の栄養ース	ビジュキャリュー	ネスリア	地域に学科		その他	無	回答 2
≫ ¼	田の形	として入って		_	け記えしまし	<i>t-</i>									
** **********************************	 			価項目	り記入しまい	∠I⊂ ₀		教員(自己評		学 学 評価		1	■ 学生の評価平均		
	① 勉	か強しやすい.	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			5		4.	31				\
受講 ② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。 態態								-		120分 以上 13.3%	90分 程度 6.7%	60分 程度 6.7%	30分 程度 13.3%	ほとんど していない 60.0%	無回答
度 ③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。								-		120分 以上 13.3%	90分 程度 6.7%	60分 程度 13.3%	30分 程度 8.9%	ほとんど していない 57.8%	無回答
授 ④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。							,°	_		4.	76				
業内容	(5) C	の授業のレー	ベルは、学生	にとって適り	刀でしたか。			-		非常に 高かった 15.6%	やや 高かった 24.4%	適切 であった 60.0%	やや 低かった	非常に 低かった	無回答
授業	⑥ 学	生に分かり	やすい説明を	と心がけました	たか。			_		4.	71				
業の進め	⑦ 授	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	たか。		注意して		注意する 必要は なかった 24.4%	注意 していた 64.4%	ある程度 注意 していた 11.1%	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった -	無回答
方	8 学	生の理解度	を配慮しなれ	ぶら授業を進	めましたか。			_		4.	67 <				
総合		生に新しい知	識や技術を与れ	え、問題意識や	・関心を高める	ことができたと	思い	_		4.	71				
評価	10 =	の授業は学	生の将来に	设立つと思い	ますか。			-		4.	84 <				
1 1	受業改	善の工夫													
2 7	アンケ	ート結果に	対する見角	军											

 100
 奈良佐保短期大学

 - 100 - 100

教員	名	:增井	啓子		職	名 : 教授	<u> </u>	<u>所</u>	属 :	地域	こども言	学科			
<u>科</u> 目	名称	: 教育	実習指導b				<u>科</u>	目群 : 地	域こど	も学科	専門	教育科	目		
授業	ミコード	: 5710	4	授業	珍態 :	演習	受	講者数 :	49:	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	<u>45名</u>	
			学	年		Π			学科•=	コース					
	答者	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	未来科 勿栄養 ース ^{ビジ}	リア	地域こ。 学科		その他	無	回答	
		-	44	1	_	_		-	-		43		_	2	
評価項目								教員の 自己評価		生の 平均	◆ 教員の自 学生の 割 1 2 3				
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし		5	4.	31				\			
受講態	② 事	手前学習や課		30分程度	120分 以上 13.3%	90分 程度 6.7%	60分 程度 6.7%	30分 程度 13.3%	ほとんど していない 60.0%	無回答					
度	③ 事	4後学習や課	!題を1週当た	_り平均でどえ	1ぐらい課し	ましたか。		30分程度	120分 以上 13.3%	90分 程度 6.7%	60分 程度 13.3%	30分 程度 8.9%	ほとんど していない 57.8%	無回答	
授業	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材(1	ごデオなど)を、	授業の理解に	ニ活用しましたか	, .	5	4.	76				\	
来内容	(5) Z	の授業のレー	ベルは、学生	にとって適り	刀でしたか。			適切 であった	非常に 高かった 15.6%	やや 高かった 24.4%	適切 であった 60.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答	
授業	⑥ 学	生に分かり	やすい説明を	と心がけました	たか。			5	4.	71				\	
未の進め	⑦ 授	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	<i>たか</i> 。		注意していた	注意する 必要は なかった 24.4%	注意 していた 64.4%	ある程度 注意 していた 11.1%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答	
方	,		を配慮しなか					5	4.	67				†	
総合		生に新しい知	識や技術を与れ	え、問題意識や	·関心を高める	ことができたと見	思い	4	4.	71				•	
評価	10 =	の授業は学	生の将来に往	公立つと思い	ますか。			5	4.	84				\diamond	
1 1	受業改	善の工夫													
2 7	アンケ	ート結果に	対する見角	4											

 101
 奈良佐保短期大学

 - 101 - 101

教員名 : 谷岡 義高 職名 : 非常勤 所属 : 地域こども学科

科目名称 : 教職入門 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目

		学	年				学科•	コース		
						生活未来科	•	116-14-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	10	_	-	_	_	_	-	10	_	_

					教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	7 1	■ 学生	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.50				•
受講	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 90% 以上 程	度 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答
態度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	60分程度	10.0% - 120分 90g 以上 程	分 60分	60.0% 30分 程度	20.0% ほとんど していない	無回答
			10.0%	10.09	70.0%	10.0%	
授業	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.80				\Diamond
未内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に や 高かった 高か・		やや 低かった	非常に 低かった	無回答
谷		(0)31	10.0% 30.	0% 60.0%	-	_	
授業	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.40				•
果の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 100.0% -		あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった -	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.30				♦
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.60				•
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.60				\limits

1 授業改善の工夫

10人程度の学習なので、学生が模造紙に調べてことを書いて発表する機会を与え、全員が発表することができた。意欲的に取り組んでいたように思う。相互の学習の時の黒板記録を学生にさせて、将来教師になった時の、板書経験を深めた。実際の小学校の授業風景や集会発表風景、また、子どもの日記などを実ながら、子ども達の資質能力を高めるための方策を考え合うことができた。

2 アンケート結果に対する見解

教え込みの教育ではなくて、主体的な学習を伝えることに力をいれてきたが、ある程度学生に理解してもらったように思う。現場の教師が書いた授業実践のテキストを活用したので、具体的に授業の進め方を学び合うことができた。学生たちは、真剣に取り組んでいたと思う。教員になる学生のための講義の形式を更に模索したい。

教員	名	: 宮川				職/	名:	教授	₹	<u>所</u>	属 :	地域	こども	<u>学科</u>	
<u>科</u> 目	名称	:国語					<u>科</u>	目群 :	: 地	域こと	も学科	▶ 専門	教育科	目	
<u>授業</u>	ミコード	: 55000)a	授業	形態 :	講義	<u>受</u> i	<u> 講者数</u>	:	10:	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	10名
			学	年					:	学科・コ	コース				
	答者 勺訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉	1	未来科	ビジ	小 へ	地域こ。 学科		その他	無	回答
	1 H/ C	10		_	<u></u>	コース	コ、	ース	キャ		J 1 1	10			
						<u> </u>						_ 💠	教員	<u>-</u> の自己	 評価
			 評·	価項目				教員 自己割			生の i平均	1		の評価 3	
	① 勉	対強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	<i>」たか。</i>			5		4.	.20				
受講態	② 事	耳前学習や課	:題を1週当た		れぐらい課し	ましたか。		30分程	呈度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度	30分 程度 40.0%	ほとんど していない 60.0%	無回答
度	③ 事	再後学習や課	題を1週当た	\exists	30分程	呈度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 10.0%	30分 程度 30.0%	ほとんど していない 60.0%	無回答			
授	④ 教	- :科書、プリント、	視聴覚教材()	 ビデオなど)を	、授業の理解に	こ活用しましたか),,	5		4.	.60	10.0%	00.0%	00.070	
業内容	(5) Z	の授業のレイ	ベルは、学生	1	やや 高かっ	•	非常に 高かった	やや 高かった 50.0%	適切 であった 50.0%	やや 低かった	非常に 低かった	無回答			
授	⑥ 学	生に分かりゃ	 やすい説明を	· と心がけまし	たか。			4		4.	.10				\
業の進め	⑦ 授	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	 気をしていまl	したか。		注意が必要なかっ	は	注意する 必要は なかった 30.0%	注意 していた 50.0%	ある程度 注意 していた 20.0%	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答
め方	⑧ 学	生生の理解度	を配慮しなれ	バら授業を進	めましたか。	1		4		4.	.20				•
総合		生に新しい知言 すか。	識や技術を与え	え、問題意識や	や関心を高める	ることができたと	思い	4		4.	.20				
評価	10 -	の授業は学生	生の将来に往	殳立つと思v	ますか。			5		4.	.50				
1 1	受業改	善の工夫													
2 7	アンケ	ート結果に	対する見角	星											

教員名 : 重松 敬一 職名 : 非常勤 所属 : 地域こども学科

科目名称 : 算数 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目

<u>授業コード: 55140 授業形態: 講義 受講者数: 10名 回答者数: 10名</u>

		学	年				学科•	コース		
						生活未来科	•	116-64-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	10		_	_	_	_	-	10	_	

				_ ◇ 教員	の自己記	泮価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	■ 学生 1 2	の評価 ³	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.10			\
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 90分 以上 程度	60分 程度 程度 20.0% 50.0%	ほとんど していない 30.0%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	60分程度	120分 90分 以上 程度	60分 程度 程度 10.0% 40.0%	ほとんど していない 50.0%	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.30			\rightarrow
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に やや 高かった 高かった 20.0% 40.0%	,	非常に 低かった -	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	3.90			\
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 40.0% 30.0%	ある程度 注意 していた 30.0% - あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった -	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	3.80			\
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.00			\rightarrow
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.30			•

1 授業改善の工夫

社会人入学でない学生にとっては、高校からの座学や理解・記憶中心の学びの態度が大きいために、算数科教育の実践に興味関心と問題意識をもたせ、自ら活動するように講義中に教科書の調べ学習、教材研究の課題や宿題を課したが、小学校教員としての意識や目的がはっきりしていない学生も多く、なかなか自主的な学びを促進するまでには至らなかった。それでも、以前に比べて、調べたり、探究したりするなどの具体的な活動を促すように授業の改善を図った。

2 アンケート結果に対する見解

授業者の期待する算数への学びの達成と学生の実感した学びの内容には、説明の方法や工夫だけではギャップがあるようなので、学生の意識できる算数の具体的な状況や課題を手がかりに、具体的な学習内容と、学習方法としての調べ学習や探究学習、受講生同士の対話のある学びの環境作りに一層心がけたいと考えている。

教員	名		: 梓川					職	名 :	准教	授_	<u>所</u>	禹 :	地域	こどもき	<u> </u>
科目	名移	<u></u>	: 実習	基礎指導(教育実習)			<u>科</u>	目群 :	地	域こど	も学科	専門	教育科	·目	
<u>授業</u>	ミコー	ド	: 5700	4	授業	形態 :	演習	<u>受</u>	講者数	:	60=	<u>名</u>	回答	者数	:	54名
				学	年					Ä	学科・コ	コース				
	答者 引訳		1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	未来科 物栄養 ロース	ビジュキャリ	リア	地域こ。 学科		その他	無	回答
		_	54		-	-	_		-		-		53			1
※ 才	ムニノ	バフ	*形式での-		てのチェック	です。			教員の 自己評			生の 平均	1		<mark>の自己</mark> の評価 3	
	1	勉	強しやすい	雰囲気づく	こに配慮しまし	たか。			5		4.	52				\
受講態	2	事	前学習や調	県題を1週当7	たり平均でど;	れぐらい課し	ましたか。		60分程	度	120分 以上 7.4%	90分 程度 5.6%	60分 程度 38.9%	30分 程度 16.7%	ほとんど していない 31.5%	無回答
度	3	事	後学習や調	関を1週当 7	たり平均でど;	れぐらい課し		120分以	人上	120分 以上 7.4%	90分 程度 11.1%	60分 程度 37.0%	30分 程度 16.7%	ほとんど していない 27.8%	無回答	
授	4	教和	斗書、プリント	、視聴覚教材(ビデオなど)を	授業の理解に	,°	5		4.	61				-	
業内容	⑤	٥.	の授業のレー	ベルは、学生	Eにとって適 ^し		適切 であっ		非常に 高かった 9.3%	やや 高かった 35.2%	適切 であった 55.6%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答		
授	6	学	生に分かり	やすい説明	を心がけまし	たか。			5		4.	56				
業の進め	7	授	業の進行を	妨げる行為	に対して注意	きしていまし	たか。		注意して	いた	注意する 必要は なかった 14.8%	注意 していた 77.8%	ある程度 注意 していた 5.6%	あまり 注意して いなかった 1.9%	全く 注意して いなかった -	無回答
方	_				がら授業を進				5		4.	48				\
総合			生に新しい知 けか。	識や技術を与	え、問題意識や	?関心を高める	ことができたと	思い	5		4.	54				\downarrow
評 価	10	20	の授業は学	生の将来に	役立つと思い	ますか。			5		4.	89				\
1 技	受業で	<u> </u>	善の工夫													
2 7	アンク	<u> </u>	-ト結果に	対する見角	解											

<u>教</u> 員	[名	: 北村	麻樹		職	名 :	講師	<u> </u>	<u>所</u>	禹 :	地域	こども <u>*</u>	<u>学科</u>		
<u>科</u> E	名称	: 実習	基礎指導(<u> 教育実習)</u>			<u>科</u>	目群	: 地	域こと	も学科	専門	教育科	目	
<u>授業</u>	ミコート	÷ : 57004	4	授業	形態 :	演習	受	講者数	:	60:	<u>名_</u>	<u>回答</u>	者数	:	54名
				年		T			;	学科•	コース				
	答者 勺訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	未来科物栄養	ビジ キャ コー	リア	地域こ。 学科		その他	無	回答
		54	_	_	_	_		-		-		53	***	-	1
				価項目				教員 自己記			生の 近平均	1		の自己 の評価 3	
	① 免	勉強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	<i>たか</i> 。			5		4.	.52				
受講態	2 4	事前学習や課	題を1週当た		ーー れぐらい課し	ましたか。		30分種	呈度	120分 以上 7.4%	90分 程度 5.6%	60分 程度 38.9%	30分 程度 16.7%	ほとんど していない 31.5%	無回答
度	3 4	事後学習や課	提を1週当た		30分種	呈度	120分 以上 7.4%	90分 程度 11.1%	60分 程度 37.0%	30分 程度 16.7%	ほとんど していない 27.8%	無回答			
授業	④ 耄	数科書、プリント、	、視聴覚教材()	ビデオなど)を	授業の理解に	•0	5		4.	.61					
亲 内 容	5 3	この授業のレイ	ベルは、学生		適りであっ		非常に 高かった 9.3%	やや 高かった 35.2%	適切 であった 55.6%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答			
授業	6	学生に分かり	やすい説明を	と心がけまし	たか。			5		4.	.56				
未の進め	⑦ ž	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	<i>」たか</i> 。		注意して	ていた	注意する 必要は なかった 14.8%	していた	ある程度 注意 していた 5.6 %	あまり 注意して いなかった 1.9%	全く 注意して いなかった -	無回答
方	_	学生の理解度						4		4.	.48				•
総合語		学生に新しい知 きすか。	識や技術を与れ	え、問題怠識や	*関心を高める	ることができたと思	引い	4		4.	.54				♦
評価	10 3	の授業は学	生の将来に行	殳立つと思V	ますか。			5		4.	.89				
1 抄	受業改	弦善の工夫					_								
2 7	アンケ	ート結果に	対する見角	<u>军</u>											

教員	名	:增井	啓子				職	名 :	教授	<u>} </u>	<u>所</u>	禹 :	地域	こども生	<u>学科</u>
<u>科</u> 目	名称	: 実習	基礎指導(表	数育実習)			<u>科</u>	目群 :	地	域こと	も学科	専門	教育科	·目	
<u>授業</u>	(コー	ド : 5700 <u>-</u>	4	授業	影態 : :	演習	受	講者数	:	60:	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	54名
		<u> </u>		年		1			,	学科・3	コース				
	答者 引訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	未来科物栄養	ビジキャコー	ネスリア	地域この学科	ŀ	その他	無	回答
		54	-	_	_	_		-		-		53	<i>₩</i> , □		1
			評	価項目				教員 自己割			生の i平均	1		の自己 の評価 3	
	1) 9	勉強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4		4.	.52				\
受講態	2	事前学習や課	!題を1週当た	 り平均でどれ	てぐらい課し	ましたか。		30分程	建度	120分 以上 7.4%	90分 程度 5.6%	60分 程度 38.9%	30分 程度 16.7%	ほとんど していない 31.5%	無回答
度	3 1	事後学習や課	!題を1週当た	り平均でどれ	てぐらい課し		30分程	建度	120分 以上 7.4%	90分 程度 11.1%	60分 程度 37.0%	30分 程度 16.7%	ほとんど していない 27.8%	無回答	
授業	④ *	枚科書、プリント、	 視聴覚教材(t	 ごデオなど)を、	0	5		4.	.61						
来内容	5 3	この授業のレイ	ベルは、学生		適切であっ	-	非常に 高かった 9.3%	やや 高かった 35.2%	適切 であった 55.6%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答			
授業	6	学生に分かり	やすい説明を	 :心がけました	たか。			5		4.	.56				
未の進め	⑦ 扌	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	<i>たか</i> 。		注意して	いた	注意する 必要は なかった 14.8%	注意 していた 77.8%	ある程度 注意 していた 5.6 %	あまり 注意して いなかった 1.9%	全く 注意して いなかった -	無回答
方	_	学生の理解度						5		4.	.48				
総合証	9 3	学生に新しい知 ますか。				ことができたとほ	思い	4		4.	.54				♦
評価	10 3	この授業は学	生の将来に往	设立つと思い	ますか。			5		4.	.89				
		文善の工夫													
2 /	アンク	ート結果に	対する兄所	<u></u>											

<u>教</u> 員	名	: 藤田	悦代		職名	公 : 教	受	<u>所</u>	属 :	地域	<u>:こども:</u>	<u>学科</u>		
<u>科</u> [名称	: 実習	基礎指導(教育実習・	<u>小)</u>		<u>科</u> 目	群 : 」	也域こと	ども学科	┣ 専門	教育和	<u> </u>	
授第	ギコード	: 57006	6	<u>授業</u>	形態 :	演習	<u>受請</u>	<u> </u>	10)名_	<u>回答</u>	者数	<u>:</u>	10名
				年		T			学科•	コース				
	答者 勺訳	1回生	2回生	その他	無回答		食物	木食 キ	ジネス ヤリア ース	地域こ。 学科		その他	無	回答
		10						-	- <u>^</u> -		10			
			評	価項目				教員の 自己評価		生の 西平均	1	■ 学生	の自己 の評価 3	
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	したか。 			5	4	1.50				
受講態	② 事	4前学習や課	!題を1週当た	<u>-</u> り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		90分程度	120分 以上 10.0%	程度	60分 程度 20.0%	30分 程度 20.0%	ほとんど していない 40.0%	無回答
度	③ 事	移学習や課	- !題を1週当た	_ _り平均でどえ	ー れぐらい課し		90分程度	120分 以上 10.0%	程度	60分 程度 10.0%	30分 程度 20.0%	ほとんど していない 50.0%	無回答	
授業	④ 教	科書、プリント、	. 視聴覚教材(1	ビデオなど)を、	授業の理解に	,	5		1.70					
来 内 容	⑤ <u>C</u>	の授業のレイ	ベルは、学生	:にとって適り	刃でしたか。		適切 であった	非常に 高かった 10.0%	き高かった		やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答	
授業	⑥ 学	生に分かりゃ	やすい説明を	と心がけまし	たか。		\bot	5		1.70				
未の進め	⑦ 授	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	iをしていまし 	<i>」たか</i> 。		注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 70.0%	していた	ある程度 注意 していた 10.0%		全く 注意して いなかった -	無回答
方	_	生の理解度					\perp	5	4	1.60			-	
総合証	9 ま	生に新しい知言すか。	識や技術を与れ	え、問題意識や	♪関心を高める 	ることができたと思	,V)	5	4	1.70				
評価	10 =	の授業は学	生の将来に行	殳立つと思い	ますか。			5	4	1.80				
1 1														
2 7	アンケー	ート結果に	対する見角	星										

科目名称 : 児童館の機能と運営 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目

<u>授業コード: 53319 授業形態: 講義 受講者数: 7名 回答者数: 5名</u>

		学	年				学科•	コース		
□ <i>kk</i> +⁄.						生活未来科		116-14-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	I	5	-	-	-	_	_	5	ı	-

				♦	教員の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	1	学生の評価 2 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.80			♦
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 90分 程度 60.0% -		30分 程度 していない - 40.0%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 程度 60.0% -		30分 程度 していない - 40.0%	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.80			\
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に やや 高かった 高かった 20.0% -		やや 非常に 低かった 低かった	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.80			\
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 60.0% 40.0%	ある程度 注意 していた -	あまり 全く 注意して 注意して なかったいなかった	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	5.00			•
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.80			\langle
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	5.00			\langle

1 授業改善の工夫

現場の実践を多く交えながら理解を高めることを目標とした。少人数の授業の為、学生自身が考え、発言し、やりとりを行う授業を実施した。しかし、学生の興味関心の度合いが様々であったため、相互のやりとりの中での学び合いを生み出すことに苦労した。また、動画資料を多く活用し、興味関心を高める工夫を行い、毎回の授業で意見や感想を書いて、伝えるという工夫をした。

2 アンケート結果に対する見解

分かりやすい授業と、表面的な理解ではない深い考察につながる授業の両面を意識したが、どこまで深い考察につながったのかは疑問が残る。 事前の学習や事後のふりかえりについては、特に指示をしなかったが、興味を持って学習する学生もいた様子があった。授業の工夫によって、ある程度興味関心を高めることはできたのかと思う。

科目名称 : 社会的養護内容 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目

<u>授業コード : 53221ab ____ 授業形態 : 演習 ___ 受講者数 : 56名 ___ 回答者数 : 48名</u>

		学	年				学科•	コース		
□ <i>k</i> ⁄ →.						生活未来科	•	116-14-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	1	47	_	-	_	_	-	46	-	2

			-		·教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	7 ==	■ 学生	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	2	3.92		\(\)		
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 90分以上 程度 2.1% -	度 程度	30分 程度 14.6%	ほとんど していない 72.9%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 90% 以上 程 2.1% -	分 60分	30分 程度 16.7%	ほとんど していない 72.9%	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.02	0.5%	10.170	12.5%	
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 高かった 8.3% 25.	ったであった		非常に 低かった	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	3.94				\
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	全く 注意して いなかった	注意する 必要は なかった 22.9% 29.	注意していた		全く 注意して いなかった	無回答 -
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.98				\rightarrow
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	3.81				\Diamond
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.00				\circ

1 授業改善の工夫

教科書だけでなく、新聞記事、関係書籍、DVDなどを適宜使用しながら授業を進めた。演習課題について学生間で話しあい、その内容を記載し考えていることを言葉で表すようにした。また、学生の表現力をつけるため1つの課題について数人の意見を発表するようにした。新聞記事、関係書籍なども分担して数人の学生に読んでもらうようにした。毎回の授業で気になったこと、分からなかったことを記載し授業終了後に提出するようにした。

2 アンケート結果に対する見解

今年から初めて大学の非常勤教員となり、90分の授業をこなすことがなかなか慣れなかった。授業を受ける学生の態度は様々であり特にどんな態度をしていても「授業料を払っている主体者」として注意はしなかったが、真面目に受講している学生のために授業の雰囲気づくりについては後期には配慮していきたい。自由記述には貴重な意見が多くありいろいろ組み合わせることにより授業を学生とともにつくっていく参考にしたい。

教員	名	: 梓川		職	名 :	准教	姓	<u>所</u>	属 :	地域	こども	学科			
<u>科目</u>	名称	: 社会社	<u> </u>				<u>科</u>	目群 :	: 地	域こと	も学科	・専門	教育科	- 目	
<u>授業</u>	ミコード	: 51000)ab	授業	形態 :	講義	<u>受</u>	講者数	:	89:	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	78名
			学	年						学科・コ	コース				
	答者 习訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	未来科物栄養	ビジキャ	リア	地域こ。 学科	- - -	その他	無	回答
		71	7	_	-			-				76		_	2
				価項目				教員 自己割			生の i平均	1		<mark>の自己</mark> の評価 3	
	① 勉	か強しやすい?	雰囲気づくり	に配慮しまし	したか。			5		3.	.87				
受講態	② 事	事前学習や課	:題を1週当た		れぐらい課し			60分程	建度	120分 以上 3.8%	90分 程度 2.6%	60分 程度 9.0%	30分 程度 17.9%	ほとんど していない 64.1%	無回答
度	③ 事	耳後学習や課	- :題を1週当た		120分以	以上	120分 以上 2.6%	90分 程度 5.1%	60分 程度 11.5%	30分 程度 21.8%	ほとんど していない 57.7%	無回答 1.3%			
授	④ 教	- :科書、プリント、	視聴覚教材(1	ビデオなど)を	、授業の理解に	に活用しましたか	j,	5			.99				
業内容	\$ 3	の授業のレイ	ベルは、学生		やや 高かっ	•	非常に 高かった 20.5%		適切 であった 37.2%	やや 低かった 1.3%	非常に 低かった -	無回答			
授業	⑥ 学	生に分かりゃ	やすい説明を	と心がけまし	たか。			5		3.	.73				
業の進め	⑦ 授	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	(をしていま)	したか。		注意して	こいた	注意する 必要は なかった 10.3%	注意 していた 55.1%		あまり 注意して いなかった 3.8%	全く 注意して いなかった -	無回答
方		生の理解度						5		3.	.73				
総合		生に新しい知言 すか。	戦や技術を与 <i>え</i>	え、問題意識や	?関心を高める	ることができたと	思い	4		3.	.81				
評価	10 =	の授業は学	生の将来に往	殳立つと思V	ますか。			5		4.	.16				
1 1	受業改	・善の工夫													
2 7	アンケ	ート結果に	対する見角	军											

科目名称 : 障害児保育 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目

<u>授業コード : 53211ab ____ 授業形態 : 演習 ___ 受講者数 : 58名 ___ 回答者数 : 54名 ___</u>

		学	年				学科•	コース		
□ <i>kk</i> →						生活未来科	•	116-64-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	2	52	_	-	_	_	-	52	-	2

		W H		ז _❖		の自己		
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	1	■ 学生 2	の評価 3	平 羽 4 5	
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.11				· ·	>
受講	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 90分 以上 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	
態		MC CV AV	5.6% 1.9%	5.6%	14.8%	72.2%	_	
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど	120分 90分 以上 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	
	, with the second of the secon	課していない	5.6% 1.9%	5.6%	14.8%	72.2%	-	
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.37				\	>
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に やや 高かった 高かった	適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答	
容		じめつに	16.7% 20.4%	61.1%	-	1.9%	_	
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.26				<	>
業の進	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 20.4% 55.6%	していた		全く 注意して いなかった	無回答	
め		5		20.4%	1.9%	1.9%	_	
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.30					>
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.19					
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.50				\	>

1 授業改善の工夫

授業の進め方はシラバスに出来るだけ合わせています。居眠りの対策、スマホの対策など工夫しております。その1つとして記述も入れております。書き能力に個人差が有ります。授業の進め方や分りやすさは今後も課題として、より分かりやすい・理解しやすい教材・資料にしていきたいと考えております。

2 アンケート結果に対する見解

授業内容については、教科書、視覚教材、プリントなどを使いできるだけ、学生に理解できるように工夫しました。⑫自由記述の「スライドをゆっくりとして欲しい」「先生の説明が分かりにくすぎる」とのことでしたが、スライドは資料と同じもので、書き込みの時間も十分与えているつもりでした。学生の記述時間の個人差を今後も配慮していきたいです。また、説明の分かりにくさについては、1回では理解しにくい、イメージできにくいものについても、話だけでなく、スライドや映像を交えて何度も授業に織り交ぜ説明をしながら進めました。授業内容④⑤での回答でそのことが理解されているように思います。

教員	名	: 安永	龍子				職	名 : 🤻	教授		<u>所</u>	禹 :	地域	こども	<u> </u>
<u>科</u> 目	名称	:小児	呆 健 A				<u>科</u>	目群 :	地	域こど	も学科	· 専門	教育科	目	
<u>授業</u>	ミコード	: 52100)ab	授業	形態 :	講義	<u>受</u>	講者数	:	73:	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	63名
			学	年					7	学科・コ	コース				
	答者	1回生	2回生	その他	無回答			未来科	ビジン	ネス	地域こ		その他	4111-	回答
ď	引訳	1四生	2四生	-C V \\	無凹合	生活福祉コース		物栄養	キャリコー	jァ	学科	. `	てひに	***	旦合
		60	3	_	_	_		-		_		63		-	-
			評	価項目				教員の 自己評(生の 平均	1		の自己 の評価 3	
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4		4.	16				\
受講態	② 事	前学習や課	題を1週当た	り平均でどれ	れぐらい課し	ましたか。		ほとんと 課していた		120分 以上 3.2%	90分 程度 6.3%	60分 程度 12.7%	30分 程度 15.9%	ほとんど していない 61.9%	無回答
度	③ 事	後学習や課	題を1週当た	り平均でどれ		ほとんと 課していた		120分 以上 1.6%	90分 程度 7.9%	60分 程度 11.1%	30分 程度 20.6%	ほとんど していない 58.7%	無回答		
授	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材()	ごデオなど)を、	,°	4		4.	40				\		
業内容	(5) Z	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り		適切 であっ <i>た</i>	÷	非常に高かった		適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答		
授	⑥ 学	生に分かりゃ	やすい説明を	心がけまし	たか。			4		11.1% 4.	25.4% 40	63.5%	_	_	-
業の進	⑦ 授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	したか。		ある程度注意してい		注意する 必要は なかった 22.2%	注意 していた 63.5 %	ある程度 注意 していた 14.3%	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答
め方	⑧ 学	生の理解度	を配慮しなか	ぶら授業を進	めましたか。			4			37				♦
総合		生に新しい知言 すか。	戦や技術を与 <i>注</i>	え、問題意識や	・関心を高める	らことができたと!	思い	4		4.	13				\langle
評価	10 =	の授業は学	生の将来に往	设立つと思い	ますか。			4		4.	56				♦
1 ‡	受業改	善の工夫													
2 7	アンケー	ート結果に	対する見角	Ž											

教員	名		: 5	<u> 安永</u>	龍子						職	铭:	教授	<u> </u>	<u>所</u>	禹 :	地域	こども	<u> </u>
科目	名称	<u> </u>	: /	小児	保健演	(習					<u>利</u>	目群	: 地	域こと	も学科	専門	教育科	目	
<u>授業</u>	<u> </u>	ド	: 5	5212	1abc		<u>授業</u>	形態 :	湞	習	<u>受</u>	講者数	:	58	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	51名
						学	年							学科・コ	コース				
	答者 引訳		1回:	生	2回	生	その他	無回答	李 :	生活福祉 コース	食	舌未来科 物栄養 コース	ビジキャコー	リア	地域こ。 学科		その他	無	回答
				_		48		2	1	_		-		-		47		1	3
						評/	 面項目					教員 自己記			生の i平均	1		の自己 の評価 3	
	1	勉	強しや	すい	雰囲気	づくり	に配慮しま	したか。				4		3.	96				\langle
受講態	2	事	前学習	や課	果題を1述	固当た	り平均でと	れぐらい課	果しま	こしたか。		ほとん 課してV		120分 以上 3.9%	90分 程度 -	60分 程度 5.9%	30分 程度 13.7%	ほとんど していない 76.5%	無回答
度	3	事	後学習	や課	果題を1辿	圏当た	り平均でと	えぐらい課	果しま	こしたか。		ほとん 課してい		120分 以上 3.9%	90分 程度 -	60分 程度 5.9%	30分 程度 15.7%	ほとんど していない 74.5%	無回答
授業	4	教和	斗書、ブ	゚リント、	、視聴覚	教材(l	ごデオなど)を	、授業の理解	解に清	舌用しましただ	70	4			12				<u></u>
内容	5	<u>_</u> 0	の授業	のレー	ベルは、	学生	にとって適	切でしたか	,0			であっ	-	非常に 高かった 13.7%	やや 高かった 23.5%	適切 であった 56.9%	やや 低かった -	非常に 低かった 2.0%	無回答 3.9%
授業	6	学:	生に分	カッり・	やすい	説明を	心がけまし	たか。				4			02				>
の進め	7	授	業の進	行を	妨げる	行為に	こ対して注意	意をしている	ました	たか。		注意して	こいた	注意する 必要は なかった 13.7%	注意 していた 56.9%	ある程度 注意 していた 23.5%	あまり 注意して いなかった 3.9%	全く 注意して いなかった 2.0%	無回答
方	_							生めましたな		.1.3836.3.1	ш	4		3.	86				\triangleright
総合語			主に新し けか。	ノい知	識や技術	すを与え	2、問題意識	や関心を高め	めるこ	とができたと	思い	4		3.	86				\triangleright
評価	10	<u>こ</u> 0	り授業	は学	生の将	来に往	と立つと思	ハますか。				4		4.	29				•
1 担	受業改	<u> </u>	善 の]	<u> </u>															
2 7	マンク	<u>-</u>	-ト結	果に	対する	見解	į.												

教員	名	: 中田	奈月				職/	名:	教授	<u>}</u>	<u>所</u>	属 :	地域	こどもき	<u> 学科</u>
<u>科</u> 目	名称	:生活					<u>科</u>	目群 :	: 地	域こと	も学科	<u> 専門</u>	教育科	- 目	
<u>授業</u>	ミコード	: 55200	<u>)a</u>	<u>授業</u>	形態 :	講義	<u>受</u> i	講者数	:	10:	<u>名_</u>	<u>回答</u>	者数	:	8名
			学	年						学科•=	コース				
	答者	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉		未来科	ビジ	ネス	地域こ		その他	無無	回答
ľ	勺訳	, ,				ユース		一ス	キャ		学科	 			
		8	_			-		-		_		8	数昌	<u>-</u> の自己	
			評/	価項目				教員 自己割			生の i平均	1		の評価 3	
	① 勉	か強しやすい!	雰囲気づくり	に配慮しまし	したか。			4		4.	.50				♦
受講態	② 事	4前学習や課	題を1週当た	<u>-</u> り平均でど	れぐらい課し	ノましたか。 		60分程	建度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 12.5%	30分 程度 25.0%	ほとんど していない 62.5%	無回答
度	③ 事	耳後学習や課	:題を1週当た	<u>-</u> り平均でど	れぐらい課し		60分程	建度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 50.0%	ほとんど していない 50.0%	無回答	
授	④ 教	は科書、プリント、	視聴覚教材(1	ビデオなど)を	、授業の理解に),	4		4.	.50				\	
業内容	(5) Z	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適け	刃でしたか。		適切であっ	-	非常に 高かった 12.5%		適切 であった 50.0%	やや 低かった	非常に 低かった	無回答	
授業	⑥ 学	生生に分かりゃ	やすい説明を	と心がけまし	たか。			5		4.	.63				
業の進め	⑦ 授	受業の進行を	妨げる行為に	 こ対して注意	 fをしていまl	したか。		注意す 必要に なかっ	は	注意する 必要は なかった 75.0 %	注意 していた 25.0%	ある程度 注意 していた -	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答
方	_	生生の理解度						4		4.	.63				♦
総合語		生に新しい知言すか。	戦や技術を与 <i>注</i>	え、問題意識や	₹関心を高める	ることができたと	思い	4		4.	.50				•
評価	10 =	の授業は学生	生の将来に往	殳立つと思い	いますか。			4		4.	.63				♦
1 #	受業改	善の工夫													
2 7	アンケー	ート結果に	対する見角	<u>¥</u>											

<u>教</u> 員	名	: 北村	麻樹				職	名 :	講師	<u> </u>	<u>所</u>	禹 :	地域	こども <u>*</u>	<u>学科</u>
<u>科</u> 目	名称	: ゼミナ	ール I (音	楽)			<u>科</u>	目群 :	: 地	域こと	も学科	· 専門	教育科	目	
授業	ミコード	: 56100	Оа	<u>授業</u>	形態 :	演習	受	講者数	:	16	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	13名
			学	年					:	学科•	コース				
口	答者	1日生	加州	このは	细口炒			未来科	ビジ	ラ フ	地域こ	ども	その他	4m.	同炊
P	勺訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース		勿栄養 ロス	キャコー	リア	学科	•	ての他	***	回答
		12	-	_	1	_		-		_		12		-	1
			評.	価項目				教員 自己部			生の 町平均	1		の自己 の評価 3	
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし				4		4	.54				\
受講	② 事	前学習や課	題を1週当た		れぐらい課し	ましたか。		ほとん 課してV		120分 以上 7.7%	90分 程度 7.7%	60分 程度 38.5%	30分 程度 15.4%	ほとんど していない 30.8%	無回答
態度	- +	* ^		10 77 14 18	1. AA	. 1-1 . 1- 1		ほとん	ملار	120分 以上	90分程度	60分程度	30分程度	30.0% ほとんど していない	無回答
	③ 事	後学習や課	題を1週当た	19半均でどれ	れぐらい課し	ましたか。		課してい		7.7%	7.7%	38.5%	15.4%	30.8%	-
授業	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材(1	ごデオなど)を、	. 授業の理解に	0	4			.62				♦	
- 内容	⑤ <u></u>	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	刃でしたか。		適りであっ		非常に高かった	高かった	適切であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答	
授	⑥ 学	生に分かりゃ	やすい説明を	 と心がけまし	 たか。			4		7.7% 4	7.7%	84.6%	-	-	<u> </u>
業の進		業の進行を				<i>したか</i> 。		注意して	こいた	注意する	注意 していた	ある程度 注意 していた	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答
め方	⑧ 学	生の理解度	を配慮しなか	ぶら授業を進	めましたか。			5			.69				
総合		生に新しい知言 すか。	識や技術を与れ	え、問題意識や	♀関心を高める	ことができたと思	思い	4		4	.54				♦
評価	10 =	の授業は学	生の将来に往	殳立つと思い	ますか。			5		4	.92				
1 1	受業改	善の工夫													
2 7	アンケー	ート結果に	対する見角	军											

教員	【名	:増井					職⁄	名 : 教	受	<u>所</u>	禹 :	地域	<u>こども</u>	<u>学科</u>
<u>科</u> [1名称	: ゼミナ	トール I (音	f楽)			科	目群 : 均	也域こと	ども学科	専門	教育和	<u> </u>	
<u>授業</u>		: 56100	0a	<u>授業</u> 3	形態 :	演習	<u>受</u>	講者数 :	16	名_	<u>回答</u>	者数	<u>:</u>	13名
			学	年					学科•	コース				
	答者 勺訳	1回生	2回生	その他	無回答		食物	が木食	ディー ジネス ャリア ース	地域こる学科		その他	無	:回答
		12			1				<u>-</u> ^		12			1
			評	価項目				教員の 自己評価		生の 西平均	1	■ 学生	の自己 の評価 3	
	① 勉	1強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	したか。			4	4	1.54				♦
受講態	② 事	前学習や課	見題を1週当た		れぐらい課し	ましたか。		30分程度	120分 以上 7.7%	90分 程度 7.7%	60分 程度 38.5%	30分 程度 15.4%	ほとんど していない 30.8%	無回答 —
度	③ 事	後学習や課	関を1週当た		 れぐらい課し	ましたか。		30分程度	120分 以上 7.7%	90分 程度 7.7%	60分 程度 38.5%	30分 程度 15.4%	ほとんど していない 30.8%	無回答
授業	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材(1	ビデオなど)を、	、授業の理解に	こ活用しましたか。	0	5	4	1.62				
来内容	⑤ <u> </u>	の授業のレイ	ベルは、学生	:にとって適り	刃でしたか。			適切 であった	非常に 高かった 7.7%	き 高かった	適切 であった 84.6%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答
授業	⑥ 学	生に分かり	やすい説明を	と心がけまし	たか。			5	4	1.62				
来の進め	⑦ 授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	iをしていまし	したか。		注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 46.2%	していた	ある程度 注意 していた	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答
方	_		を配慮しなか					5	4	1.69				
総合語		生に新しい知言 すか。	職や技術を与 <i>え</i>	え、問題意識や	?関心を高める	ることができたと思	111	4	4	1.54				•
評価	10 =	の授業は学	生の将来に往	殳立つと思い	ますか。			5	4	1.92	İ			
1 1	受業改	善の工夫												
2 7	アンケー	ート結果に	対する見角	星										

教員	[名	:吉田	直子				職名	名 : 講	新	<u>所</u>	属 :	地域	<u>こども*</u>	<u> </u>
<u>科</u> 目	名称	: ゼミナ	ール I (音	` 楽)			<u>科</u>	目群 : :	也域こ	ども学和	専門	教育和	目	
<u>授業</u>	ミコード	: 56100)a	<u>授業</u>	形態 :	演習	受詞	構者数 :	16	名_	回答	者数	:	13名
				年					学科•	コース				
	答者 勺訳	1回生	2回生	その他	無回答		食物	か木食 キ	ジネス ヤリア	地域こ 学科		その他	無	回答
		12	_	_	1	_		-	ース -		12		_	1
			評	価項目				教員の 自己評価		生の 西平均	1	■ 学生	<mark>の自己</mark> の評価 3	
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4	4	1.54				\langle
受講態	② 事	が学習や課	!題を1週当た	_り平均でどえ	れぐらい課し	ましたか。		120分以上	120分 以上 7.7%	90分 程度 7.7%	60分 程度 38.5%	30分 程度 15.4%	ほとんど していない 30.8%	無回答
度	3 事	後学習や課	!題を1週当た	_り平均でどえ	れぐらい課し	ましたか。		120分以上	120分 以上 7.7%	90分 程度 7.7%	60分 程度 38.5%	30分 程度 15.4%	ほとんど していない 30.8%	無回答
授	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材(1	ごデオなど)を、	授業の理解に	こ活用しましたか。	0	5	4	1.62				
業内容	\$ 5	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	刀でしたか。			やや 高かった	非常に 高かった 7.7%	き 高かった	適切 であった 84.6%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答
授業	⑥ 学	生に分かり	やすい説明を	心がけまし	たか。			4	4	1.62				•
業の進め	⑦ 授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	<i>した</i> か。		注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 46.2%	していた	ある程度 注意 していた -	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった -	無回答
方	_		を配慮しなか					5	4	1.69				
総合		生に新しい知言 すか。	識や技術を与え	え、問題意識や	・関心を高める	ことができたと思	\V\	4	4	1.54				\lambda
評価	10 =	の授業は学	生の将来に往	殳立つと思い	ますか。			4	4	1.92				\
1 1	受業改	善の工夫												
2 7	アンケー	ート結果に	対する見角	<u>军</u>										

教員	名	: 中田	奈月				職:	名 :	教授	<u> </u>	<u>所</u>	禹 :	地域	こども	<u> </u>
<u>科</u> 目	名称	: ゼミナ	-ール I (心	と発達)			<u>科</u>	目群 :	: 地	域こと	も学科	専門	教育和	<u> </u>	
<u>授業</u>	ミコード	· : 56100	0b	<u>授業</u>	形態 :	演習	<u>受</u>	講者数	:	7	名_	<u>回答</u>	者数	:	6名
			学	年					:	学科・	コース				
	答者	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉		未来科	ビジ	ネス	地域こ	ども	その他	無	回答
P	勺訳	101		C +> E	, M III II	生価値位		一ス	キャコー	リア	学科	-	C -> C		
		6	_	_	_	_		-		_		6	数 目	<u>-</u> の自己	
			評	価項目				教員 自己割			生の E平均	1		の で 3	
	① 勉	2強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4		4	.67				\
受講態	② 事	前学習や課	題を1週当た	り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		30分程	建度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 16.7%	30分 程度 -	ほとんど していない 83.3%	無回答
度	3 事	4後学習や課	題を1週当た	り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		30分程	是度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 16.7%	30分 程度 -	ほとんど していない 83.3%	無回答
授	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材(1	ごデオなど)を、	授業の理解に	,0	1		4	.00	\				
業内容	\$ 3	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	刃でしたか。			適り であっ		非常に 高かった -		適切 であった 83.3%	やや 低かった	非常に 低かった -	無回答
授業	⑥ 学	生に分かり	やすい説明を	心がけまし	たか。			_		4	.67				
果の進め	⑦ 授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	たか。		注意す 必要 なかっ	は	注意する 必要は なかった 66.7%	していた	ある程度 注意 していた 16.7%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答
方		生の理解度						4		4	.83				•
総合評	9 z	すか。				ことができたと凡	せい	4		4	.67				•
価	10 =	の授業は学	生の将来に行	安立つと思V	ますか。			4		5	.00				♦
1 ‡	受業改	善の工夫													
2 7	アンケー	ート結果に	対する見角												

教員	名	:別所	崇				職	名 : 講師	币	<u>所</u>	禹 :	地域	こども	学科
<u>科</u> 目	名称	: ゼミナ	ール I (心	と発達)			<u>科</u>	目群 : 均	也域こと	も学科	専門	教育和	丨目	
<u>授業</u>	ミコート	: 5610	0b	<u>授業</u>	形態 :	演習	<u>受</u>	講者数 :	7:	<u>名_</u>	<u>回答</u>	者数	:	6名
			学	年					学科•	コース				
	答者	1回生	2回生	その他	無回答	1		未来科	ジネス	地域こ	ども	その他	4	回答
ď	勺訳	1617	2ELT	CVAIR	224 El El	生活福祉コース		が木食 キャ	リアース	学科	·	CVAIE	71/2	□'⊕'
		6	_	_	_	_		_	-		6	<i>₩</i> . 🖽	_	_ ====================================
			評	価項目				教員の 自己評価		生の i平均			の自己 の評価 3	
	① 第	 強強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			5	4.	67				
受講	2	事前学習や課	!題を1週当た	り平均でど	hぐらい課し	ましたか。		ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 16.7%	30分 程度 —	ほとんど していない 83.3%	無回答
態度	3	事後学習や課	!題を1週当た	り平均でど	hぐらい課し	ましたか。		ほとんど 課していない	120分 以上	90分 程度 -	60分 程度	30分 程度 -	ほとんど していない	無回答
授	④ 耄	女科書、プリント、	視聴覚教材(1	ごデオなど)を、	授業の理解に	, .	1	4.	.00	16.7%	_	83.3%	_	
業内容	5 3	この授業のレー	ベルは、学生	にとって適り	刃でしたか。		 適切 であった	非常に 高かった -	やや 高かった 16.7%	適切 であった 83.3%	やや 低かった	非常に低かった	無回答	
授	6	学生に分かり	やすい説明を	と心がけまし	たか。			5	1	67	03.3%			
業の進え	⑦ 担	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	したか。		注意していた	注意する 必要は なかった 66.7%	注意 していた 16.7%	ある程度 注意 していた 16.7%	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答
め方	8 =	学生の理解度	を配慮しなか	ら授業を進	めましたか。			3	4.	83			\langle	
総合	9 \$	生に新しい知 さすか。	識や技術を与れ	え、問題意識や	P関心を高める	Sことができたと見	思い	5	4.	67				
評価	10 3	の授業は学	生の将来に征	安立つと思V	ますか。			5	5.	00				
1 技	受業改	(善の工夫												
2 5	アンケ	ート結果に	対する見角	4										

 120
 奈良佐保短期大学

 - 120 - 120

教員	名	: 藤田	悦代				職:	名 : 孝	<u> </u>	<u>所</u>	属 :	地域	こども	<u> </u>
<u>科</u> 目	名称	: ゼミナ	ール I (こ	ども教育)			<u>科</u>	目群 :	地域こ	ども学和	┣ 専門	教育和	目	
授業	ミコード	: 5610	0f	<u>授業</u>	形態 :	演習	受	講者数	: 10)名_	<u>回答</u>	者数	:	10名
			学	年					学科•	コース				
	答者 引訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	// // / / / / / / / 	ごジネス キャリア コース	地域こ 学科		その他	無	回答
		9	-	_	1	_		-			10			_
			評	価項目				教員の 自己評価		生の 西平均	1		の自己 の評価 3	
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			5	4	1.30				
受講態	② 事	す前学習や課		り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		90分程度	120分 以上 —	90分 程度 10.0%	60分 程度 20.0%	30分 程度 -	ほとんど していない 70.0%	無回答
度	③ 事	4後学習や課	!題を1週当た	_り平均でど	れぐらい課し		90分程度	120分 以上 -	90分 程度 20.0%	60分 程度 10.0%	30分 程度 -	ほとんど していない 70.0%	無回答	
授	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材()	ごデオなど)を	授業の理解に	70	5	4	1.80				Ç	
業内容	5	の授業のレー	ベルは、学生	にとって適り	刃でしたか。		適切 であった	非常に 高かっ7		適切 であった 60.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答	
授業	⑥ 学	生に分かり	やすい説明を	と心がけまし	たか。			5		1.80				
未の進め	⑦ 授	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	<i>た</i> か。		注意する 必要は なかった	必要はなかった	していた	ある程度 注意 していた -	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答
方		生の理解度						5	4	1.90				
総合証	9 z	すか。				ことができたと	思い	5	4	1.60				
評価	10 =	の授業は学	生の将来に行	设立つと思V	ますか。			5	4	1.80				
1 1	<u>交兼収</u>	善の工夫												
2 7	アンケ	ート結果に	対する見角	4										

 121
 奈良佐保短期大学

 - 121 - 121

教員	名	: 宮川	久美				職	名 : 教	授	<u>所</u>	属 :	地域	こども	学科
<u>科</u> 目	名称	: ゼミナ	ール I(自	然と遊び)			<u>科</u>	目群 :	地域こ	ども学科	専門	教育和	目	
授業	ミコード	: 56100)d	<u>授業</u>	形態 :	演習	受	講者数 :	10)名_	<u>回答</u>	者数	:	9名
			学	年					学科•	コース				
	答者	1回生	2回生	その他	無回答			未来科	ジネス	地域こ		その他	無	回答
ď	了訳	. ,		C 42 E	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	生活福祉コース		ツ木食 コ	テャリア コース	学科	+	C 42 E	7///	
		8	_	_	1	. –		_	_		9	料 目	<u>-</u> の自己	_ = Ti /III
			評	価項目				教員の 自己評価		生の 西平均			の自己 の評価 3	
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4	4	1.56				\
受講態	② 事	前学習や課	題を1週当た	とり平均でど	れぐらい課し	ましたか。		ほとんど 課していな	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 22.2%	ほとんど していない 77.8%	無回答
度	③ 事	後学習や課	題を1週当た	とり平均でど	れぐらい課し		ほとんど 課していな	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 22.2%	ほとんど していない 77.8%	無回答	
授業	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材(1	ごデオなど)を、	授業の理解に	0	4		3.89				\Diamond	
木内容	5	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	刃でしたか。		適切 であった	非常に 高かった -	: やや た 高かった -	適切 であった 100.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答	
授業	⑥ 学	生に分かりゃ	やすい説明を	心がけまし	たか。			5	4	1.22				
不の進め	⑦ 授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	したか。		注意してい	注意する 必要は なかった 44.49	していた	ある程度 注意 していた 22.2%	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった -	無回答
方	_	生の理解度					15.	5	4	1.22				
総合評	9 3	すか。				らことができたと思	3,1,1	3	4	1.56	-		♦	
価	10 =	の授業は学	生の将来に往	安立つと思V	ますか。			4	4	1.44				\
1 技	受業改	善の工夫												
2 7	アンケー	ート結果に	対する見角	4										

教員	名	: 増井	啓子				職	名 : 教技	受	<u>所</u>	禹 :	<u>地域</u>	こども言	学科
科目	名称	: ゼミナ	トールⅡ				<u>科</u>	目群 : 均	也域こと	も学科	専門	教育科	∤目	
授業	コー	· : 5620	0b	授業	珍態 :	演習	<u>受</u>	講者数 :	26:	<u>名_</u>	<u>回答</u>	者数	:	9名
			学	年		<u> </u>			学科•=	ュース				
	答者 引訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	が木食		地域この学科	ŀ	その他	無	回答
		_	9	_	_	_		_	-		9			_
			評	価項目				教員の 自己評価		生の i平均	1		の自己 の評価 3	
	① 第	勉強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4	3.	89				\langle
受講態	2	事前学習や課	限題を1週当た	こり平均でどれ	っぐらい課し	ましたか。		30分程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 -	ほとんど していない 100.0%	無回答
度	3	事後学習や課	界題を1週当た	上り平均でどれ	れぐらい課し	ましたか。		30分程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 -	ほとんど していない 100.0%	無回答
授	4 *	数科書、プリント、	、視聴覚教材(ビデオなど)を、	授業の理解に	こ活用しましたか	, ,	5	3.	44				
業内容	5 3	この授業のレー	ベルは、学生	にとって適り	刀でしたか。			適切 であった	非常に 高かった -	やや 高かった -	適切 であった 100.0%		非常に 低かった -	無回答
授	6	学生に分かり	やすい説明を	と心がけました	たか。			5	4.	11				
業の進め	⑦ ±	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	<i>たか</i> 。		注意していた	注意する 必要は なかった 44.4%	注意 していた 33.3%	ある程度 注意 していた 22.2%	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった -	無回答
方	8	学生の理解度	を配慮しなれ	ぶら授業を進	めましたか。			5	4.	33				
総合		学生に新しい知 きすか。	識や技術を与	え、問題意識や	*関心を高める	ことができたと	思い	4	3.	67				\rightarrow
評価	10 3	この授業は学	生の将来に往	 空立つと思い	ますか。			5	3.	89				
1 技	受業改	対善の工夫												
0 5	7) (L	1 V+ H 1~												
<u>4</u>)	<i>71</i> 7	一ト結果に	刈り ②兄 乃	T										

科目名称 : 造形美術 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目

授業コード: 55500abc 授業形態: 演習 受講者数: 81名 回答者数: 67名

		学	年				学科•	コース		
□ \&\ \dag{\dag{\dag{\dag{\dag{\dag{\dag{						生活未来科	•	116-14-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	67	-	-	-	_	_	-	66	-	1

					♦	教員	の自己	評価	
	評価項目	教員の 自己評価	学生 評価 ³		1	■ 学生 2	の評価 3		5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.2	28				(ļ
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 3.0%	90分 程度 3.0%	60分 程度 6.0%	30分 程度 11.9%	ほとんど していない 73.1%	無回答 3.0%	
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 3.0%	90分 程度 1.5%	60分 程度 7.5%	30分 程度 16.4%	ほとんど していない 68.7%	無回答	
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.1		1.0%	10.1%	00.170	\$.0 <i>%</i>	
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	,	やや 高かった 17.9%	適切 であった 68.7%	やや 低かった 1.5%	非常に 低かった -	無回答	
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.2	27				<	!
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 26.9%	注意 していた 53.7%	ある程度 注意 していた 16.4%	あまり 注意して いなかった 3.0%	全く 注意して いなかった	無回答	
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.2	24				(Ż
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.1	16				\	
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.5	53				♦	

1 授業改善の工夫

本年度は、毎回授業後にスケッチブックの点検を行った。各学生の進度や問題点が分かると同時にクラス全体のそれも把握することができ次回の授業に役立った。 白板前で説明する場合が多いが、後ろの席からはわかりにくいのではと後方にも図やポイントを書いた紙を掲示した。 教室は大学生が入ると結構狭く、材料を取りに行く、ごみを捨てに行くといった移動も席によっては、面倒で集中が途切れたりすることがあるので、置き場所の位置や数を試行錯誤している。

2 アンケート結果に対する見解

立体作品の説明は白板やプリントでは分かりづらいこともあるので、参考作品の提示はもちろん、制作途中の状態のものを何段階か作って提示し説明している。視聴覚教材の一種のつもりだがそうとは認識されていないようである。 課題完成後に自作作品についてのレポートを課している。それは授業後の課題であるので、時間があれば授業中に取り組んでよいが、課題完成直後の授業中にはレポートをかく時間がない学生もいる。とは言え、最終授業ですべての課題の完成と手直しができる時間を作っているのでほとんどの学生はそこで仕上げることができている。

名	<u>: 北村</u>	麻樹				職4	<u> </u>	講師		<u>所</u>	<u> </u>	地域	<u>こども</u>	学科
名称	: 総合	演習(音楽)	1			<u>科</u>	群 :	地域	こども	学科	· 専門	教育和	¥目	
ミコード	: 5420	1a	<u>授業</u>	形態 :	演習	受訊	構者数	:	10名	_	<u>回答</u>	者数	:	9名
	l	学	年		Γ			学	科•コ-	-ス				
	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	7栄養	ビジネン キャリア	地	域こ		その他	無	回答
	_	9	_	_	_		-		-		8		_	1
		評	価項目				教員の 自己評() 価			1			
① 勉	 边強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4		4.11					\Q
② 事	耳前学習や課	見 見題を1週当た	り平均でどれ	れぐらい課し	ましたか。			1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	以上		60分 程度 11.1%	30分 程度 -	ほとんど していない 55.6%	無回答
③ 事	事後学習や課	県題を1週当た	り平均でどれ	hぐらい課し	ましたか。			tal.	以上		60分 程度 11.1%	30分 程度 -	ほとんど していない 55.6%	無回答
④ 教	は科書、プリント、	、視聴覚教材(1	ごデオなど)を、	授業の理解に	二活用しましたか) , °	4		4.44					\
⑤ <u></u>	の授業のレー	ベルは、学生	にとって適り	刃でしたか。			適切 であった	高	かった高	かった	適切 であった 55.6%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答
⑥ 学	生生に分かり	やすい説明を	と心がけました	たか。			4		4.89					\
⑦ 授	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	きをしていまし	たか。					ていた	ある程度 注意 していた 11.1%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答
)							5		4.89					
		識や技術を与れ	え、問題意識や	○関心を高める	ことができたと	思い	4		4.67					♦
10 -	の授業は学	生の将来に征	殳立つと思い	ますか。			5		4.78					
<u> </u>	善の工夫													
アンケ	一ト結果に	対する見角	4											
	答求 ① ② ③ ④ ⑤ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 类 者訳 ① ② ③ ④ ⑤ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 类	名称 : 総合 1回生 1eu 1eu	名称 : 総合演習(音楽) (音楽) (音》	1	3 事後今演習(音楽) 授業形態 :	2	2年	24年	各称 : 総合演習(音楽)	2年	24	24	24	A

教員	名	: 増井	啓子				職:	名:	教授	<u> </u>	<u>所</u>	禹 :	地域	こども	<u> </u>
<u>科</u> 目	1名称	:総合	演習(音楽)	1			<u>科</u>	目群 :	: 地	域こと	も学科	- 専門	教育科	目	
<u>授業</u>	ミコート	: 5420	la	<u>授業</u>	形態 :	演習	<u>受</u>	講者数	:	10=	<u>名_</u>	<u>回答</u>	者数	:	9名
			学	年						学科•=	コース				
	答者 勺訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	未来科の栄養	ビジキャ	リア	地域こ。 学科		その他	無	回答
		-	9	_	-	_		_	コー	-		8		_	1
				価項目				教員 自己評			生の 平均	1		の自己 の評価 3	
	① 兔	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	<i>、たか。</i>			4		4.	11				\Diamond
受講態	② 事	す前学習や課	!題を1週当た	_り平均でどえ	れぐらい課し	ましたか。		30分程	星度	120分 以上 33.3%	90分 程度 -	60分 程度 11.1%	30分 程度 -	ほとんど していない 55.6%	無回答
度	3 事	4後学習や課	!題を1週当た	_り平均でどえ	れぐらい課し	ましたか。		30分程	星度	120分 以上 33.3%	90分 程度 -	60分 程度 11.1%	30分 程度 -	ほとんど していない 55.6%	無回答
授	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材(1	ニデオなど)を、	授業の理解	こ活用しましたか) ₇ °	5		4.	44				
業内容	(5) C	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	刃でしたか。			適切であっ		非常に 高かった 33.3%		適切 であった 55.6%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答
授業	⑥ 学	生に分かり	やすい説明を	こ心がけまし	たか。			5		4.	89				
への進め	⑦ 授	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	きしていまし	したか。		注意して	こいた	注意する 必要は なかった 66.7%	注意 していた 22.2%	ある程度 注意 していた 11.1%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答
方			を配慮しなか				Ш	5		4.	89				
総合評	9 1	すか。				ることができたと.	思い	4			67				♦
価	10 3	の授業は学	生の将来に往	と思い	・ますか。 			5		4.	78				
1 ‡	受業改	善の工夫													
2 7	アンケ	ート結果に	対する見解	<u>¥</u>											

教員	名	: 吉田	直子				職名	<u>i</u> : [講師		<u>所</u>	禹 :	<u>地域</u>	こども	<u>学科</u>
科目	名称	: 総合	演習(音楽)	ı			<u>科目</u>	群:	地	域こど	も学科	専門	教育和	↓目	
授業	ミコード	: 5420	1a	授業	珍態 :	<u>演習</u>	<u>受</u> 請	青者数	:	10	<u>各</u>	<u>回答</u>	者数	:	9名
			学	年					<u>ب</u>	学科・3	ュース				
	答者 可訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	未来科 栄養 ース	ビジネキャリコー	ネスリア	地域こ。 学科		その他	無	回答
		_	9	_	_	_		-		_		8		_	1
			評	価項目				教員の 自己評	の価	学 学 評価	生の 平均	1		の自己 の評価 3	
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4		4.	11				\Diamond
受講態	② 事	4前学習や課	!題を1週当た	り平均でどれ	れぐらい課し	ましたか。		120分以		120分 以上 33.3%	90分 程度 -	60分 程度 11.1%	30分 程度 -	ほとんど していない 55.6%	無回答
度	③ 事	び後学習や課	!題を1週当た	り平均でどれ	てぐらい課し	ましたか。		120分以		120分 以上 33.3%	90分 程度 -	60分 程度 11.1%	30分 程度 -	ほとんど していない 55.6%	無回答
授	④ 教	科書、プリント、	、視聴覚教材(l	ごデオなど)を、	授業の理解に	こ活用しましたか	, o	5		4.	44				
業内容	5 2	の授業のレー	ベルは、学生	にとって適り	刀でしたか。			やや高かった	+-	非常に 高かった 33.3%	やや 高かった 11.1%	適切 であった 55.6%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答
授	⑥ 学	生に分かり	やすい説明を	こ心がけました	たか。			4		4.	89				♦
業の進め	⑦ 授	発業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	したか。		注意す。 必要は なかった		注意する 必要は なかった 66.7%	注意 していた 22.2%	ある程度 注意 していた 11.1%	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答
方	⑧ 学	生の理解度	を配慮しなか	ら授業を進	めましたか。			5		4.	89				
総合	9 ま	生に新しい知 すか。	識や技術を与え	え、問題意識や	>関心を高める	ることができたと月	思い	4		4.	67				♦
評価	100 -	の授業は学	生の将来に往	设立つと思い	ますか。			4		4.	78				•
<u>1</u> #	受業改	善の工夫													
2 7	アンケー	ート結果に	対する見角	F											

教員	名_	: 中田	一奈 月				<u>職名</u>	: 教授	圣	<u>所</u>	属 :	地域	こども	学科
科目	名利	: 総合	演習(心と	Ě達)			<u>科目</u>	群 : 地	域こと	も学科	専門	教育科	目	
授業	ミコー	ド : 5420	01b	授業	形態 :	演習	<u>受講</u>	者数 :	12:	<u>名_</u>	<u>回答</u>	者数	:	12名
		T		年					学科・コ	コース				
	答者 可訳	1回生	2回生	その他	無回答		生活未食物質コー	- マ キャ	小 へ	地域こ 学科		その他	無	回答
				価項目				教員の 自己評価		生の i平均	1		の自己 の評価 3	
	1	勉強しやすい	ッ雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4	4.	33				\langle
受講態	2	事前学習や記	果題を1週当た	こり平均でどれ	れぐらい課し	ましたか。		30分程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 8.3%	30分 程度 8.3%	ほとんど していない 83.3%	無回答
度	3	事後学習や記	果題を1週当た	こり平均でど	れぐらい課し	ましたか。		30分程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 8.3%	30分 程度 8.3%	ほとんど していない 83.3%	無回答
授業	4	教科書、プリント	、視聴覚教材(ビデオなど)を、	授業の理解に	こ活用しましたか	0	1	4.	.00	\			
来内容	5	この授業のレ	ベルは、学生	にとって適り	刃でしたか。			適切 であった	非常に 高かった -	やや 高かった 16.7%	適切 であった 83.3%	_	非常に 低かった -	無回答
授業	6	学生に分かり	やすい説明を	を心がけまし	たか。			5	4.	18				
木の進め	7	授業の進行を	を妨げる行為に	こ対して注意	tをしていまし	したか。		注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 50.0%	注意 していた 25.0%	ある程度 注意 していた 25.0%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答
方	,		度を配慮しなる					4	4.	.33				\Diamond
総合証		字生に新しい知 ますか。	口識や技術を与	え、問題意識や	P関心を高める	ことができたと思	はい	4	3.	83				
評価	10	この授業は学	生の将来に	设立つと思V	ますか。			4	4.	.00				>
1 ‡	受業点	牧善の工夫	<u>:</u>											
2 7	アンク	ート結果に	二対する見角	军										

講修 ② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。 課していない - 8.3% 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% - 8.3% 83.3% 83.3% - 8.3% 83.3% 83.3% - 8.3% 83.3% 83.3% - 8.3% 83.3% 83.3% - 8.3% 83.3% 83.3% - 8.3% 83.3% 83.3% - 8.3% 83.3% 83.3% - 8.3% 83.3% 83.3% - 8.3% 83.3% 83.3% - 8.3% 83.3% 83.3% 83.3% - 8.3% 83.3% 83.3% 83.3% - 8.3% 83.3% 83.3% - 8.3% 83.3% 83.3% - 8.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% - 8.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3% 83.3%	- 01 ⊏	1 to 41	- 644 -	.১৮-বহা / ১ া. ব	<i>∨ :±:\</i>			ΔN	□ #¥ □	Lile	44× 13	2 244 E	# 88	** *	f 	
学年の記する										理						
1回生 2回生 その他 無回答 生活 未来科 地域こども その他 無回答 生活 福祉 食物栄養 エジネス キャリア コース コース コース コース コース キャリア コース コース コース キャリア コース コー	<u>授業</u>	ミコー	ド : 5420	01b	<u>授業</u>	<u> </u>	演習	<u>受</u>	講者数	:	12	<u>各</u>	<u>回答</u>	<u>者数</u>	<u>:</u>	12名
□答者 内訳 1回生 2回生 その他 無回答 生活福祉 食物栄養 コース 12				学	年						学科・コ	ュース				
正元 12 - - - 12 -			1回生	2回生	その他	無回答		食物	物栄養	キャ	リア			その他	無	回答
契負の自己評価 学生の評価平均 ① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。 5 4.33 ② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。 ほとんど課していない 日度度 程度 していない 無回答 を				- 12	_	_		_	_	2-			12		_	-
1								1					\$			
① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。				評	価項目								1			
120分 90分 120년 82 82 83 83 83 83 83 83		(1)	勉強しやすい		に配慮しまし	 ンたか。										
腹度	受講:						ましたか。				120分 以上	90分 程度	程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答
日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	態度	3	事後学習や詞	果題を1週当た		れぐらい課し	ましたか。		ほとん	تغ	120分	90分	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答
業内容 適切であった 非常に高かった高かった高かった高かった高かった。 非常に高かった高かった。高かった高かった。 #常に低かった低かった低かった低かった。 無面切であった。 16.7% 83.3%	極		数利事 プルル	知磁学 数 ## (1	ビニナか がた	極業の研究に	ア廷田によいた。	<i>.</i>		, , ,	-			8.3%	83.3%	-
10.7% 83.3% 2 3 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 2 4.18 4.18 2 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4.18 4	業内						一百用しました	Ο·-0	適切		非常に 高かった	やや 高かった	適切 であった	低かった	非常に	無回答
業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。 注意していた を要はなかった 50.0% 25.0% 25.0% 25.0% 25.0% 25.0% 25.0%		<u>(6)</u>	学生に分かり	やすい説明ね	シルがけまし	たみゝ							83.3%	_	_	_
あ方 8 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。 3 4.33 総 ① 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。 5 3.83 値 この授業は学生の将来に役立つと思いますか。 5 4.00	及業の進						したか。			いた	注意する 必要は なかった	注意 していた	注意 していた	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答
総 9 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思い 5 3.83 iiii	め方	(8)	学生の理解原	要を配慮しなれ	ぶら授業を進	めましたか。			3				25.0%		•	
F	総	<u></u>	学生に新しい知					思い	5		3.	83				
	評			生の将来に	受立つと思V	ますか。			5		4.	00				
	<u>L</u> <u>‡</u>	受業証	炎善 の工夫	:												
	2 7	マンク	アート結果に	対する見角	军											
2 アンケート結果に対する見解																
アンケート結果に対する見解																
アンケート結果に対する見解																
アンケート結果に対する見解																

教員	名		: 宮川	久美				職	名 : 教持	受	<u>所</u>	属 :	地域	こどもき	<u>学科</u>
科目	名和	<u> </u>	: 総合	演習(自然	と遊び)			<u>科</u>	目群 : 均	也域こと	も学科	専門	教育和	目	
授業	ミコー	-ド	: 5420	01d	<u>授業</u>	形態 :	演習	<u>受</u>	講者数 :	17:	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	13名
				学	年					学科・	コース				
	答者 勺訳		1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食	彻木食 7ース キャ	ジネス ・リア ース	地域こ 学科		その他	無	回答
			-	- 13	_	_	_		-	-		12		_	1
				評	価項目				教員の 自己評価		生の i平均	1		の自己 の評価 3	
	1	勉	1強しやすい	、雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4	4.	54				•
受講態	2	事	前学習や記	課題を1週当/	とり平均でど	hぐらい課し	ましたか。		ほとんど 課していない	120分 以上 7.7%	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 -	ほとんど していない 92.3%	無回答
度	3	事	後学習や記	課題を1週当力	こり平均でどれ	hぐらい課し	ましたか。		ほとんど 課していない	120分 以上 7.7%	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 -	ほとんど していない 92.3%	無回答
授業	4	教	科書、プリント	、視聴覚教材(ビデオなど)を、	授業の理解に	上活用しましたか	٥,	4		62				\Q
个内容	⑤	۲	の授業のレ	ベルは、学生	Eにとって適り	刃でしたか。			適切 であった	非常に 高かった 7.7%	やや 高かった -	適切 であった 84.6%	_	非常に 低かった 7.7%	無回答
授業	6	学	生に分かり	やすい説明る	を心がけまし	たか。			5		08				
小の進め	7	授	業の進行を	を妨げる行為	に対して注意	をしていまし	たか。		注意していた	注意する 必要は なかった 15.4%	注意 していた 53.8%	ある程度 注意 していた 23.1%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった 7.7%	無回答
方	8			度を配慮しなる			~1.2°~;+,2-1.1	H1.	5	3.	92				
総合評	9	ま	すか。	印識や技術を与			ことが ぐさにとん	むい	3	4.	00			\langle	
価	10	۲	の授業は学	生の将来に	役立つと思い	ますか。			4	4.	15				\Q
1 1	受業	<u>改</u>	善の工夫	<u>:</u>											
2 7	アンク	ケー	ート結果に	二対する見角	裈										

奈良佐保短期大学

130

教員	名		: 別所	デ 崇				職	名 : 講師	<u> </u>	<u>所</u>	禹 :	地域	<u>こども</u>	学科
科目	名和	<u> </u>	:相談	後援助				<u>科</u>	目群 : 地	域こど	も学科	専門	教育科	目	
授業	ミコー	ード	: 5332	25ab	授業刑	珍態 : :	演習	<u>受</u>	講者数 :	56	<u>名</u>	<u>回答</u>	<u>者数</u>	:	48名
				学	年					学科•=	コース				
	答者	Î	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	初木食	ネス ·リア ース	地域こ。 学科		その他	無	回答
			4	2 43	1	2	_	-	-	-		45		-	3
				評	価項目				教員の 自己評価		生の 平均	1		の自己 の評価 3	
	1	勉	!強しやすい	ッ雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			5	4.	06				\
受講態力	2	事	前学習や詩	果題を1週当7	こり平均でどれ	いぐらい課し	ましたか。		60分程度	120分 以上 8.3%	90分 程度 4.2%	60分 程度 2.1%	30分 程度 18.8%	ほとんど していない 66.7%	無回答
度	3			果題を1週当7					60分程度	120分 以上 12.5%	90分 程度 4.2%	60分 程度 -	30分程度 18.8%	ほとんど していない 64.6%	無回答
授業	4	教	科書、プリント	、視聴覚教材(ビデオなど)を、	授業の理解に	上活用しましただ),°	5		31	Nate Lan	9, 9,	11-24-1-	
内容	⑤	۲	の授業のレ	ベルは、学生	こにとって適り	りでしたか。			やや 高かった	非常に 高かった 18.8%	やや 高かった 45.8%	適切 であった 35.4%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答
授	6	学	生に分かり	やすい説明る	を心がけまし	たか。			5		42.0%	33.4%			
業の進め	7	授	業の進行を	を妨げる行為	に対して注意	をしていまし	たか。		注意していた	注意する 必要は なかった 16.7%	注意 していた 66.7%	ある程度 注意 していた 14.6%	あまり 注意して いなかった 2.1%	全く 注意して いなかった	無回答
方	8			度を配慮しなれ					5	4.	21				\
総合	9		生に新しい気 すか。	口識や技術を与	え、問題意識や	·関心を高める	ことができたと	思い	4	4.	06				♦
評価	10	ک	の授業は学	生の将来に	役立つと思い	ますか。			5	4.	50				\
			善の工夫												
<u> </u>	<i>, </i>	<u> </u>	一个桁朱的	<u>に対する見</u> 負	<u> </u> 4										

教員名 : 梓川 一 職名 : 准教授 所属 : 地域こども学科

科目名称 : 相談援助演習 I 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目

授業コード: 53320 ______ 授業形態: 演習 _____ 受講者数: 7名 ___ 回答者数: 7名

		学	年				学科•	コース		
□ <i>t</i> /t ±/.						生活未来科		191 - 4-1 -11		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	7		_	_	-	_	_	7	_	_

		教員の	学生の	1	員の目己 生の評価	
	評価項目	自己評価	評価平均	1 2	3 2	4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.29			\
受講	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	60分程度	120分 90分 以上 程度	60分 30分 程度 程度	していない	無回答
態度			120分 90分	14.3% 14.3 60分 30分		_
及	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	60分程度	以上 程度	程度 程度		無回答
				- 28.6	% 71.4%	-
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.00			\
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に やや 高かった 高かった	適切 やや 低かっ	非常に 低かった	無回答
谷		じめつに	14.3% 28.6%	57.1% -	_	-
授業	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.43			\
\mathcal{O}	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 注意 必要は なかった していた	ある程度 あまり 注意 注意し していた いなかっ	全く て 注意して たいなかった	無回答
進め			28.6% 57.1%		-	-
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.14			\
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	5	4.29			+
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.43			+

1 授業改善の工夫

社会福祉士養成の学びとは、専門的な知識と技術の習得ばかりではなく、その土台には、価値と価値観の認識と、人間性の涵養が必要となる。こうした学びには、高校までの学びとは異なり、そこには解答はなく、もちろん模範解答などはありえない。まず、演習では、目指すところには解答がないこと、そして対人援助においてはそうした状況において仲間とともに考えあうことの重要性を、頭ばかりではなく、心で、体で感じてもらうことを授業の主たるテーマにしている。解答がなく、もやもやして、学びを拒否するのでは対人援助の学びはできない。つまり、人間関係における学びの姿勢と本質を感じることができれば、相談援助の学びは、ほぼ達成できているといえる。 それゆえに、本授業では、自分と向き合う、他人と向き合う、そして関係性の中で考えあう・感じあうをテーマに様々な事例ケースを活用して、多様なワークを取り入れた。さらにこうした学びができるためには、演習クラスの自由な雰囲気と、ありのままに発言し合える関係性づくりが必要になる。特に、授業の始まりには、まずフリーな語り合いができることのムードづくりにも努めた。

2 アンケート結果に対する見解

上記の授業テーマからすれば、受講姿勢や雰囲気づくりについては、学生はおおむね理解してくれていたことがわかる。ただ、演習において、居眠りや私語を注意することそのものが、学びあいの雰囲気を壊すものであり、ここについては学生各自が演習における学びの姿勢を自覚する必要がある。 授業のレベルが適切であるとの回答が多く、これについては教員としても納得がいく。教員としては回数を重ねるごとに、よりレベルを上げていたつもりであるため、そこに十分に追随できていること、またそれら演習内容を適切と感じることは、学生がレベルを上げてきていることを感じる。ここから学生の今後のさらなる可能性を感じる。 本演習が将来に向けて役立つとの回答が多いことは、自身の将来構想ができつつあること、そのうえでモティベーションが高くなっていることが伺える。ソーシャルワークに関する専門的な学びの内容が増えていく中で、こうした意識が持てる・維持できることは極めて重要である。 選択設問として、授業のねらいを設定した。私は第一回目オリエンテーションにおいて、必ずシラバスを配布し、授業のねらいと達成目標、各授業内容、評価方法を説明し、学生と契約を交わす。私個人としては、授業を受けるうえで、その授業のねらいと目的が明確であることが、受講する学生として最も基礎的かつ重要であるととらえている。以上の観点から、学生の学びの意識とともに、今後の成長・のびしろを感じることができる。

松具の白コ荻伝

教員名: 東條 佳史 職名 : 非常勤 所属: 地域こども学科

科目名称 : 体育 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目

授業コード : 55600ab 授業形態 演習 <u> 受講者数 :</u> 44名 回答者数 : 35名

		学	年				学科•	コース		
□ \&\ \dag{\dag{\dag{\dag{\dag{\dag{\dag{						生活未来科	•	116-14-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	35	-	-	-	_	_	-	35	-	-

				_	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.31				\lambda
受講	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 90分 以上 程度	程度	30分程度	ほとんど していない	無回答
態度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	5.7% 5.7 120分 90分 以上 程度	60分	14.3% 30分 程度	71.4% ほとんど していない	2.9% 無回答
	g , w. i (whole i a i i i i i i i i i i i i i i i i i	30% (EX	5.7% 5.7	6 2.9%	17.1%	68.6%	_
授業	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	2	2.54		•		
未内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に やや 高かった 高かっ	たであった	,	非常に 低かった	無回答
-			17.1% 11.4	% 62.9%	2.9%	5.7%	_
授業	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.46				\Diamond
未の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 37.1% 25.7	た していた		全く 注意して いなかった 5.7 %	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.34				•
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	3	3.89			♦	4
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.14				

1 授業改善の工夫

授業では球技を中心として、生徒自身の体力向上にも貢献できるように授業を行ってきた。 しかし、授業の対象を主に大学生としていたため、幼稚園や保育園で仕事をしたときに、生かせる内容が多くなかったように思われる。 今後は、生徒自身の体力向上と同時に、仕事をしたときに生かせる内容をより多く取り入れていきたいと考えている。

2 アンケート結果に対する見解 体育という授業の特性上、予習・復習の時間があまりなかったことは仕方がないことだと考えている。 く、グラウンドで行う種目や生徒から要望があった種目など、実施できるようにしたいと考えている。 将来に生かせるような新しい知識や高度な知識をより多く得られるようにしていきたいと考えている。 また、実施種目が少な さらに、授業を通して、

教員	名		: 増井	啓子				職	名 : 教	授	<u>所</u>	禹 :	地域	こどもき	学科
科目	名和	<u></u>	:保育	· 教職入門				<u>科</u>	目群 :	地域こど	も学科	専門	教育科	·目	
授業	ミコー	ード	: 5104	5ab	<u>授業</u> 开	影態 :	講義	<u>受</u>	講者数 :	71	<u>名</u>	<u>回答</u>	<u>者数</u>	:	62名
				学	年					学科•=	コース				
	答者	Î	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	ツ木食 キ	ジネス・ヤリア	地域こ。 学科		その他	無	回答
			62	-	-	_	_		-	1		61		_	-
				評	価項目				教員の 自己評価		生の 平均	1		の自己 の評価 3	
	1	勉	!強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4	4.	23				\Diamond
受講態	2	事	前学習や課	!題を1週当た	_り平均でどね	てぐらい課し	ましたか。		30分程度	3.2%	90分 程度 8.1%	60分 程度 24.2%	30分 程度 19.4%	ほとんど していない 45.2%	無回答
度	3			題を1週当た					30分程度	3.2%	90分 程度 8.1%	60分 程度 21.0%	30分 程度 27.4%	ほとんど していない 40.3%	無回答
授業	4	教	科書、プリント、	視聴覚教材()	ビデオなど)を、	授業の理解に	二活用しましたか	,0	5	非常に	69 **	適切	de de	非常に	
内容	⑤	ک	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	刀でしたか。			適切 であった	高かった 14.5%		であった 66.1%		低かった	無回答
授	6	学	生に分かり	やすい説明を	と心がけまし	たか。			5	-	73	00.1%			\
業の進め	7	授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	たか。		注意している	注意する 必要は なかった 24.2%	注意 していた 62.9%	ある程度 注意 していた 12.9%	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった -	無回答
方	8			を配慮しなれ					5	4.	63				\
総合語	9		生に新しい知 すか。	識や技術を与	え、問題意識や	·関心を高める	ことができたと	思い	4	4.	60				•
評価	10	۲	の授業は学	生の将来に行	安立つと思い	ますか。			5	4.	75				\Diamond
			善の工夫												
2 7	アン !	<u> </u>	<u>-ト結果に</u>	対する見角	¥										

教員名 : 安永 龍子 職名 : 教授 所属 : 地域こども学科

科目名称 : 保育(健康) 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目

		学	年				学科•	コース		
□ <i>k/</i> → .						生活未来科	•	116-64-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	ı	56	-	_	_	_	-	53	_	3

_				_ ◊	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	3	4.02			\(\)	
受講	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 90分 以上 程度 5.4% 3.6%	60分 程度 7.1%	30分 程度 10.7%	ほとんど していない 73.2%	無回答
態度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 90分 以上 程度 5.4% 3.6%	60分 程度	30分 程度 12.5%	ほとんど していない 71.4%	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.05	7.170	12.5%	71.470	\Q
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に やや 高かった 高かった 12.5% 28.69		やや 低かった 1.8%	非常に 低かった 1.8%	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	3.84				\rightarrow
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 19.6% 55.49	していた	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.82				
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	3	3.82			\langle	
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.04				\circ\

1 授業改善の工夫

この教科を担当して4・5年目になるが、まだ授業の体勢が整っていない状態で、毎年試行錯誤している。学生に興味を持たせた 授業を展開していくのに悩んでいるところである。今年は学生の実習後に幼稚園児の遊びについて、自分が体験したことを幼児期 の運動指針とあわせて考えてもらったが、幼児のさまざまな身体の動きをどのような遊びから引き出していくかまでは到達できな かった。講義形式が多くなる授業を少し演習を取り入れた授業展開をするため、工夫をしていきたいと考えている。

2 アンケート結果に対する見解

健康に関する子供の問題を伝えるために、新聞や文献資料など多くのプリントを配布したが、分かりづらいという自由記述もあった。授業内容の回答では、④においては、8割弱の学生は授業の理解に繋がったと回答はしているが、今後プリントなど教材の使用に関して検討をしていく必要があると考える。またDVDなどの視聴覚教材の使用も検討していきたい。

科目名称 : 保育原理 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目

		学	年				学科•	コース		
□						生活未来科		116-14-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	73	1	_	_	=	_	_	74	-	_

					♦	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生 評価		1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.2	23				•
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 1.4%	90分 程度 12.2%	60分 程度 14.9%	30分 程度 20.3%	ほとんど していない 51.4%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	1.4% 4. 5	6.8% 5 7	17.6%	25.7%	48.6%	-
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 6.8%	やや 高かった 10.8%	適切 であった 81.1%	やや 低かった 1.4%	非常に 低かった -	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.6		01.1%	1.170		—
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 24.3%	注意 していた 56.8%	ある程度 注意 していた 16.2%	あまり 注意して いなかった 1.4%	全く 注意して いなかった	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.5	51				♦
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.3	31				
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.7	76				•

1 授業改善の工夫

この科目の内容を、実習基礎指導でテストを行うため、テスト勉強を含めた復習を学生に行うように伝えていたが、学生はテスト勉強と捉え授業の復習としての認識はなかったようである。教員側から、テストのためだけではなくこれから必要となる知識を深めるために、学生にもっと復習しやすいような課題を設定しておくことが必要であったと考える。また、保育の基礎を学ぶ科目であるため、学生のレベルに合わせた授業を行ったつもりであったが、学生によっては進むスピードが速いと感じたり、物足りないと感じたりすることもあると思うので、いつも一定の流れで授業を行うのではなく、内容によって時間をかけたり、次々進んだりとリズムを変えながら進めることも必要であると考える。

2 アンケート結果に対する見解

評価項目③の回答についてであるが、基礎の部分であるこの科目から得られた知識に、今後様々な学びが積み重ねられていくと 思うので、どの学生もが関心が高くなったと感じられるような内容にしていくことが必要であると感じる。また、学生が知りたい 内容についての要望も踏まえながら、興味をもてるよう工夫して進めていくことが今後必要である。

教員	名	: 北村	麻樹				職	名 : 講	師	<u>所</u>	禹 :	地域	こども	学科
<u>科</u> 目	名称	:保育	実習指導 I	b			<u>科</u>	目群 :	地域こ	ども学科	- 専門	教育科	目	
<u>授業</u>	ミコート	: 5720	4	<u>授業</u>	形態 :	演習	受	講者数 :	48	名_	<u>回答</u>	者数	:	47名
			学	年					学科•	コース				
	答者	1回生	2回生	その他	無回答			未来科	·ジネス	地域こ	ども	その他	無	回答
P	勺訳			CVAIR	<u> </u>	生活福祉コース		ツ木食 キ	トャリア コース	学科	ļ-	CVAIE	700	크(B.
		1	46		_	_		_			46	+/I. □	<u>-</u>	1
			評	価項目				教員の 自己評価		生の 西平均	1		の自己 の評価 3	
	① 免	边強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4	4	.32				♦
受講態	2 4	事前学習や課	関を1週当た	り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		30分程度	120分 以上 10.6%	90分 程度 6.4%	60分 程度 14.9%	30分 程度 14.9%	ほとんど していない 53.2%	無回答
度	3 4	事後学習や調	果題を1週当 た	り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		30分程度		90分程度	60分程度	30分程度	ほとんど していない	無回答
授	④ 耄	対書、プリント	、視聴覚教材()	ごデオなど)を	授業の理解に	ニ活用しましたか	٠.	5	10.69	4.3%	19.1%	17.0%	48.9%	
業内容			ベルは、学生						非常に高かった	やや	適切 であった	やや低かった	非常に低かった	無回答
	(6) ±	を生に分かり	やすい説明を	- 小がけまし	たか			4	19.19	10.6% 1.26	63.8%	6.4%	-	-
業の									注意する	注音	ある程度	あまり 注音1 て	全く注意して	無回答
進め	⑦ 挖	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	ンたか。 		注意してい	た 必要は なかった 19.19		注意 していた 14.9%	いなかった 4.3%	注意して いなかった -	-
方	_		を配慮しなか			· = 1 . W 3 - 2 - 1 . 1	TI.	4	4	.04				>
総合評	9 1	きすか。	識や技術を与え			ことができたと	悲い	3	4	.21			\langle	
価	10 3	の授業は学	生の将来に往	设立つと思V	ますか。			4	4	.57				•
1 ‡	受業改	(善の工夫												
2 7	アンケ	ート結果に	対する見角	F										

教員	名	: 中田	奈月				職	名 : 教	授	<u>所</u>	禹 :	地域	こども	学科
<u>科</u> 目	名称	:保育	実習指導 I	b			<u>科</u>	目群 : :	地域こと	も学科	専門	教育和	丨目	
<u>授業</u>	ミコート	÷ : 5720	4	授業	形態 :	演習	<u>受</u>	<u>講者数 :</u>	48	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	47名
			学	年					学科•	コース				
	答者	1回生	2回生	その他	無回答			未来科	ジネス	地域こ	ども	その他	1111 :	回答
P	勺訳			CVAIR	<u> </u>	生活福祉コース		が木食 キ	ャリア	学科	ļ-	CVJE	700	E1/6.
		1	46		_	_		-	_		46	+//. □	- -	1
			評	価項目				教員の 自己評価		生の 近平均	1		の自己 の評価 3	
	① 免	 	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4	4	.32				\
受講態	2 4	事前学習や調	界題を1週当た	り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		60分程度	120分 以上 10.6%	90分 程度 6.4%	60分 程度 14.9%	30分 程度 14.9%	ほとんど していない 53.2%	無回答
度	3 4	事後学習や課	果題を1週当た	り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		60分程度	120分以上	90分程度	60分程度	30分程度	ほとんど していない	無回答
授	④ 耄	おむまっぱいん	担	·デオかじ)た	経業の理解に	こ活用しましたか	,	5	10.6%	4.3%	19.1%	17.0%	48.9%	-
業内							•0	適切	非常に高かった	やや	適切 であった	\$\$ [T.1. \$	非常に	無回答
容	5 3	の授業のレー	ベルは、学生	にとって適り	刃でしたか。			であった	19.1%			低かった 6.4%	低かった -	-
授業	6 4	学生に分かり	やすい説明を	と心がけまし	たか。			5		.26				
不の進め	⑦ ž	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	<i>たか</i> 。		注意していた	注意する 必要は なかった 19.1%	していた	ある程度 注意 していた 14.9%	あまり 注意して いなかった 4.3%	全く 注意して いなかった -	無回答
方	_		を配慮しなか					5	4	.04				· C
総合証	9 享	丝生に新しい知 ぎすか。	識や技術を与え	え、問題意識や	P関心を高める	ことができたと	思い	4	4	.21				•
評価	10 3	の授業は学	生の将来に往	设立つと思V	ますか。			4	4	.57				♦
1 1	受業改	(善の工夫												
2 7	アンケ	ート結果に	対する見角	#										

教員名 : 増井 啓子 職名 : 教授 所属 : 地域こども学科

科目名称 : 保育表現演習 I 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目

授業コード : 53166abc <u>授業形態 : 演習 </u> 受講者数 : 52名 <u>回答者数 : 48名</u>

		学	年				学科•	コース		
□ <i>k</i> + + v.						生活未来科		116-64-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	1	47	_	-	-	_	_	47		1

				♦	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.38				♦
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 4.2% 90分 程度 4.2% 2.1%	60分 程度 10.4%	30分 程度 12.5%	ほとんど していない 70.8%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 90分 以上 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	6.3% 2.1% 4.77	10.4%	12.5%	68.8%	-
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に やや 高かった 高かった 16.7% 8.3%	適切 であった 75.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.75	13.0%			\
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 29.2% 54.2%		あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.76				\
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.67				•
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.81				\

1 授業改善の工夫

授業を受ける人数の割りに講義の部屋が狭いため場の設定を考えていく必要がある。 特に授業の中で実際に展開していく活動となるため場の構成が難しいので、時には季節を取り入れてグランドやビオトープの広場でしたり、体育館を利用するなど活動内容に合わせて場の構成を考えた。

2 アンケート結果に対する見解

演習科目であるため、学生自身が主体的に考えたり、活動したりできる時間をできるだけ多くもった。表現は、季節を意識した表現や発達段階を考えた内容を計画した。特に身体的活動や音楽的活動(歌う、踊る、リズムに合わせるボディパーカッション、手遊び)・造形表現(身近な素材を使って作る、描く、環境を構成する)言語的表現(絵本、紙芝居、パネルシアター、ペープサート)などを通して子どもの生活や遊びの中での表現のとらえ方を学ぶとともに、表現する楽しさを味わえる環境構成や援助のあり方を考えた。また、保育者自身の表現力が子どもの表現力に大きくかかわるものであるから、自分自身の表現力を見直し、豊かにしていくことを目指した。授業はすべての学生が活動的に取り組めるよう具体的でわかりやすい声掛けを意識した。

科目名称 : 保育(表現・音楽) 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目

授業コード : 53141aa・bb 授業形態 : 演習 受講者数 : 12名 回答者数 : 11名

		学	年				学科•	コース		
□ <i>k</i> ⁄× ±⁄.						生活未来科		116-14-183		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	_	11	_	_	=	_	_	11	-	_

				_	教員	の自己	評価	
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	1	■ 学生 2	の評価 3		5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.45				— (<u>}</u>
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	60分程度	120分 90分 以上 程度	程度	30分 程度 18.2%	ほとんど していない 9.1%	無回答	
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 90分 以上 程度 18.2% 27.3	60分 程度	30分程度	ほとんど していない	無回答	
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.73		\			
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 低かった	非常に やや 高かった 高かっ 27.3% 45.5	たであった		非常に 低かった	無回答	•
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.55	70 21.070			— (
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 54.5% 36.4	た していた	あまり 注意して いなかった	全く 注意して といなかった	無回答	
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.73					<u> </u>
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.64			4	♦	
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.73				— <	\ \

1 授業改善の工夫

本年度から 音楽基礎演習のテキスト使用した。テキストは主にハ長調の譜面で レヴェルの高くない学生には有難かった 半面 ハ長調は現場では低すぎる曲があり 現場にそくした調での経験をさせたいと思った。学生がハ長調ばかりを弾きたがり 曲により調性の指定もしくは 何曲以上など ある程度縛りがあればと感じた。MLで和音の伴奏形を練習したのが 効果的だった。 テキストは譜面に自分で歌詞を書き込む形式だが ほとんどの学生が書いておらず、うろ覚えの歌詞でその場しのぎのような場面が多々見られた。又、本を持ってこない 借りて済ませる 又は書き込みをした友達の本でちゃっかり授業を受けるなど目に余る場面が多々見受けられた。

2 アンケート結果に対する見解

おおむね 意図したしたことをしっかりくみ取ってくれた結果と感じます。 個々のレヴェルや好みに合わせて 伴奏を工夫する必要がありコミュニケーションを しっかりとることを特に意識した。アレンジで曲の雰囲気が変わることを体験してもらえたと思います 益々充実した授業が出来るように 工夫していこうと思いました

教員	名		:吉田	直子				職/	名 : 講	師	<u>所</u>	禹 :	地域	こども	学科
科目名称 : 保育(表現・音楽)						<u>科</u>	目群 : :	地域こと	も学科	専門	教育科	·目			
授業	ミコー	ード	: 5314	1ba•ca	授業	形態 : :	演習	<u>受</u>	<u> </u>	11:	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	9名
				学	年					学科•	コース				
回答者 内訳					その他	無回答	生活福祉コース	・ 及物木食 キャ		ジネス・ヤリア	地域こ。 学科			無	回答
- 8 -						1	_		_	-		9		_	_
評価項目									教員の 自己評価		生の i平均	1		の自己 の評価 3	
	1	勉	!強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4	4.	.44				♦
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。									120分 以上 11.1%	90分 程度 22.2%	60分 程度 22.2%	30分 程度 44.4%	ほとんど していない -	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。								120分以上	120分 以上 11.1%	90分 程度 22.2%	60分 程度 22.2%	30分 程度 44.4%	ほとんど していない -	無回答
授業	4	教	科書、プリント、	、視聴覚教材(l	ごデオなど)を、	授業の理解に	活用しましたか	,°	4		.67	241			•
个内容				ベルは、学生					やや 高かった	非常に 高かった 22.2%		適切 であった 66.7%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答
授業	6	学	生に分かり	やすい説明を	と心がけまし	たか。			4		.56	h we den who			•
不の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。								注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 55.6%	注意 していた 22.2%	ある程度 注意 していた 22.2%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答
方総	8			を配慮しなが			ことができたと	田レン	4	-					\
合評	9	ま	すか。					₽, 4 .	4	-	.67				♦
価	(10)		の授業は字	生の将来に行	受立つと思い	ますか。			5	4.	.78				
<u>1</u> ‡	受業	<u>改</u>	善の工夫												
2 2	アン・	ケー	-ト結果に	対する見角	4										

奈良佐保短期大学 - 141 -

141

教員	名		: 藤田	悦代				職	名 : 教授	<u>}</u>	<u>所</u>	禹 :	地域	こども	学科
科目名称 : 幼児理解 科						<u>科</u>	目群 : 地	域こと	も学科	専門	教育科	目			
授業	ミコー	ード	: 5222	0ab	授業	影態 :	演習	<u>受</u>	講者数 :	58:	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	<u>:</u>	55名
				学	年					学科•	コース				
口	答者		154 054		7 0 114 111 11 115				5未来科 ガン ボン	フ フ	地域こ	ども	その他	ÁIII.	
内訳			1回生	2回生	その他	無回答			初末食 7ース キャ	プリア 学利		斗 ~~~		,,,,	回答
1 53 - 1 -								-	-		54			1	
	₹# /m ₹# P									学生	<u></u> 生の	\$		の自己 の評価	
評価項目 						自己評価	評価	i平均	1	2	3	4 5			
	1	魁	!強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			5		.11	604)	20()		
受講	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。							60分程度	120分 以上 3.6%	90分程度	60分 程度 9.1%	30分 程度 10.9%	ほとんど していない 67.3%	無回答	
態度			*	1823 - 1836	10 75 14. ~ 10.	. AA AH .	. 3-3 . 3- 3		0.0 () 40 00	120分以上	90分程度	60分程度	30分程度	ほとんどしていない	無回答
1	3	爭	後字督や課	関を1週当た	こり平均でとえ	1ぐらい課し	ましたか。		60分程度	3.6%	9.1%	14.5%	18.2%	54.5%	_
授業	4	教	科書、プリント、	、視聴覚教材(1	ごデオなど)を、	授業の理解に	二活用しましたか	٥,	4	4.	.42				•
大 内容	(5)	۲	の授業のレー	ベルは、学生	にとって適り	刀でしたか。			適切 であった	非常に 高かった	やや 高かった	適切 であった		非常に 低かった	無回答
	(E)	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。								9.1%	14.5%	74.5%	1.8%	-	-
授業の	0	7	・主に刀がり	() () () () () () ()	(Linnii) よし。	<i>□</i> // ⁴ ₀				5 4.54 注意する 注		ある程度	あまり	· 金	無回答
の進め	7	授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	たか。		ある程度 注意していた	必要は なかった 25.5%	していた 52.7%	注意 していた 20.0%	注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	1.8%
方	8			を配慮しなか					5	4.57					\
総合	9		生に新しい知 すか。	識や技術を与れ	え、問題意識や	·関心を高める	ことができたと	思い	4	4.36					•
評価	10	۲	の授業は学	生の将来に往	设立つと思い	ますか。			5	4.	.58				\
1 ‡	受業	砂	善の工夫												
- *	~/\	~	<u> </u>												
2 7	アン	ケー	ート結果に	対する見角	4										1